

# 中小企業景況調査報告書

2022年4月～6月期

---

高知県商工会連合会

# 中小企業景況調査

## [調査事項]

### 1. 調査対象

(1)調査対象地区

室戸市	芸西	香南市	香美市	春野
佐川町	越知町	中土佐町	四万十町	黒潮町

(2)調査企業数 150企業

(3)回答企業数 150企業 (回答率：100%)

### 2. 調査対象期間

2022年4月～6月期を対象とし、調査時点は2022年6月1日とする。

### 3. 調査方法

(1)商工会の経営指導員による訪問面接調査

(2)調査対象地区は市町村人口規模に勘案して行い、調査対象企業の抽出は業種、規模等有意選出法による。

### 4. 回答企業数の内訳

業 種	回答企業数	構成比 (%)
製 造 業	31	20.7
建 設 業	23	15.3
小 売 業	43	28.7
サービス業	53	35.3
合 計	150	100.0

注記 本報告書のDIとは、ディフュージョン・インデックス（景気動向指数）の略で、各調査事項についての増加（上昇、好転、長期化）の企業割合と減少（低下、悪化、短期化）企業割合の差を示すものである。

# 1. 産業全体の景況概要

○商工会地域における今期（2022年 4月～ 6月期）の状況

## [製造業]

(D I 値)

期 項目	2022年 1月～ 3月	2022年 4月～ 6月	対 前 期 比
売 上 額	0.0	0.0	±0.0ポイント
採 算	△ 29.0	△ 25.8	3.2ポイント上昇
資 金 繰 り	△ 6.6	△ 9.7	3.1ポイント下降

## [建設業]

(D I 値)

期 項目	2022年 1月～ 3月	2022年 4月～ 6月	対 前 期 比
完 成 工 事 額	△ 45.4	△ 17.4	28.0ポイント上昇
採 算	△ 47.8	△ 43.5	4.3ポイント上昇
資 金 繰 り	△ 8.7	△ 8.7	±0.0ポイント

## [小売業]

(D I 値)

期 項目	2022年 1月～ 3月	2022年 4月～ 6月	対 前 期 比
売 上 額	△ 20.9	0.0	20.9ポイント上昇
採 算	△ 32.6	△ 34.1	1.5ポイント下降
資 金 繰 り	△ 25.6	△ 13.7	11.9ポイント上昇

## [サービス業]

(D I 値)

期 項目	2022年 1月～ 3月	2022年 4月～ 6月	対 前 期 比
売 上 額	△ 43.1	1.9	45.0ポイント上昇
採 算	△ 46.0	△ 27.4	18.6ポイント上昇
資 金 繰 り	△ 24.0	△ 5.8	18.2ポイント上昇

○来期見通し(2022年 7月～ 9月期)

(D I 値)

区分 業種	売 上 額 完 成 工 事 額	採 算	資 金 繰 り
製 造 業	6.4	△ 16.1	3.4
建 設 業	△ 34.8	△ 39.2	△ 4.3
小 売 業	△ 13.6	△ 32.6	△ 18.2
サ ー ビ ス 業	19.2	△ 25.5	△ 1.9

## 2. 産 業 別 景 況

### 製造業の動向

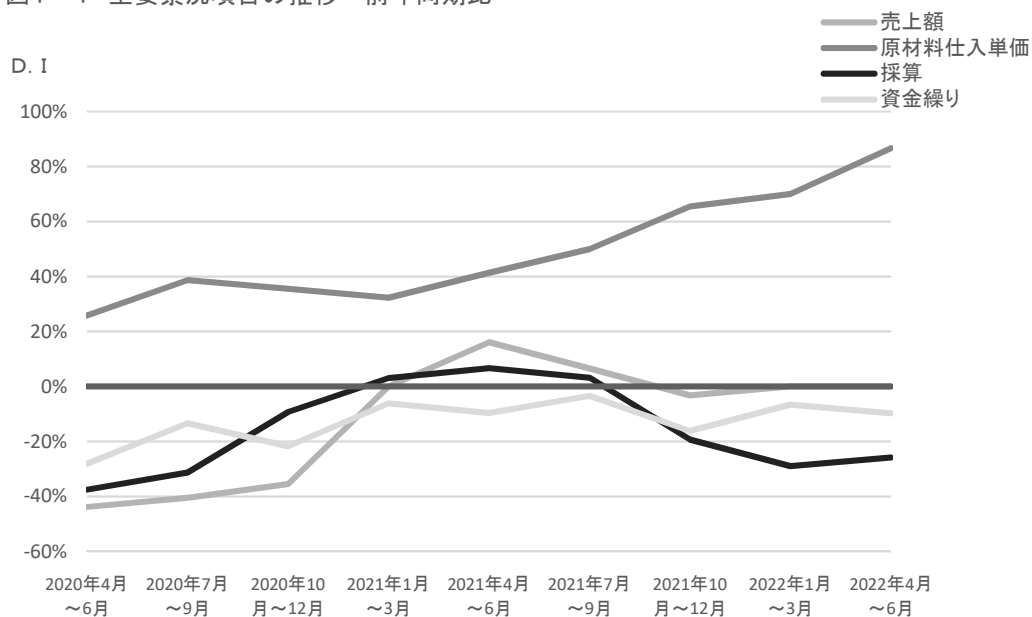
#### ○主要景況項目から見た概要

- ・ 売上額DI値は、0.0→0.0と±0.0ポイント  
(同全国値は、△15.5→△3.2と12.3ポイント上昇)
- ・ 採算DI値は、△29.0→△25.8と3.2ポイント上昇  
(同全国値は、△30.5→△25.6と4.9ポイント上昇)
- ・ 資金繰りDI値は、△6.6→△9.7と3.1ポイント下降  
(同全国値は、△18.8→△12.9と5.9ポイント上昇)

今期は、売上額DIは変動がなく、採算DIでマイナス幅が改善し、資金繰りDIはマイナス幅が拡大した。

来期は、売上額DIと資金繰りDIがプラスに好転し、採算DIでマイナスの改善が見込まれる。

図1-1 主要景況項目の推移—前年同期比—



項目 \ 期	2021年4月～6月	2021年7月～9月	2021年10月～12月	2022年1月～3月	2022年4月～6月
売上額	16.1	6.5	△ 3.2	0.0	0.0
原材料仕入単価	41.4	50.0	65.5	70.0	86.7
採算	6.7	3.2	△ 19.3	△ 29.0	△ 25.8
資金繰り	△ 9.6	△ 3.4	△ 16.1	△ 6.6	△ 9.7



図 1 - 2 売上額推移（月別指数）

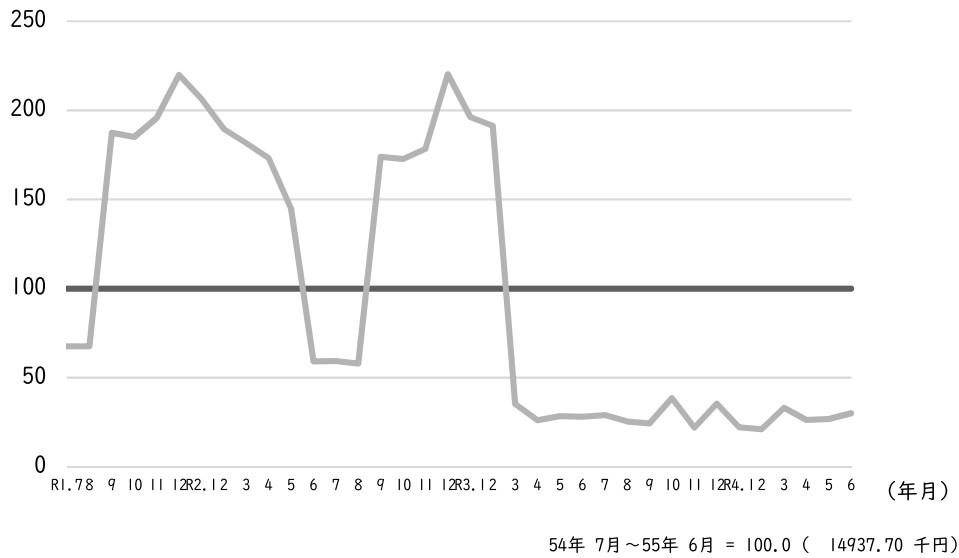


図 1 - 3 売上額の状況 - 前年同期比 -

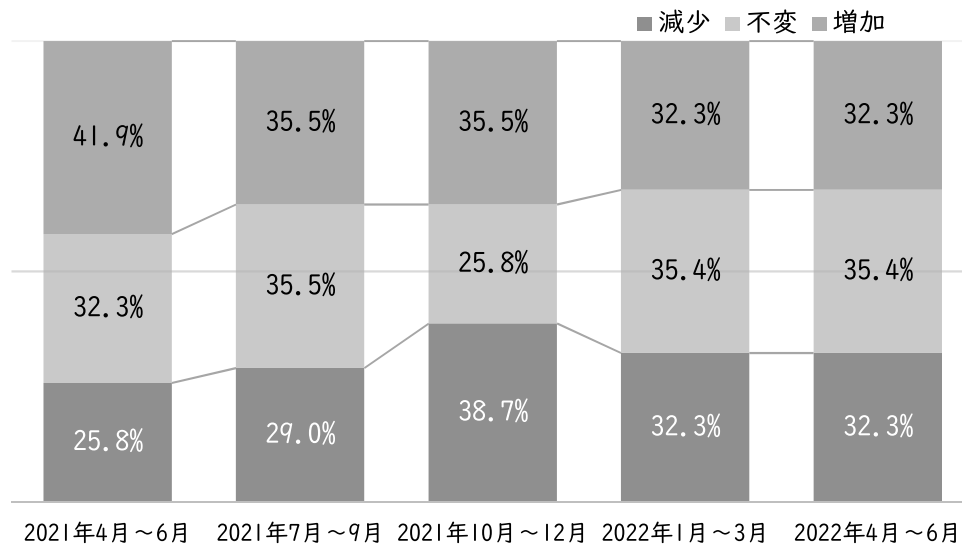


図 1 - 4 採算の状況 - 前年同期比 -

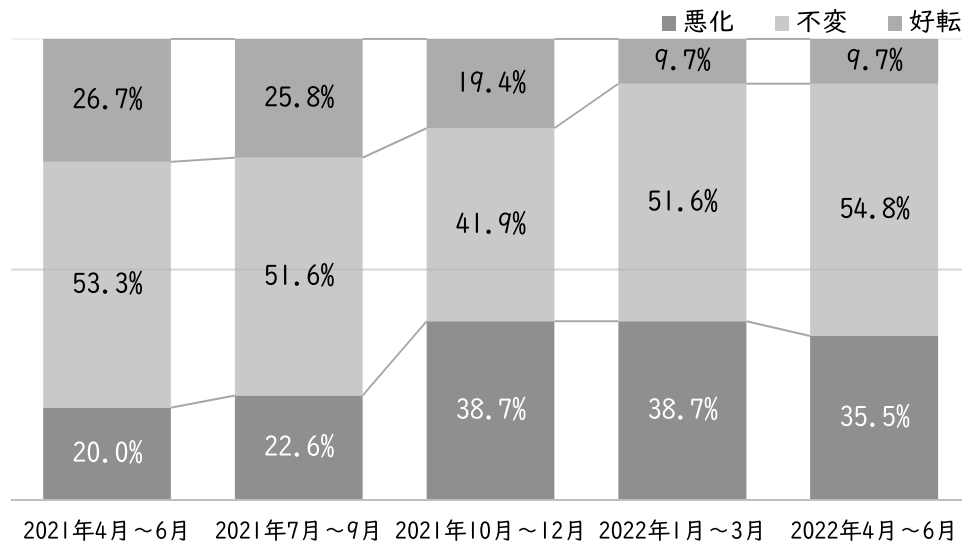
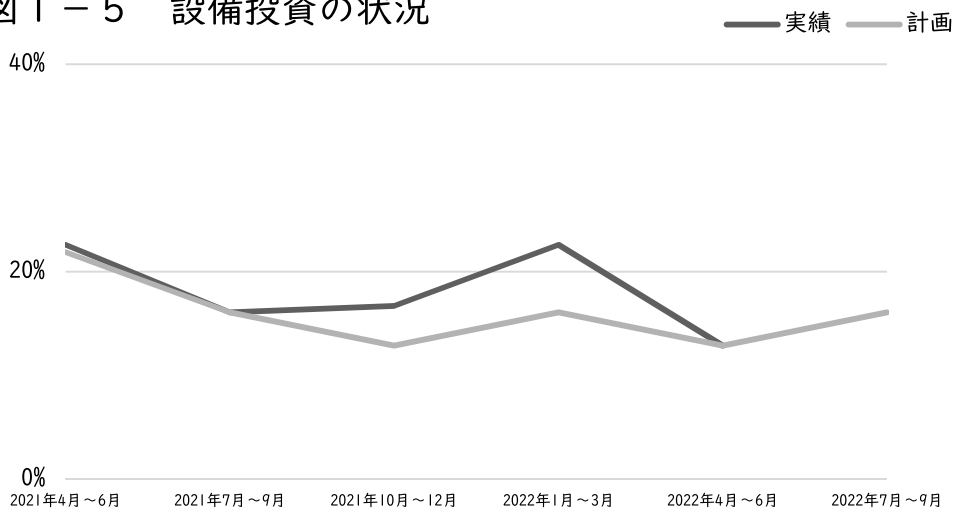


図 1-5 設備投資の状況



(計画)

図 1-6 経営上の問題点の状況 (1位と1位～3位)

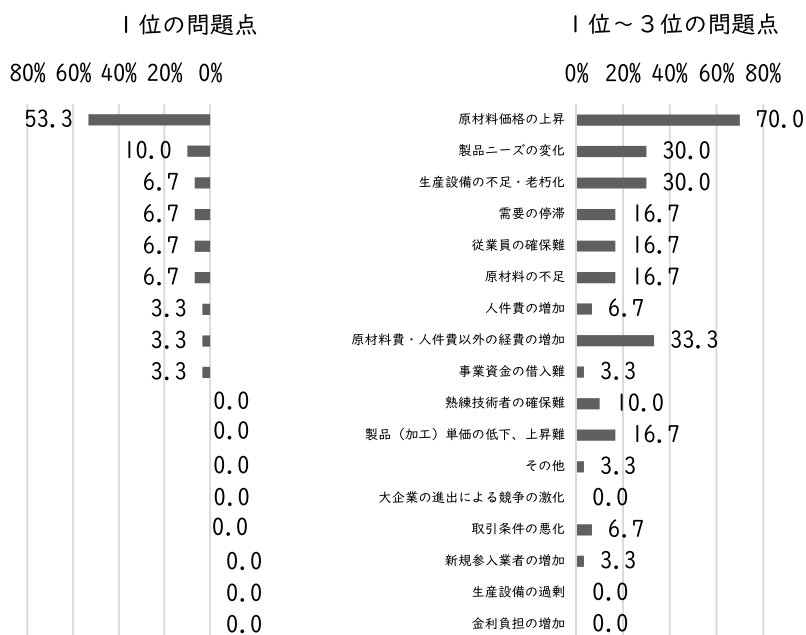


図 1-7 経営上の問題点の推移

(1位の問題点・上位5つ)

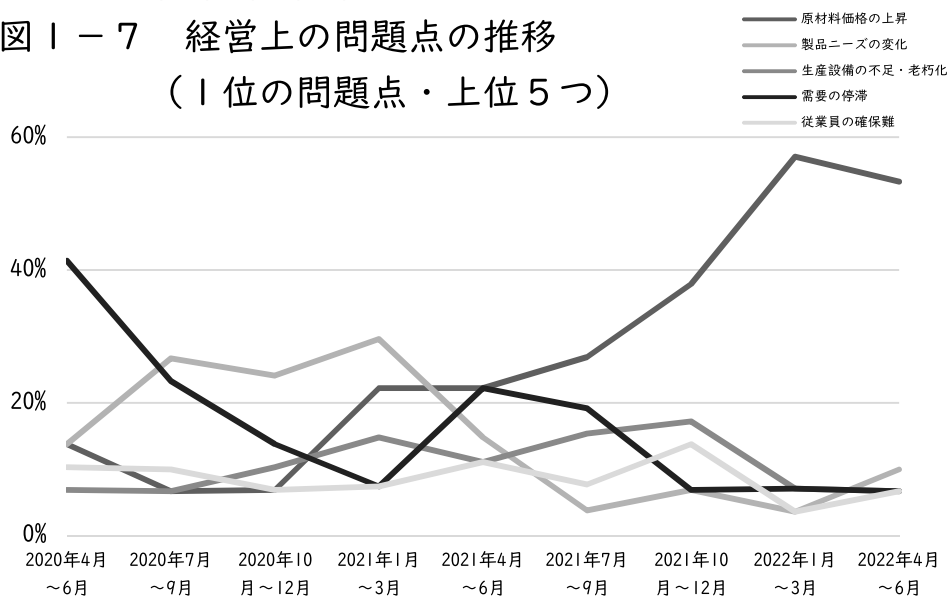


図1-8 売上額の状況－前年同期比－

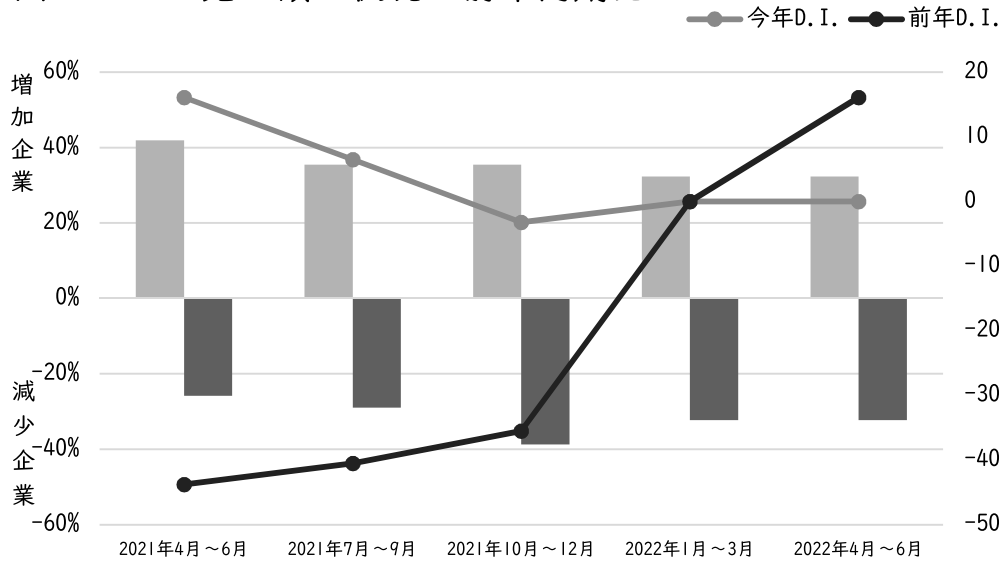
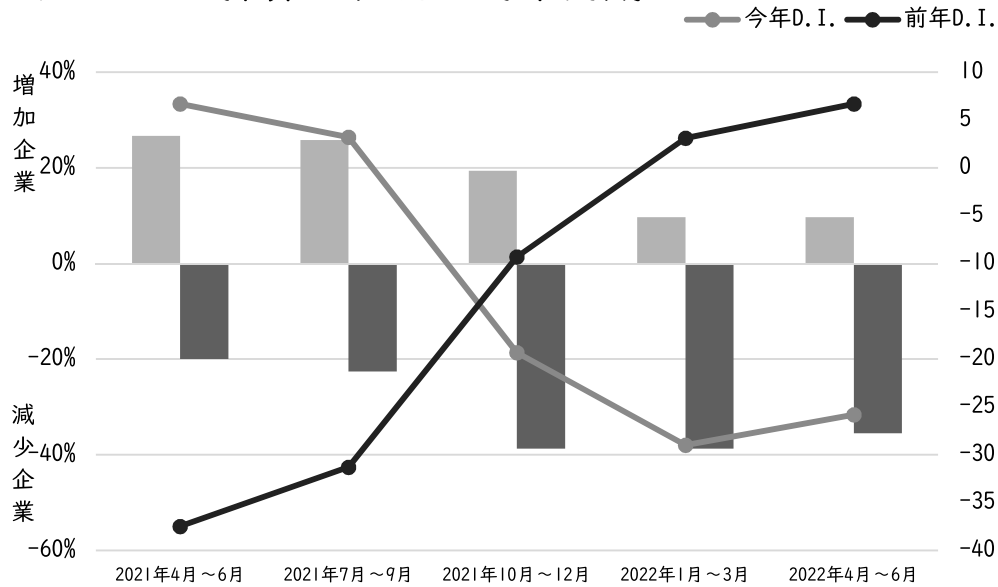


図1-9 採算の状況－前年同期比－



## 建設業の動向

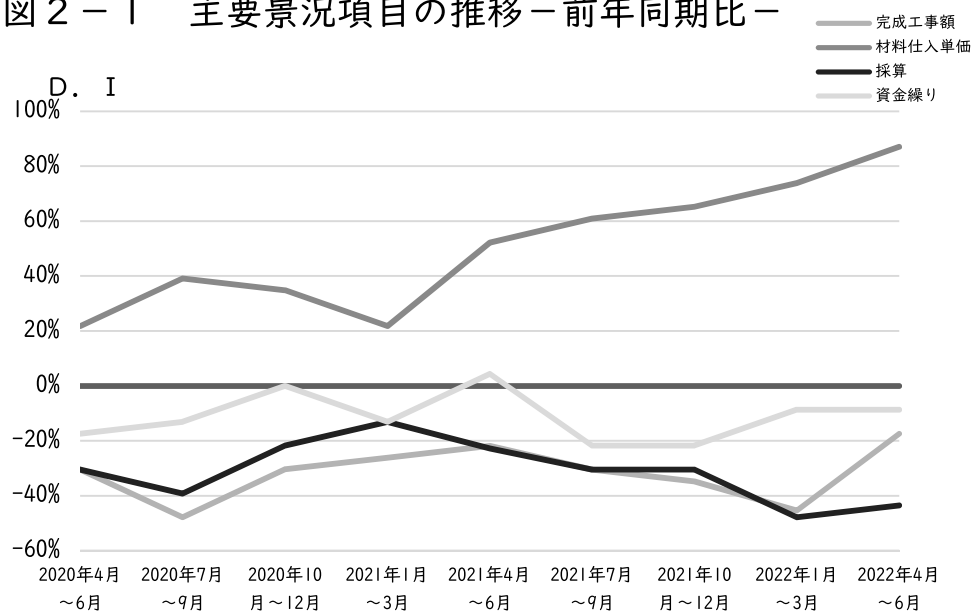
### ○主要景況項目から見た概要

- ・完成工事額DI値は、 $\Delta 45.4 \rightarrow \Delta 17.4$ と28.0ポイント上昇  
(同全国値は、 $\Delta 22.6 \rightarrow \Delta 19.0$ と3.6ポイント上昇)
- ・採算DI値は、 $\Delta 47.8 \rightarrow \Delta 43.5$ と4.3ポイント上昇  
(同全国値は、 $\Delta 33.5 \rightarrow \Delta 35.9$ と2.4ポイント下降)
- ・資金繰りDI値は、 $\Delta 8.7 \rightarrow \Delta 8.7$ と $\pm 0.0$ ポイント  
(同全国値は、 $\Delta 12.3 \rightarrow \Delta 12.6$ と0.3ポイント下降)

今期は、完成工事額DI・採算DIでマイナス幅が改善し、資金繰りDIは変動がなかった。

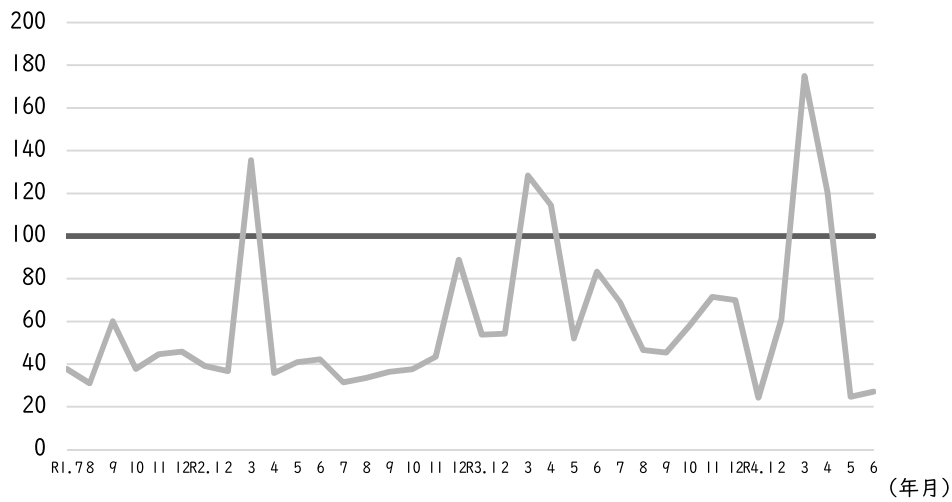
来期は、採算DI・資金繰りDIでマイナス幅が改善し、完成工事額DIでマイナスの拡大が見込まれる。

図2-1 主要景況項目の推移－前年同期比－



項目	期	2021年4月～6月	2021年7月～9月	2021年10月～12月	2022年1月～3月	2022年4月～6月
売上額		$\Delta 21.8$	$\Delta 30.5$	$\Delta 34.8$	$\Delta 45.4$	$\Delta 17.4$
原材料仕入単価		52.2	60.9	65.2	73.9	87.0
採算		$\Delta 22.8$	$\Delta 30.5$	$\Delta 30.5$	$\Delta 47.8$	$\Delta 43.5$
資金繰り		4.4	$\Delta 21.7$	$\Delta 21.7$	$\Delta 8.7$	$\Delta 8.7$

図 2 - 2 完成工事額推移（月別指数）



54年 7月～55年 6月 = 100.0 ( 14128.40 千円) 全国完成工事額月平均

図 2 - 3 完成工事額の状況－前年同期比－

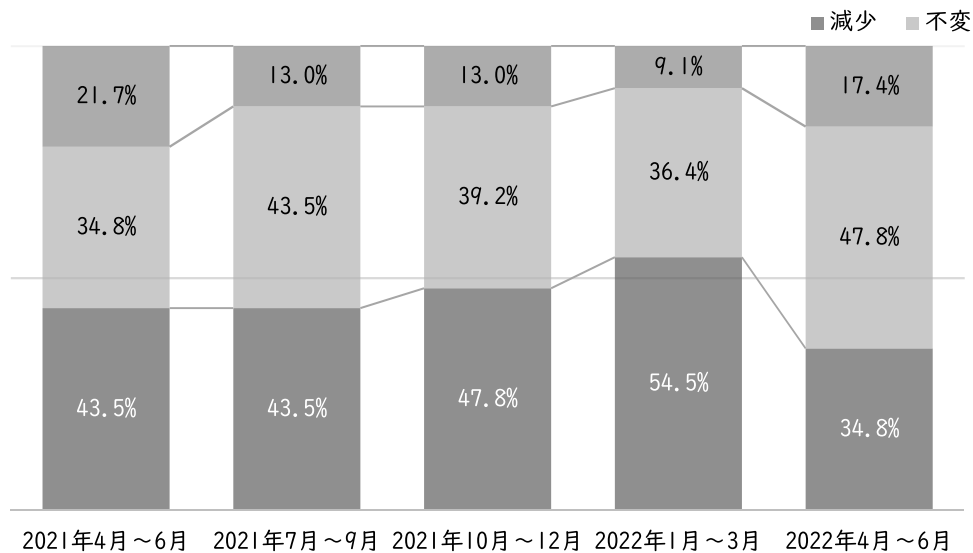


図 2 - 4 採算の状況－前年同期比－

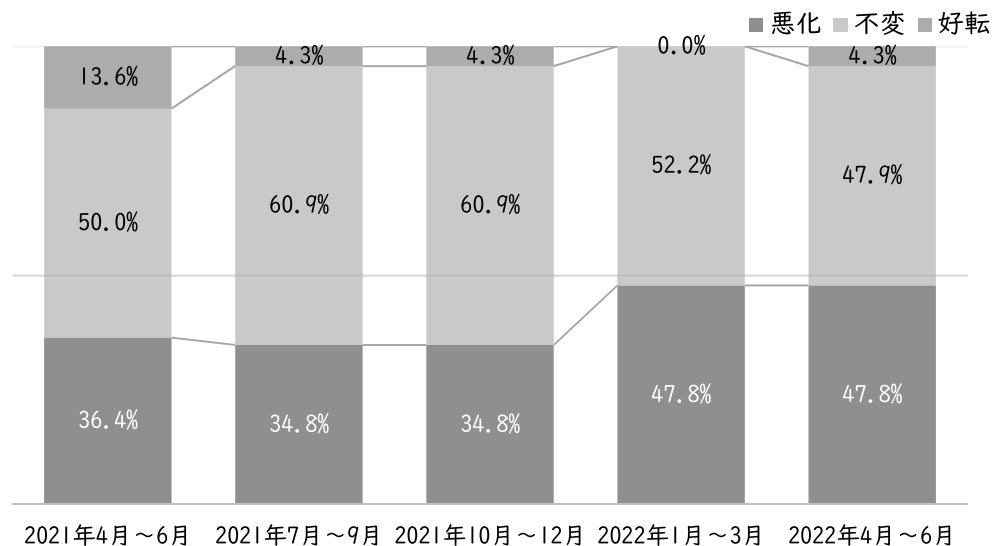


図 2 - 5 設備投資の状況

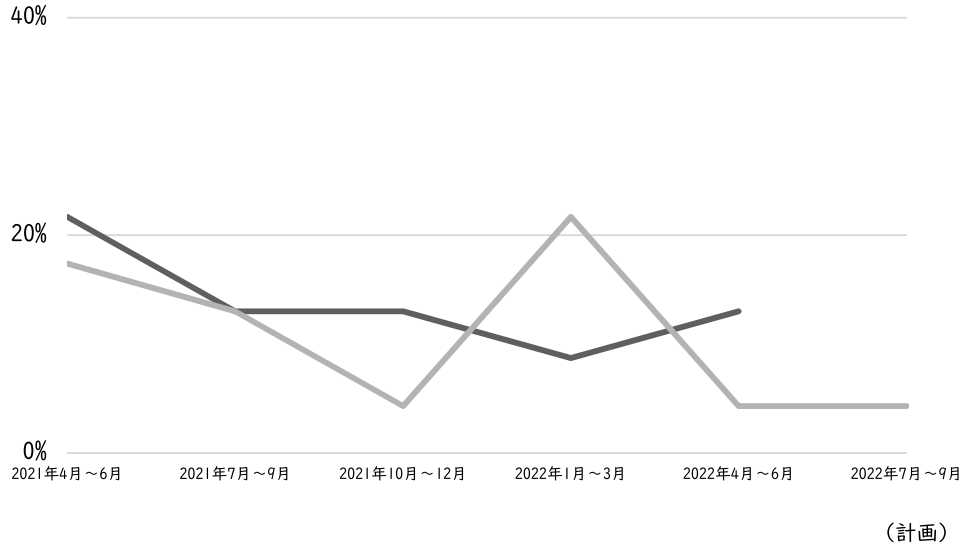


図 2 - 6 経営上の問題点の状況 (1位と1位～3位)

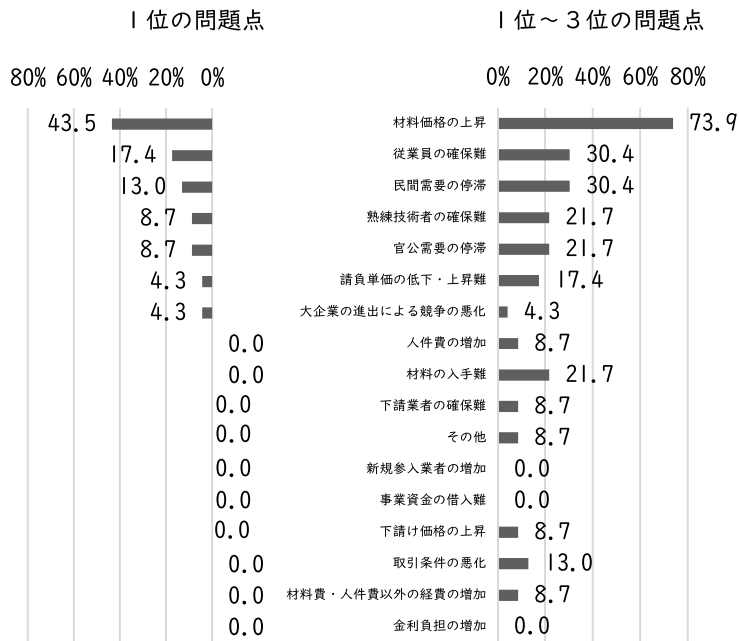


図 2 - 7 経営上の問題点の推移  
(1位の問題点・上位5つ)

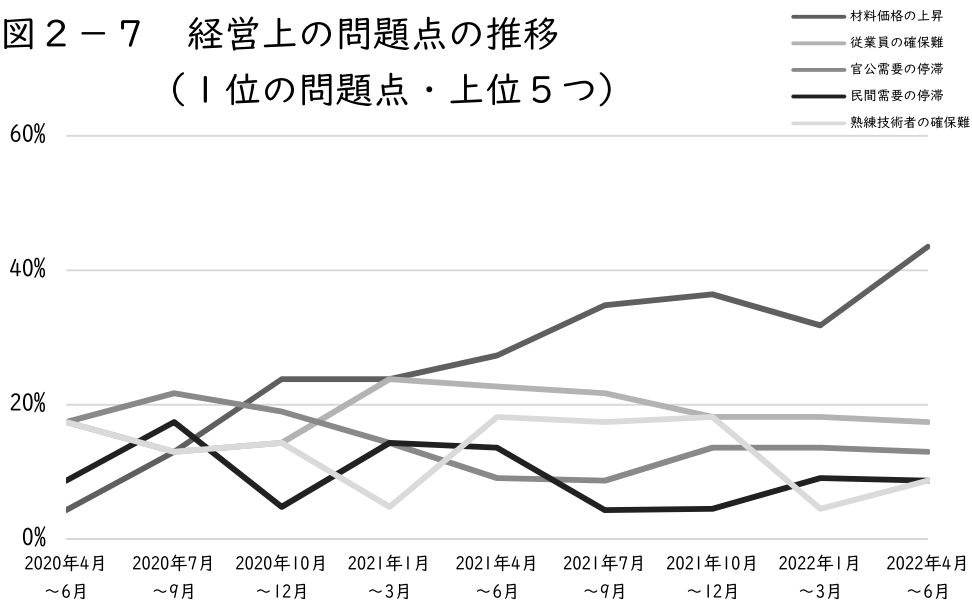


図 2 - 8 完成工事額の状況 - 前年同期比 -

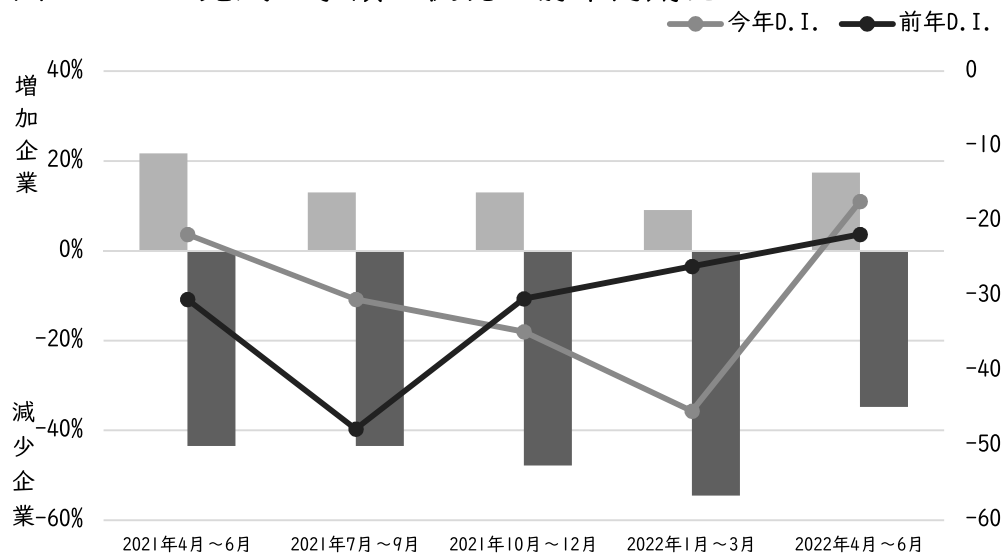
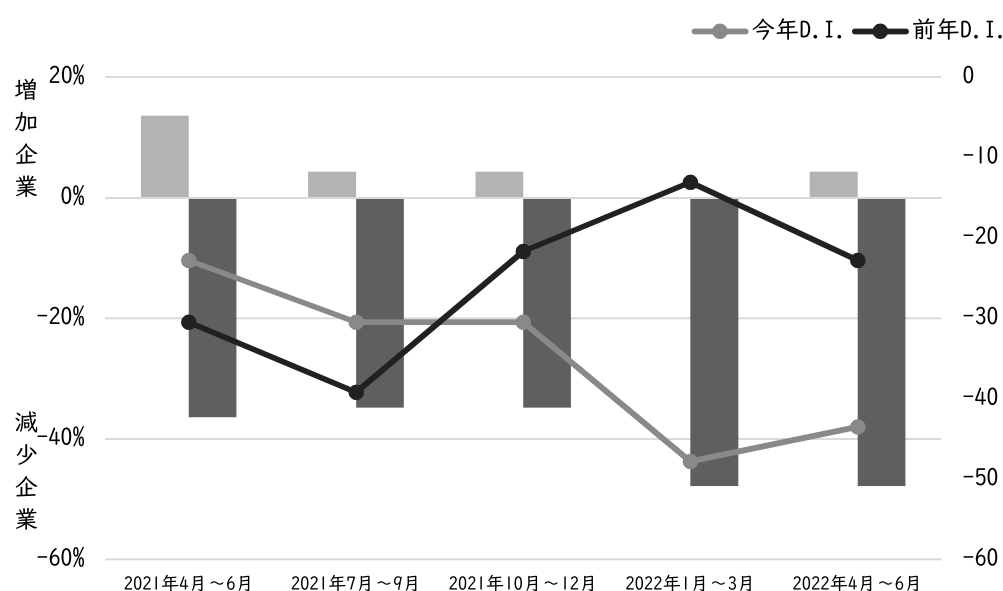


図 2 - 9 採算の状況 - 前年同期比 -



## 小売業の動向

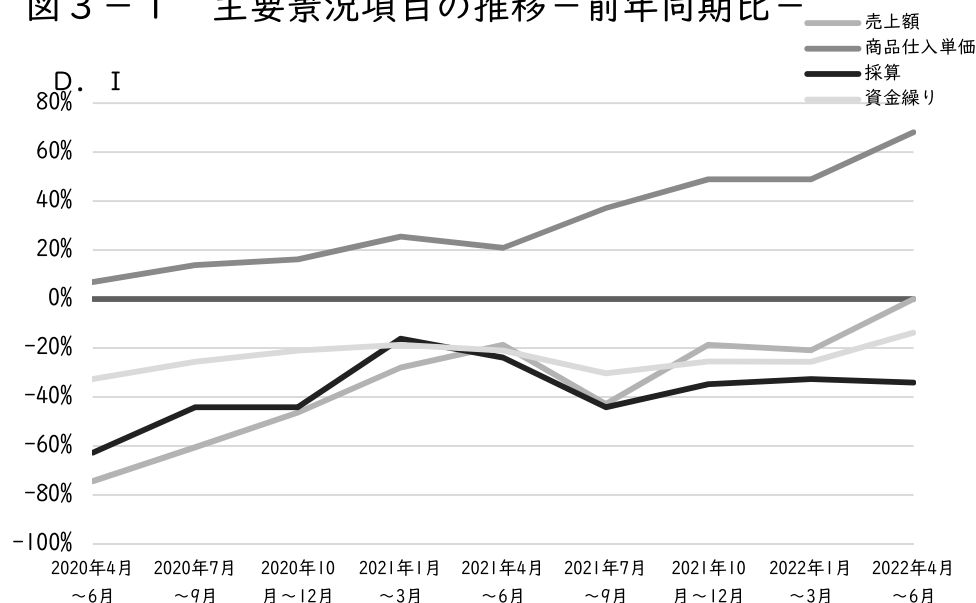
### ○主要景況項目から見た概要

- ・売上額DI値は、 $\Delta 20.9 \rightarrow 0.0$ と20.9ポイント上昇  
(同全国値は、 $\Delta 38.8 \rightarrow \Delta 20.2$ と18.6ポイント上昇)
- ・採算DI値は、 $\Delta 32.6 \rightarrow \Delta 34.1$ と1.5ポイント下降  
(同全国値は、 $\Delta 49.0 \rightarrow \Delta 40.0$ と9.0ポイント上昇)
- ・資金繰りDI値は、 $\Delta 25.6 \rightarrow \Delta 13.7$ と11.9ポイント上昇  
(同全国値は、 $\Delta 29.6 \rightarrow \Delta 24.3$ と5.3ポイント上昇)

今期は、売上額DI・資金繰りDIでマイナス幅が改善し、採算DIはマイナス幅が拡大した。

来期は、売上額DIがマイナスに転じ、採算DIでマイナス幅が改善し、資金繰りDIでマイナス幅の拡大が見込まれる。

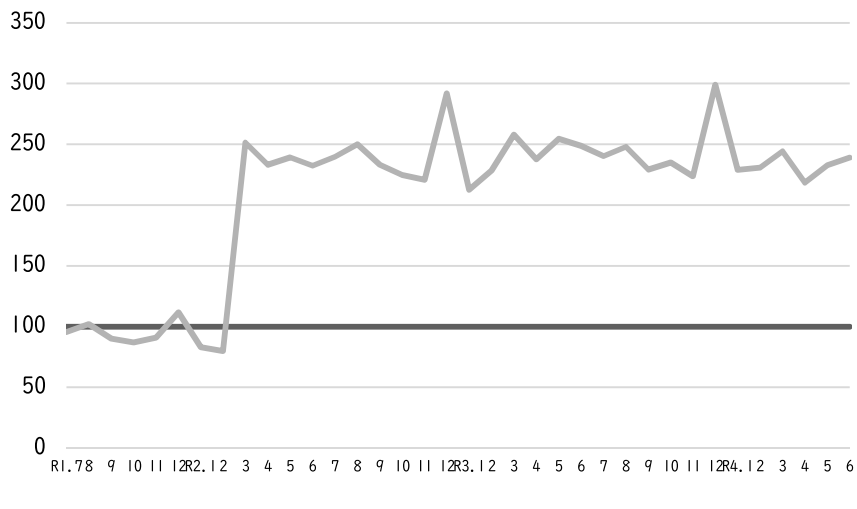
図3-1 主要景況項目の推移－前年同期比－



項目	期	2021年4月～6月	2021年7月～9月	2021年10月～12月	2022年1月～3月	2022年4月～6月
売上額		$\Delta 18.6$	$\Delta 42.9$	$\Delta 18.6$	$\Delta 20.9$	0.0
原材料仕入単価		20.9	37.2	48.9	48.9	68.2
採算		$\Delta 23.9$	$\Delta 44.2$	$\Delta 34.8$	$\Delta 32.6$	$\Delta 34.1$
資金繰り		$\Delta 21.0$	$\Delta 30.3$	$\Delta 25.5$	$\Delta 25.6$	$\Delta 13.7$



図3-2 売上額推移（月別指数）



54年 7月～55年 6月 = 100.0 ( 4597.40 千円) 全国売上額月平均

図3-3 売上額の状況－前年同期比－

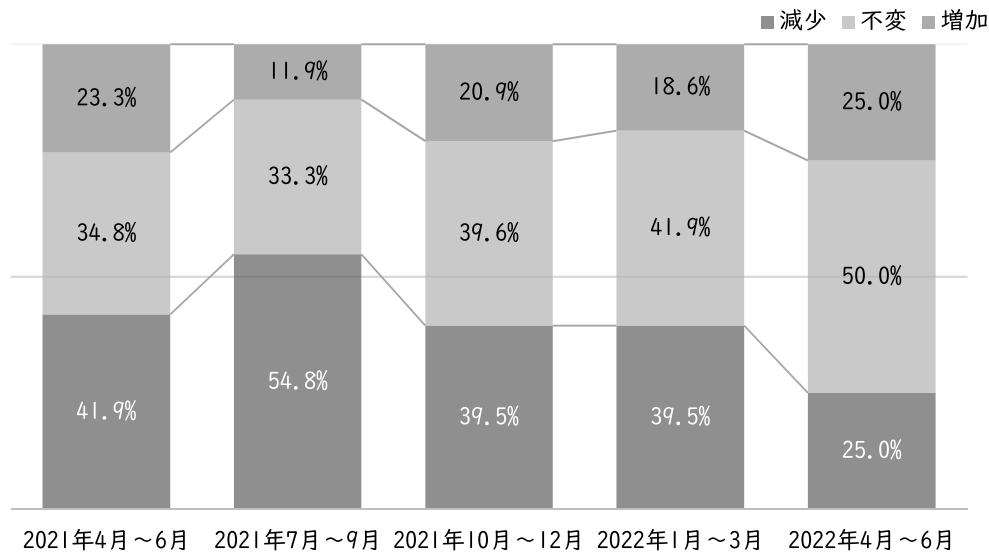


図3-4 採算の状況－前年同期比－

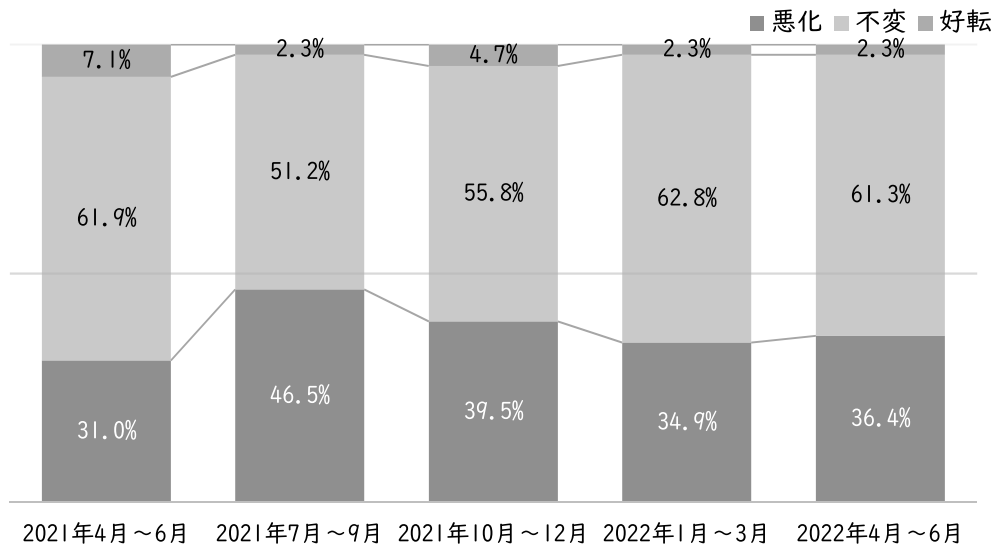


図3-5 設備投資の状況

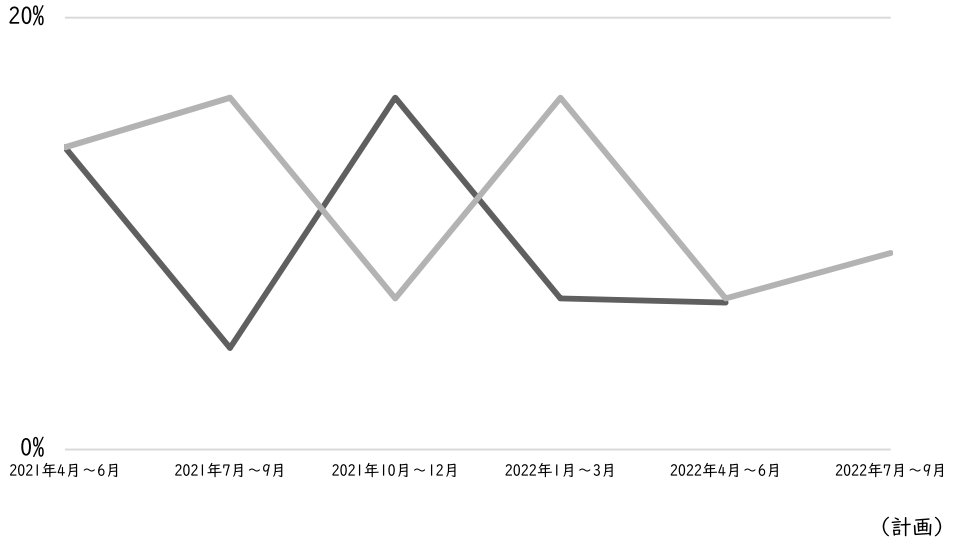


図3-6 経営上の問題点の状況（1位と1位～3位）

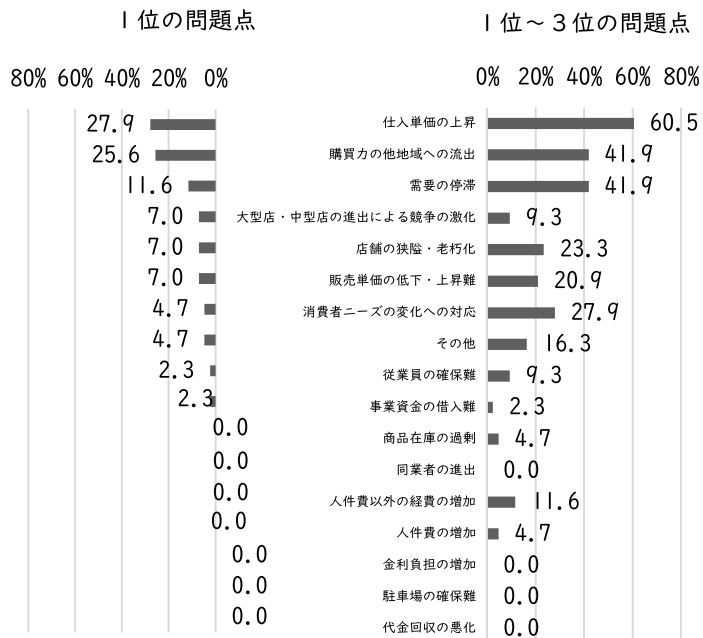


図3-7 経営上の問題点の推移  
（1位の問題点・上位5つ）

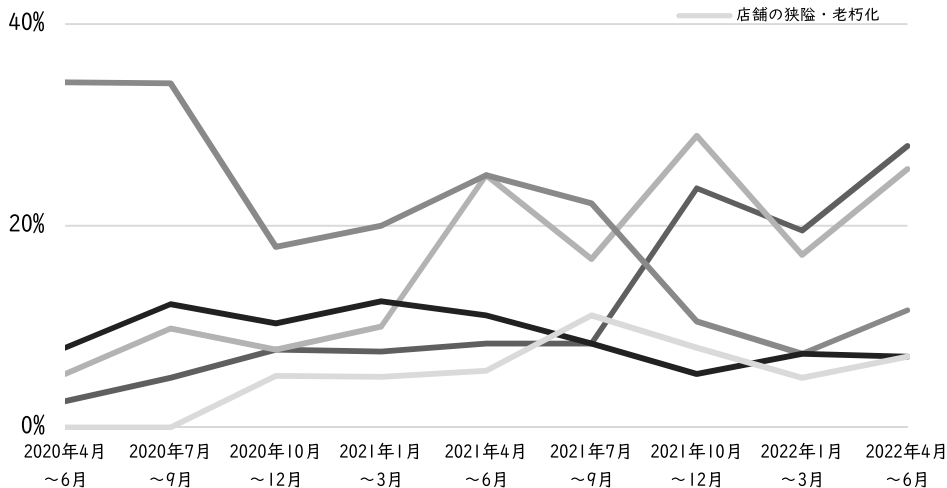


図3-8 売上額の状況－前年同期比－

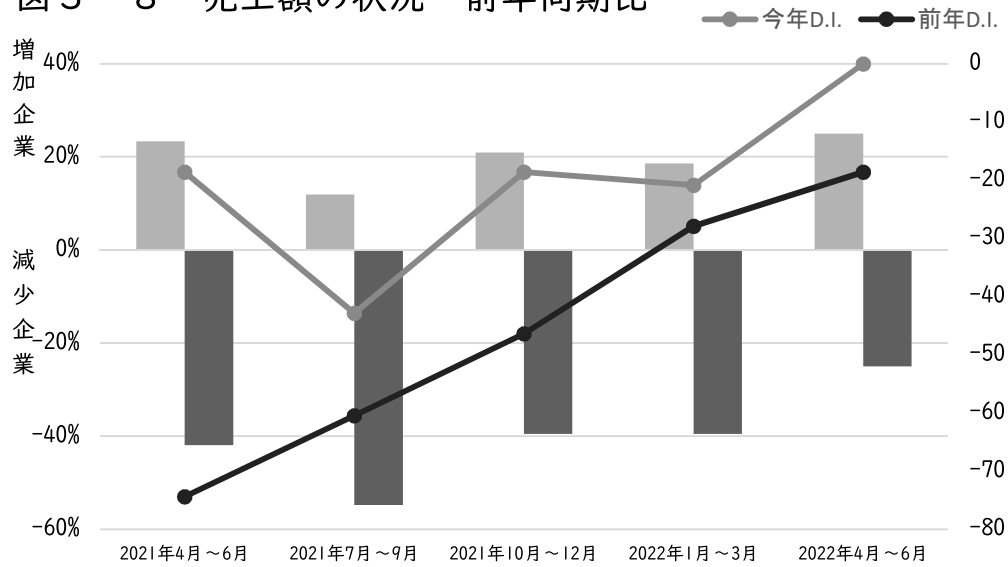
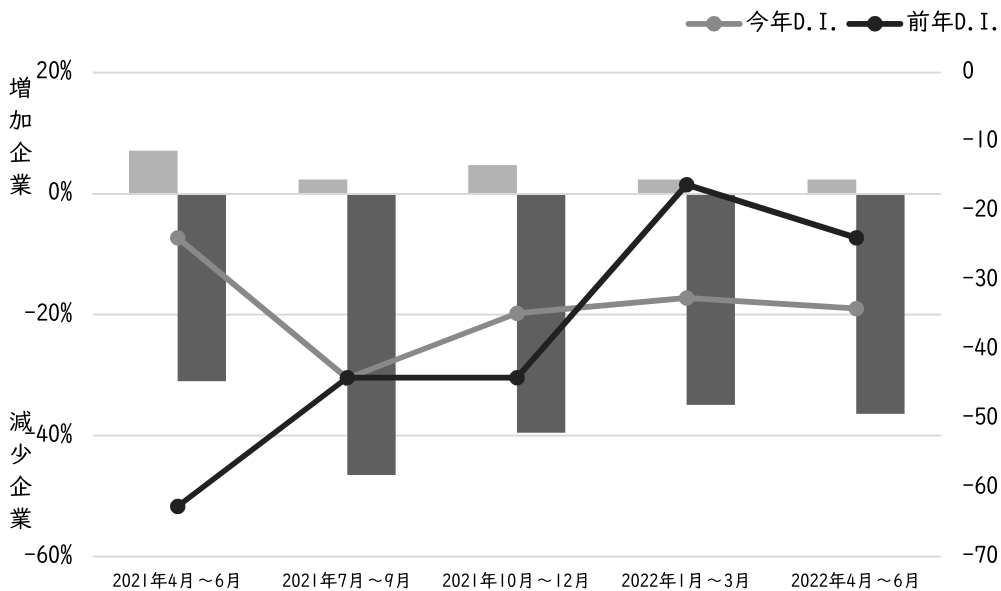


図3-9 採算の状況－前年同期比－



## サービス業の動向

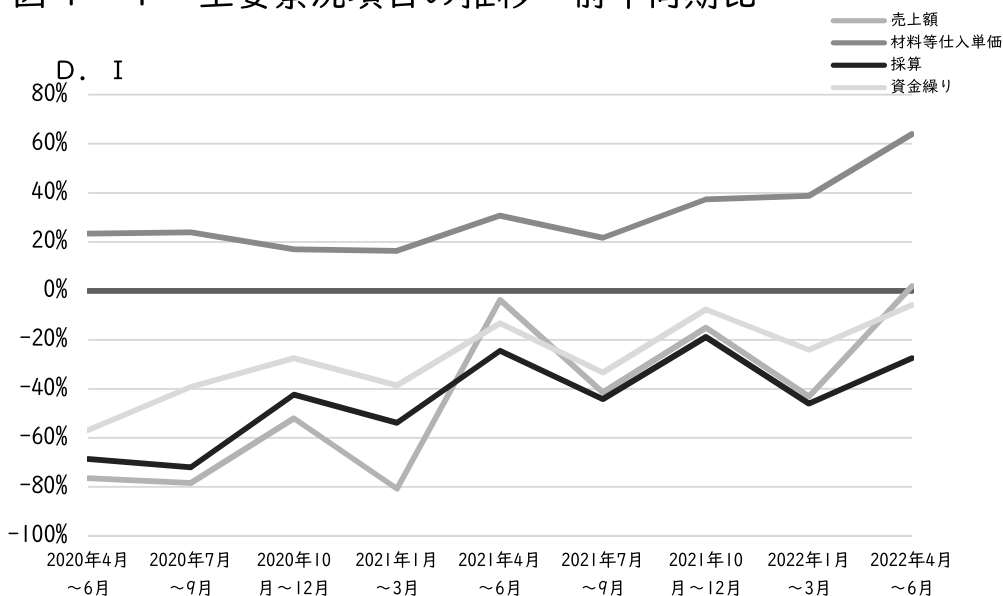
### ○主要景況項目から見た概要

- ・売上額DI値は、 $\Delta 43.1 \rightarrow 1.9$ と45.0ポイント上昇  
(同全国値は、 $\Delta 46.0 \rightarrow \Delta 6.0$ と40.0ポイント上昇)
- ・採算DI値は、 $\Delta 46.0 \rightarrow \Delta 27.4$ と18.6ポイント上昇  
(同全国値は、 $\Delta 49.8 \rightarrow \Delta 32.2$ と17.6ポイント上昇)
- ・資金繰りDI値は、 $\Delta 24.0 \rightarrow \Delta 5.8$ と18.2ポイント上昇  
(同全国値は、 $\Delta 32.2 \rightarrow \Delta 15.2$ と17.0ポイント上昇)

今期は、売上額DIがプラスに好転し、採算DI・資金繰りDIはマイナス幅が改善した。

来期は、売上額DIでプラス幅が拡大し、採算DI・資金繰りDIでマイナス幅の改善が見込まれる。

図4-1 主要景況項目の推移－前年同期比－



項目 \ 期	2021年4月～6月	2021年7月～9月	2021年10月～12月	2022年1月～3月	2022年4月～6月
売上額	$\Delta 3.7$	$\Delta 41.5$	$\Delta 15.1$	$\Delta 43.1$	1.9
原材料仕入単価	30.7	21.6	37.3	38.8	64.0
採算	$\Delta 24.5$	$\Delta 44.2$	$\Delta 18.9$	$\Delta 46.0$	$\Delta 27.4$
資金繰り	$\Delta 13.2$	$\Delta 33.3$	$\Delta 7.6$	$\Delta 24.0$	$\Delta 5.8$

図 4 - 2 売上額推移（月別指数）

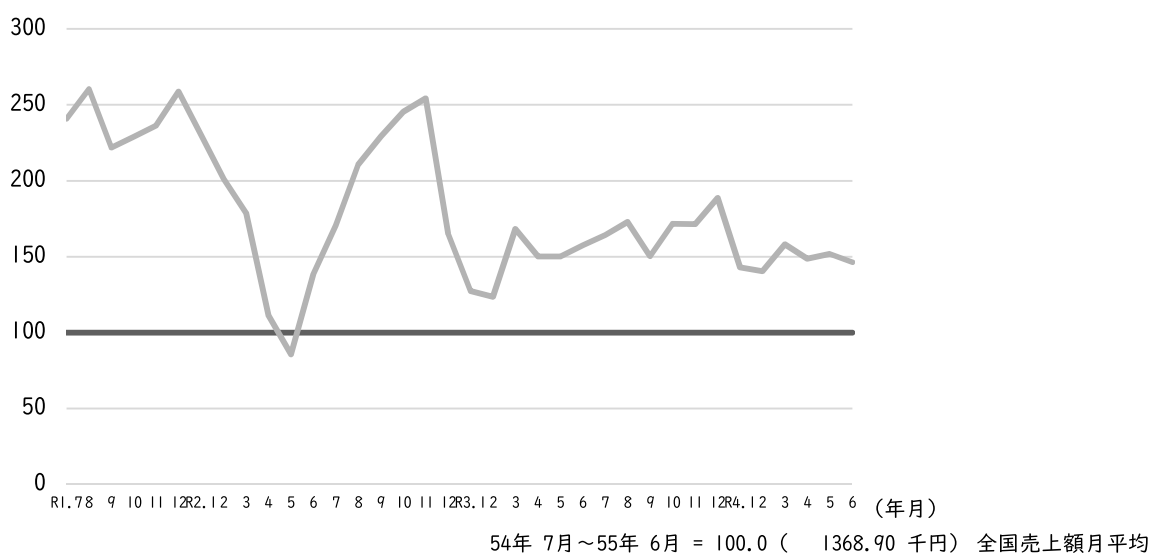


図 4 - 3 売上額の状況－前年同期比－

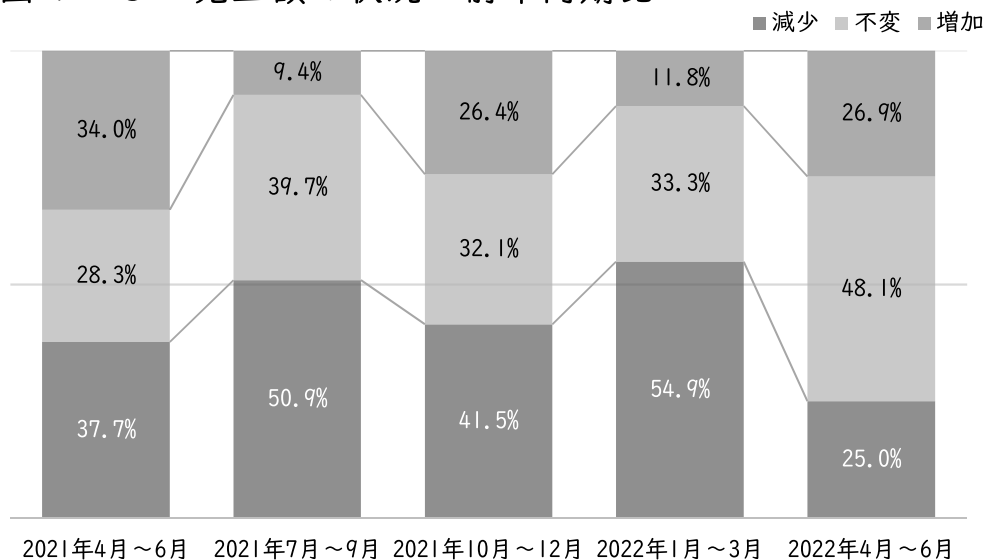


図 4 - 4 採算の状況－前年同期比－

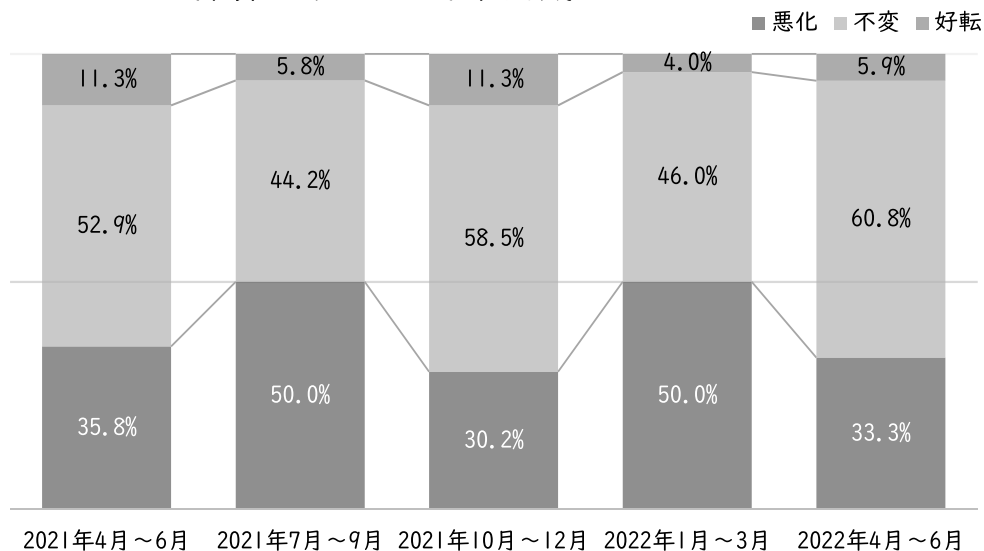


図4-5 設備投資の状況

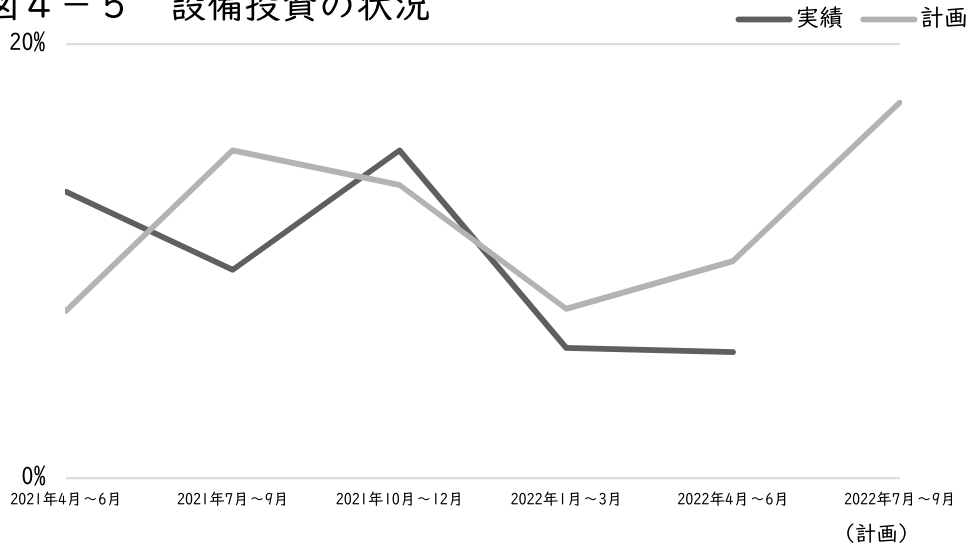


図4-6 経営上の問題点の状況（1位と1位～3位）

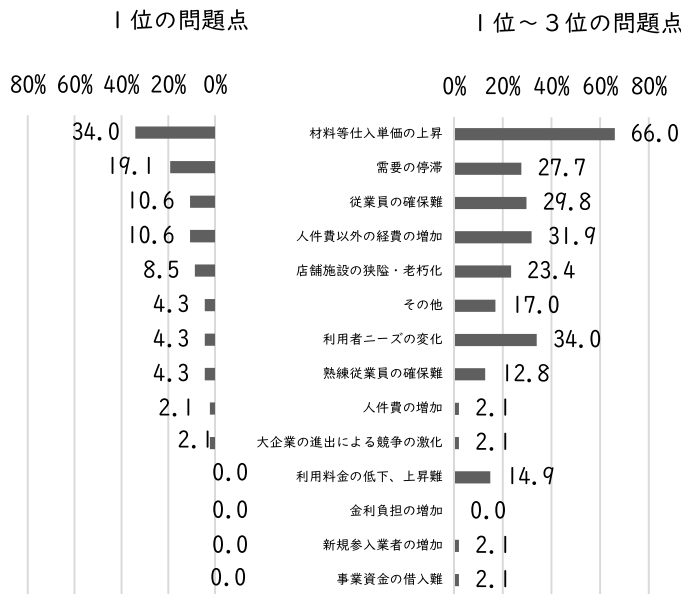


図4-7 経営上の問題点の推移  
（1位の問題点・上位5つ）

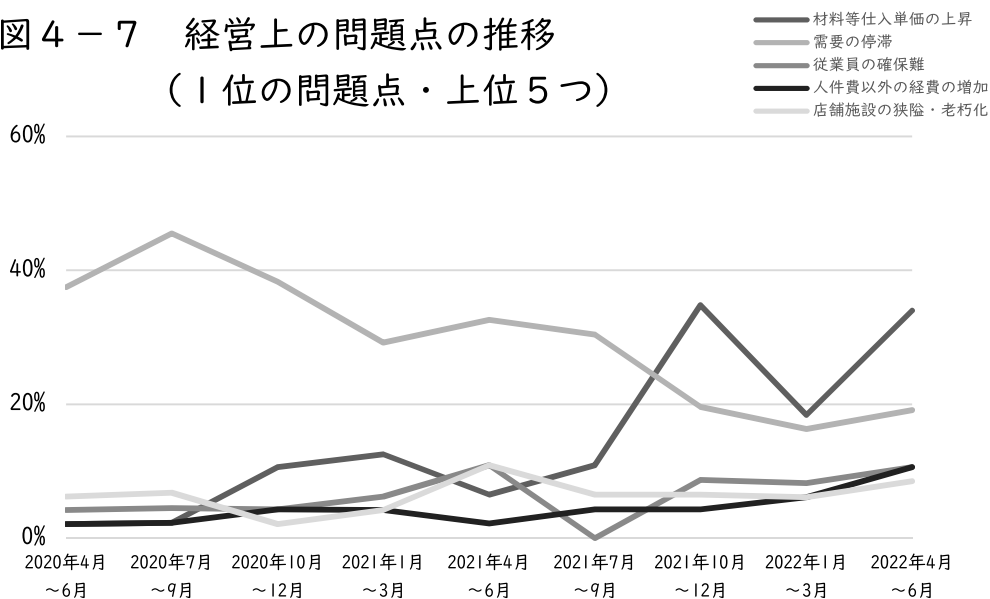


図4-8 売上額の状況－前年同期比－

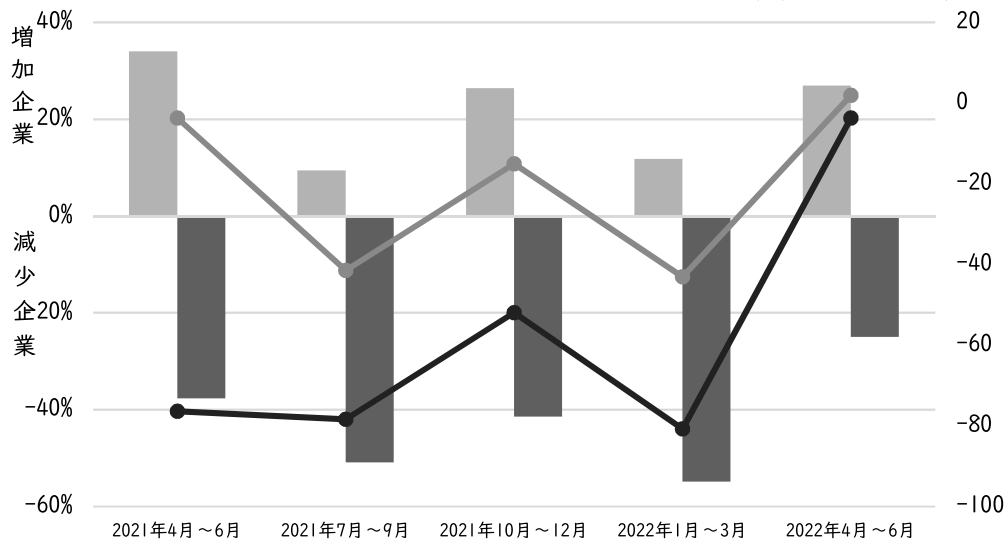
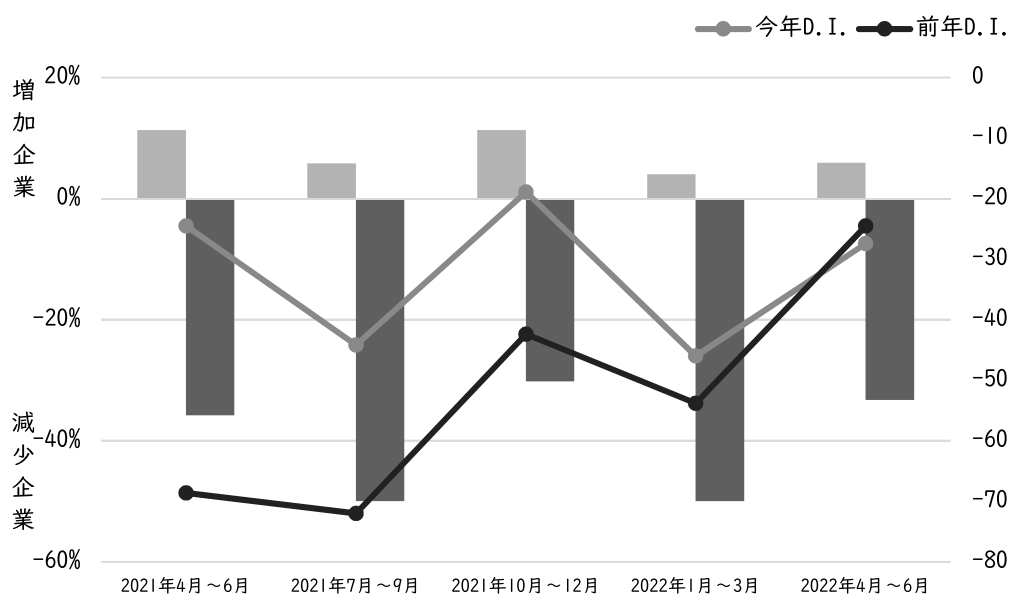
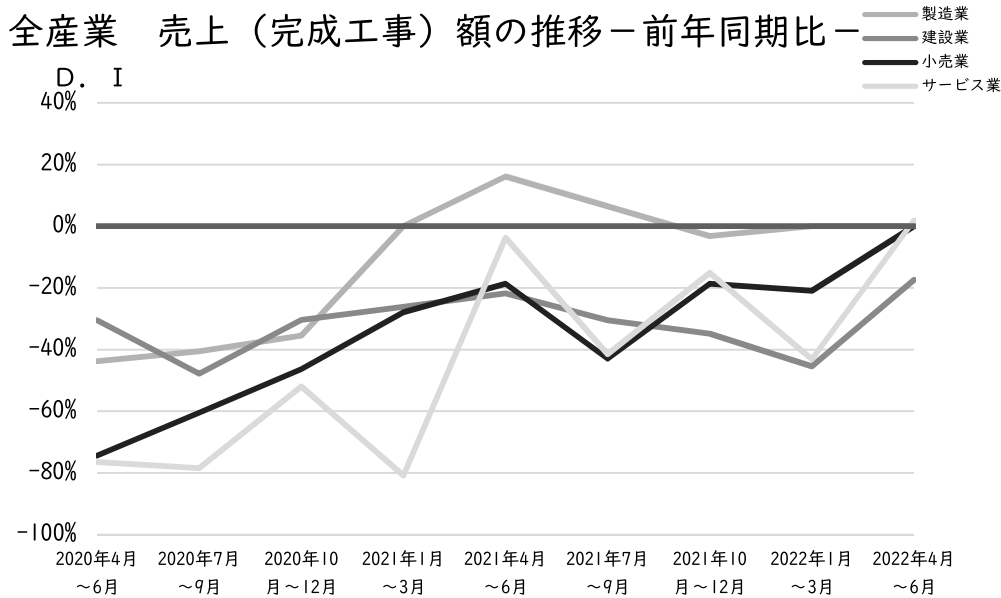


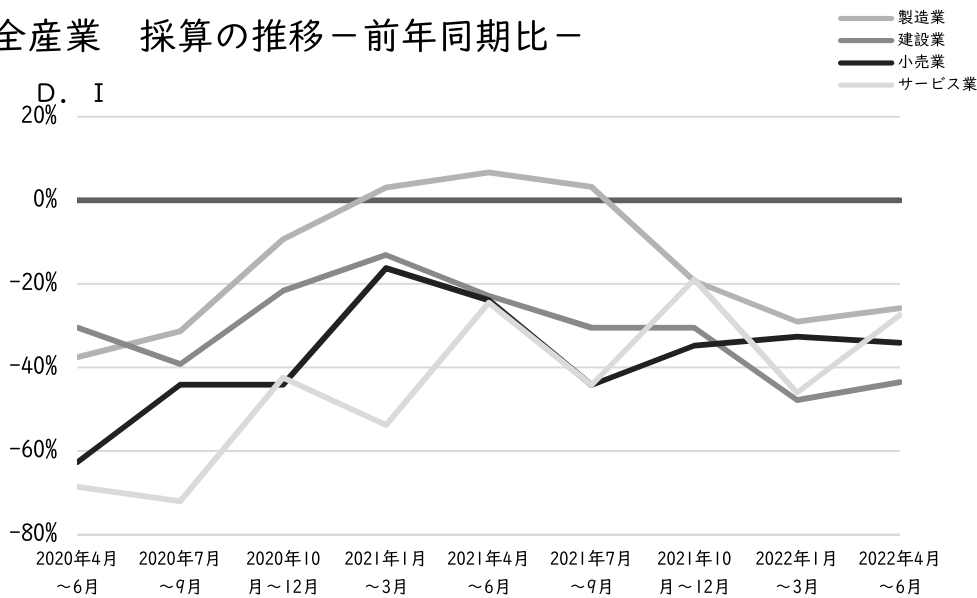
図4-9 採算の状況－前年同期比－



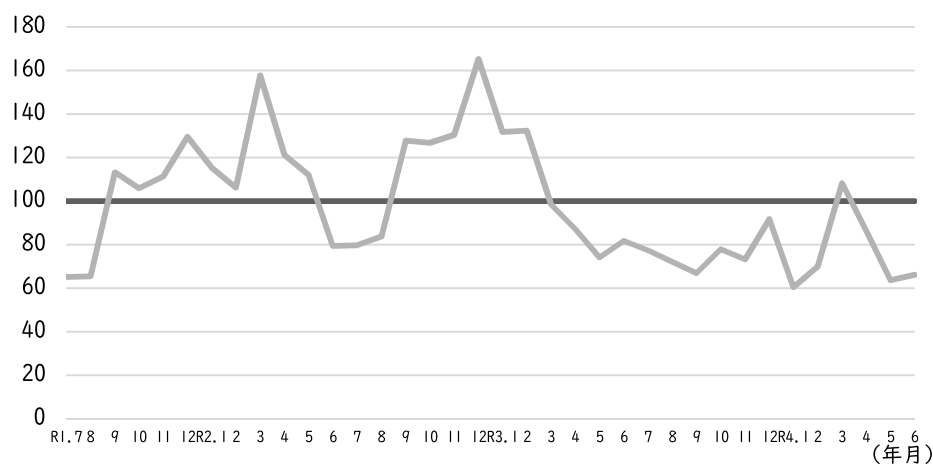
## 全産業の動向



## 全産業 採算の推移－前年同期比－



## 全産業 売上額推移（月別指数）



54年 7月～55年 6月 = 100.0 ( 8213.00 千円) 全国全産業売上額月平均



# 中小企業景況調査報告書

2022年7月～9月期

---

高知県商工会連合会

# 中小企業景況調査

## [調査事項]

### 1. 調査対象

(1)調査対象地区 ( 室戸市 芸西 香南市 香美市 春野  
佐川町 越知町 中土佐町 四万十町 黒潮町 )

(2)調査企業数 150企業

(3)回答企業数 148企業 (回答率：98.7%)

### 2. 調査対象期間

2022年7月～9月期を対象とし、調査時点は2022年9月1日とする。

### 3. 調査方法

(1)商工会の経営指導員による訪問面接調査

(2)調査対象地区は市町村人口規模に勘案して行い、調査対象企業の抽出は業種、規模等有意選出法による。

### 4. 回答企業数の内訳

業 種	回答企業数	構成比 (%)
製 造 業	31	20.9
建 設 業	23	15.5
小 売 業	43	29.1
サービス業	51	34.5
合 計	148	100.0

注記 本報告書のD Iとは、ディフュージョン・インデックス（景気動向指数）の略で、各調査事項についての増加（上昇、好転、長期化）の企業割合と減少（低下、悪化、短期化）企業割合の差を示すものである。

# 1. 産業全体の景況概要

○商工会地域における今期（2022年7月～9月期）の状況

## [製造業]

(DI値)

項目 \ 期	2022年4月～6月	2022年7月～9月	対前期比
売上額	0.0	△ 3.3	3.3ポイント下降
採算	△ 25.8	△ 35.5	9.7ポイント下降
資金繰り	△ 9.7	△ 16.7	7.0ポイント下降

## [建設業]

(DI値)

項目 \ 期	2022年4月～6月	2022年7月～9月	対前期比
完成工事額	△ 17.4	△ 5.0	12.4ポイント上昇
採算	△ 43.5	△ 27.3	16.2ポイント上昇
資金繰り	△ 8.7	0.0	8.7ポイント上昇

## [小売業]

(DI値)

項目 \ 期	2022年4月～6月	2022年7月～9月	対前期比
売上額	0.0	△ 18.6	18.6ポイント下降
採算	△ 34.1	△ 42.9	8.8ポイント下降
資金繰り	△ 13.7	△ 23.3	9.6ポイント下降

## [サービス業]

(DI値)

項目 \ 期	2022年4月～6月	2022年7月～9月	対前期比
売上額	1.9	0.0	1.9ポイント下降
採算	△ 27.4	△ 30.0	2.6ポイント下降
資金繰り	△ 5.8	△ 12.3	6.5ポイント下降

○来期見通し(2022年10月～12月期)

(DI値)

業種 \ 区分	売上額 完成工事額	採算	資金繰り
製造業	△ 6.4	△ 29.0	△ 16.7
建設業	4.5	△ 21.7	△ 8.7
小売業	△ 14.3	△ 35.7	△ 17.5
サービス業	0.0	△ 28.6	△ 14.0

## 2. 産 業 別 景 況

### 製造業の動向

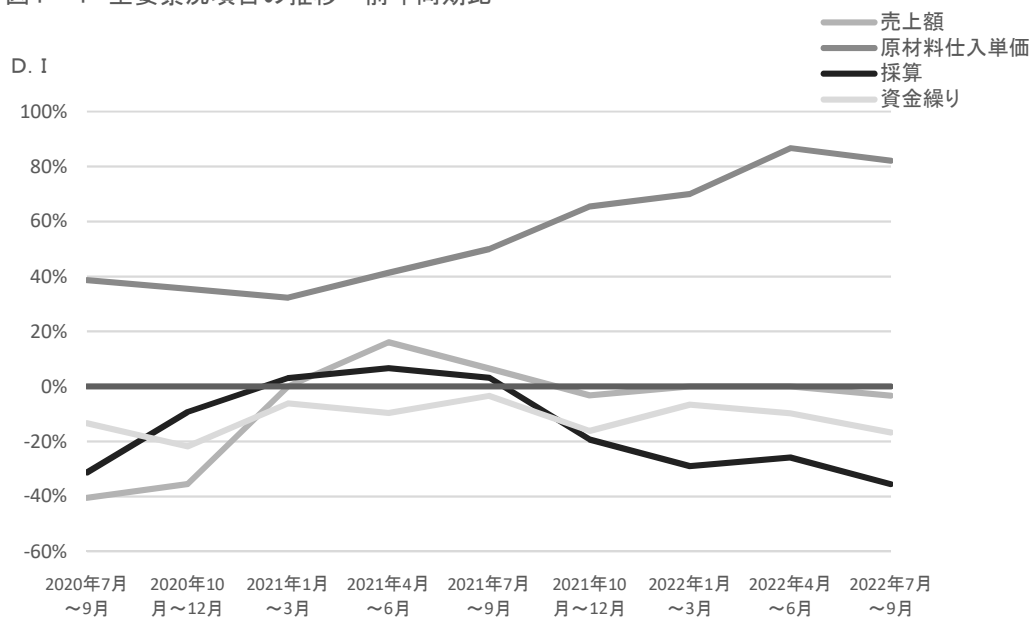
#### ○主要景況項目から見た概要

- ・売上額DI値は、0.0→△3.3と3.3ポイント下降  
(同全国値は、△3.2→△4.0と0.8ポイント下降)
- ・採算DI値は、△25.8→△35.5と9.7ポイント下降  
(同全国値は、△25.6→△30.4と4.8ポイント下降)
- ・資金繰りDI値は、△9.7→△16.7と7.0ポイント下降  
(同全国値は、△12.9→△15.6と2.7ポイント下降)

今期は、売上額DIがマイナスに悪化し、採算DI・資金繰りDIでマイナス幅が拡大した。

来期は、売上額DIはマイナス幅が拡大し、採算DIでマイナス幅が改善し、資金繰りDIは変動しないことが見込まれる。

図1-1 主要景況項目の推移—前年同期比—



項目 \ 期	2021年7月～9月	2021年10月～12月	2022年1月～3月	2022年4月～6月	2022年7月～9月
売上額	6.5	△ 3.2	0.0	0.0	△ 3.3
原材料仕入単価	50.0	65.5	70.0	86.7	82.1
採算	3.2	△ 19.3	△ 29.0	△ 25.8	△ 35.5
資金繰り	△ 3.4	△ 16.1	△ 6.6	△ 9.7	△ 16.7

図 1 - 2 売上額推移（月別指数）

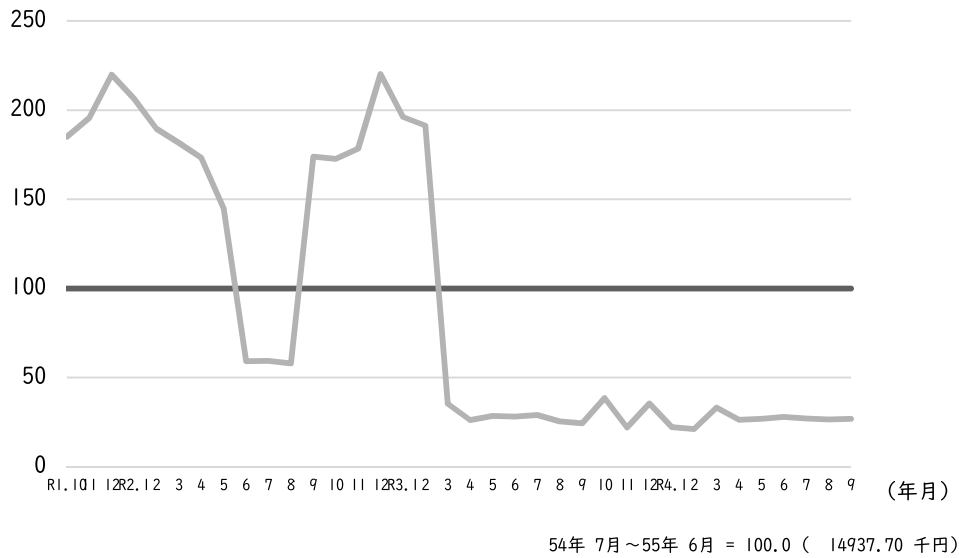


図 1 - 3 売上額の状況－前年同期比－

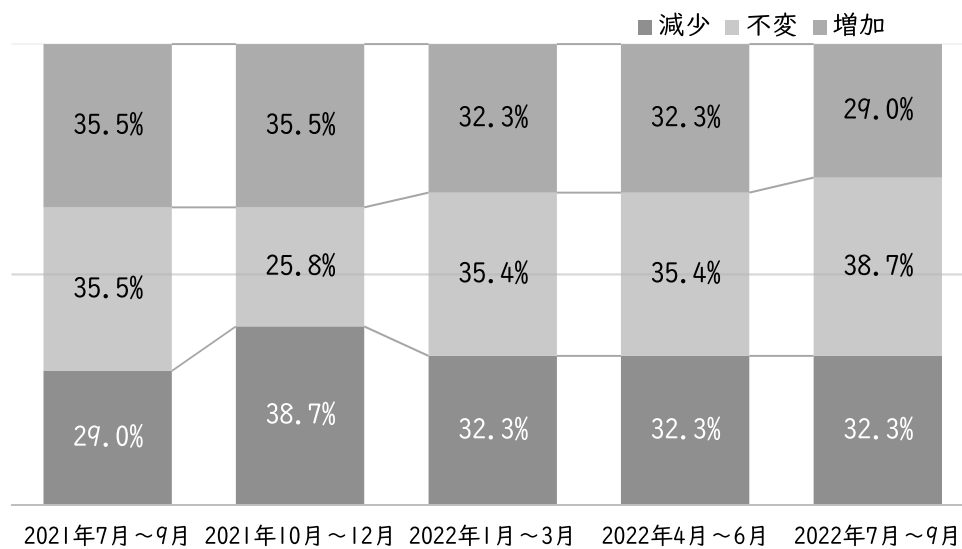


図 1 - 4 採算の状況－前年同期比－

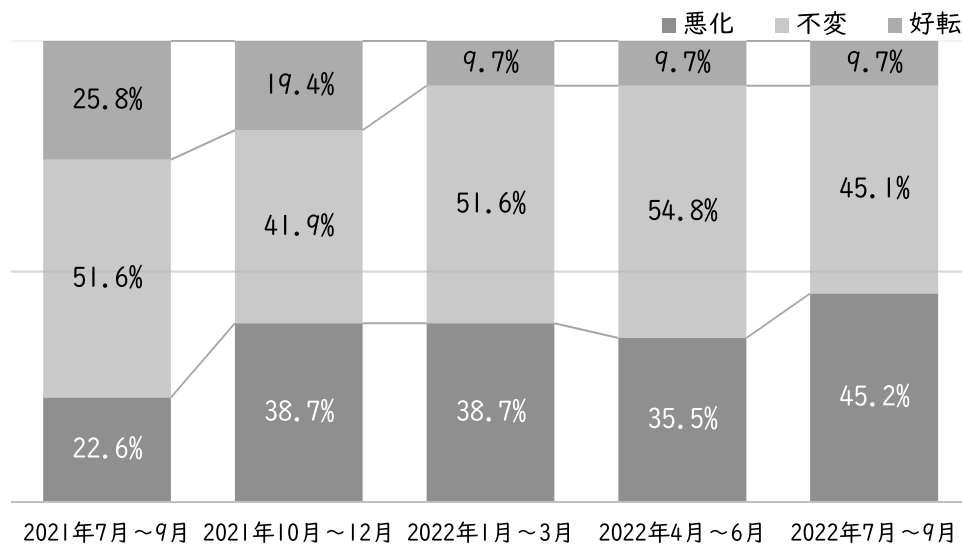
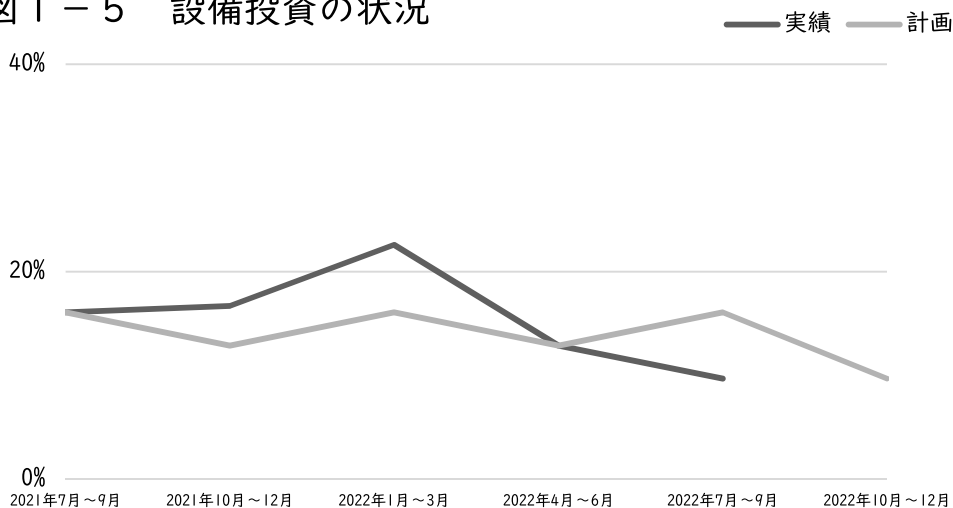


図 1-5 設備投資の状況



(計画)

図 1-6 経営上の問題点の状況 (1位と1位～3位)

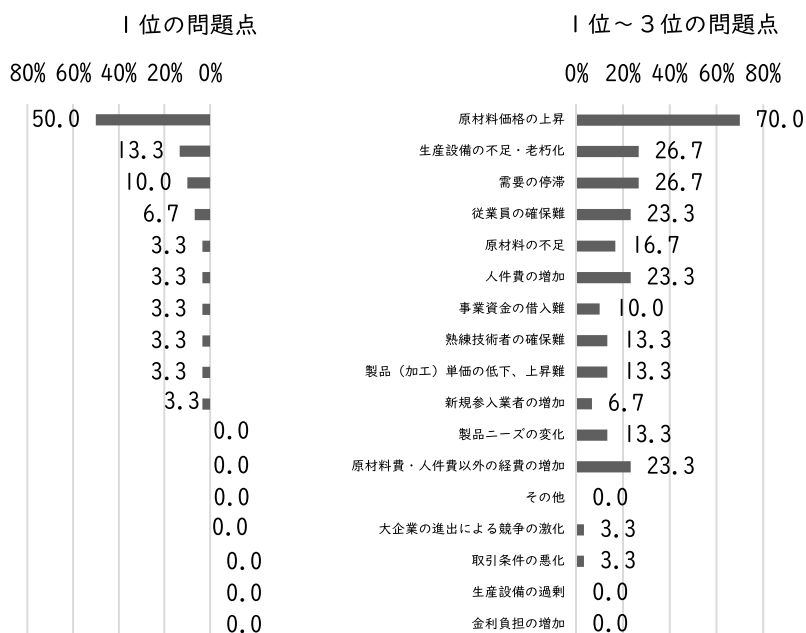


図 1-7 経営上の問題点の推移

(1位の問題点・上位5つ)

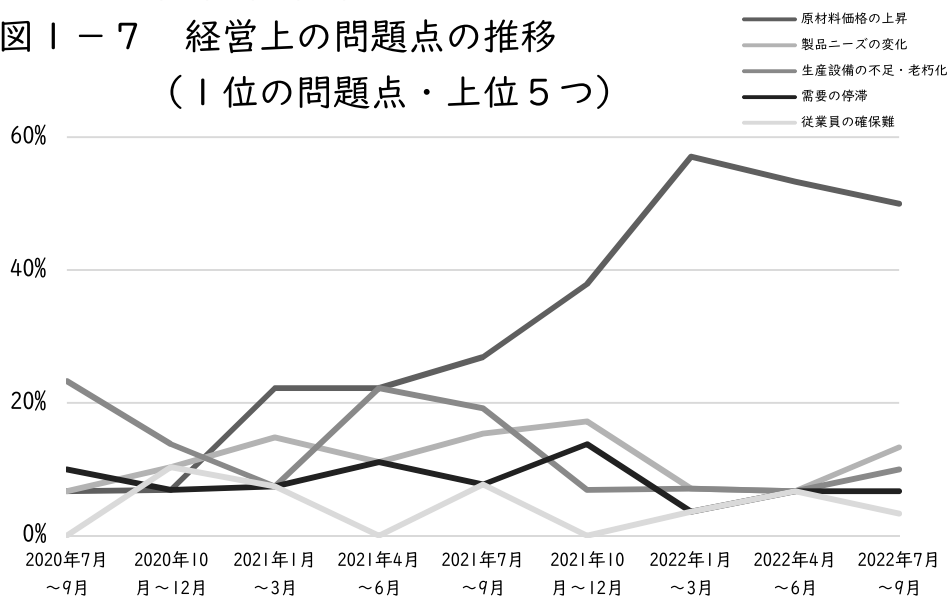


図 1 - 8 売上額の状況 - 前年同期比 -

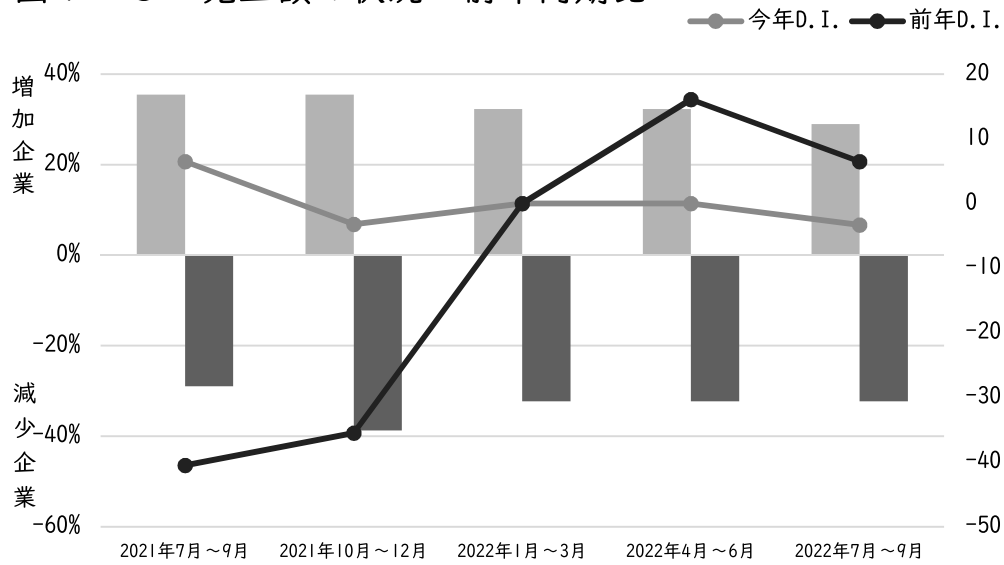
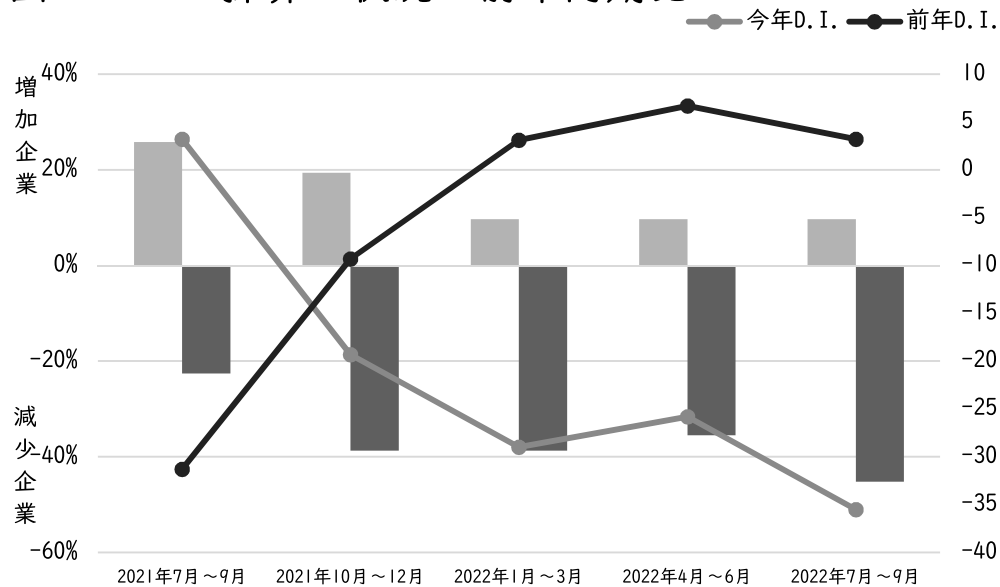


図 1 - 9 採算の状況 - 前年同期比 -



## 建設業の動向

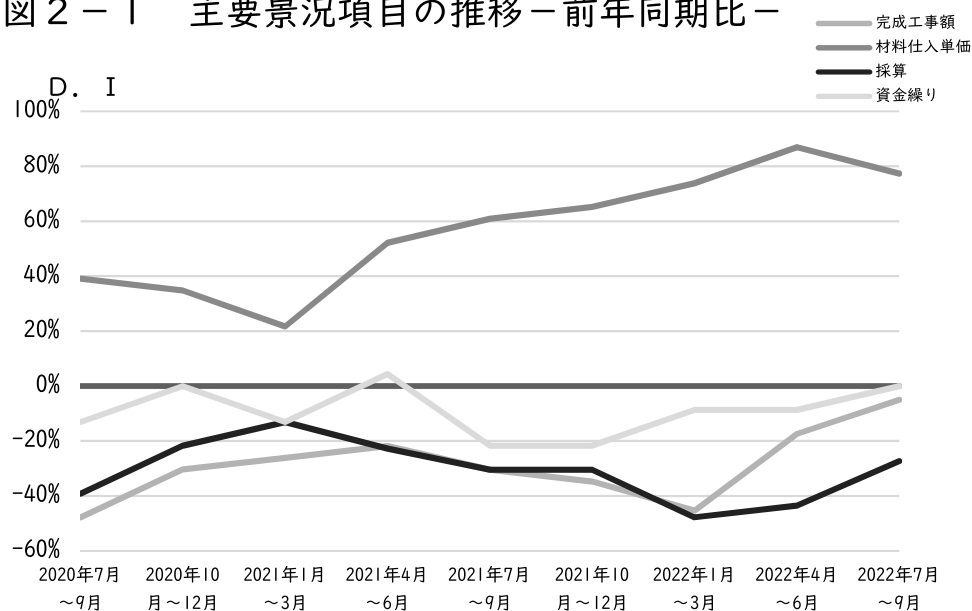
### ○主要景況項目から見た概要

- ・完成工事額DI値は、 $\Delta 17.4 \rightarrow \Delta 5.0$ と12.4ポイント上昇  
(同全国値は、 $\Delta 19.0 \rightarrow \Delta 12.7$ と6.3ポイント上昇)
- ・採算DI値は、 $\Delta 43.5 \rightarrow \Delta 27.3$ と16.2ポイント上昇  
(同全国値は、 $\Delta 35.9 \rightarrow \Delta 31.8$ と4.1ポイント上昇)
- ・資金繰りDI値は、 $\Delta 8.7 \rightarrow 0.0$ と8.7ポイント上昇  
(同全国値は、 $\Delta 12.6 \rightarrow \Delta 7.9$ と4.7ポイント上昇)

今期は、完成工事額DI・採算DI・資金繰りDIでマイナス幅が改善した。

来期は、完成工事高DIでプラスに好転し、採算DIでマイナス幅が改善し、資金繰りDIでマイナスへの悪化が見込まれる。

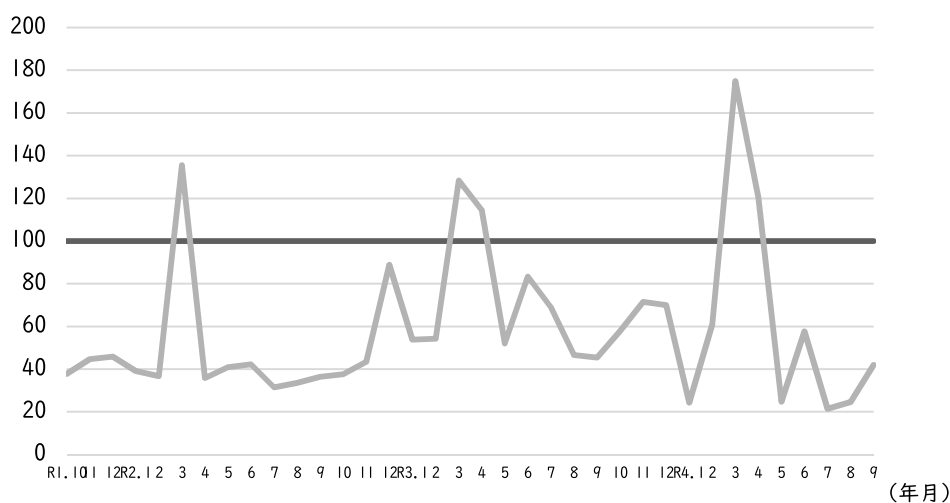
図2-1 主要景況項目の推移－前年同期比－



項目	期	2021年7月～9月	2021年10月～12月	2022年1月～3月	2022年4月～6月	2022年7月～9月
売上額		$\Delta 30.5$	$\Delta 34.8$	$\Delta 45.4$	$\Delta 17.4$	$\Delta 5.0$
原材料仕入単価		60.9	65.2	73.9	87.0	77.3
採算		$\Delta 30.5$	$\Delta 30.5$	$\Delta 47.8$	$\Delta 43.5$	$\Delta 27.3$
資金繰り		$\Delta 21.7$	$\Delta 21.7$	$\Delta 8.7$	$\Delta 8.7$	0.0



図 2 - 2 完成工事額推移（月別指数）



54年 7月～55年 6月 = 100.0 ( 14128.40 千円) 全国完成工事額月平均

図 2 - 3 完成工事額の状況－前年同期比－

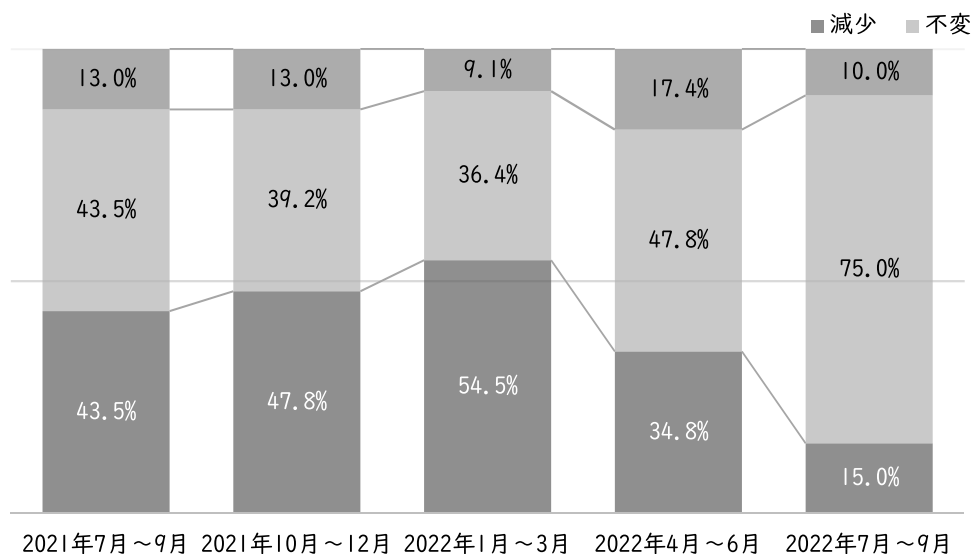


図 2 - 4 採算の状況－前年同期比－

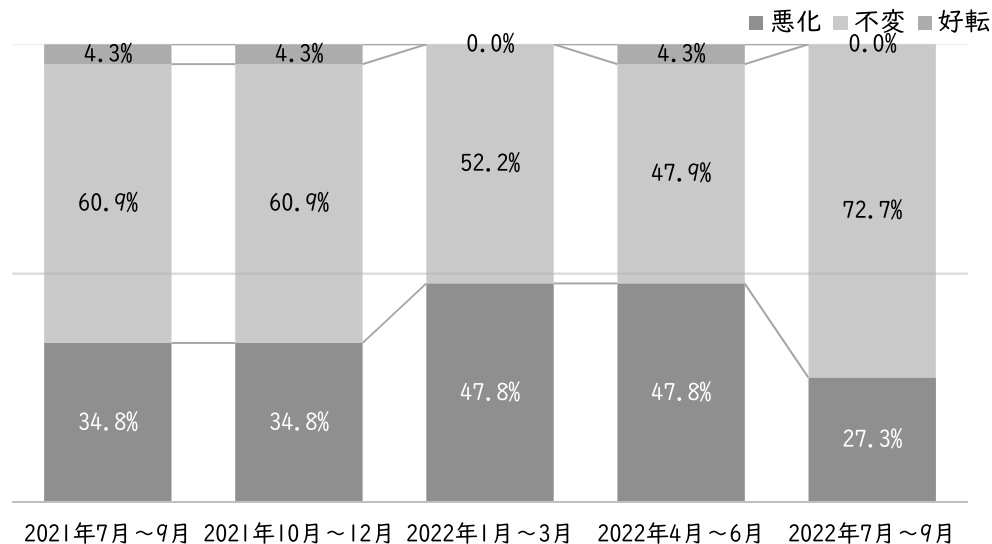
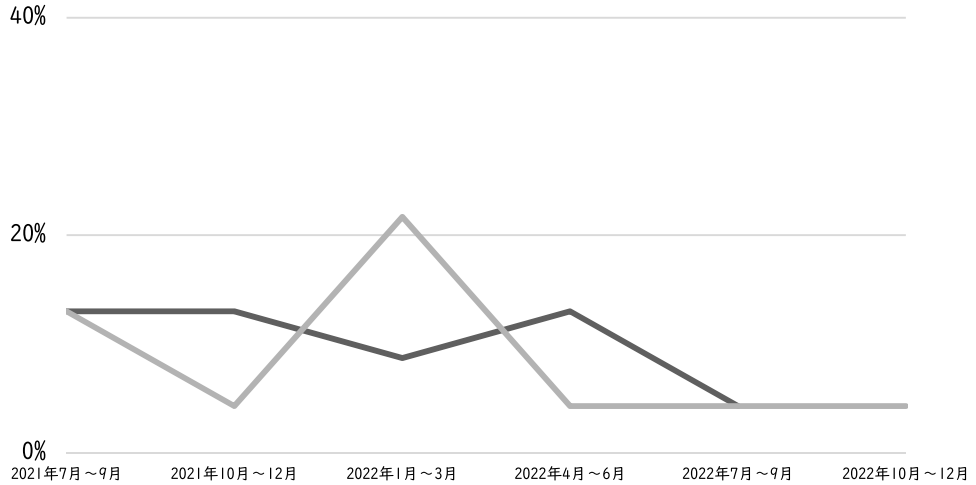


図 2 - 5 設備投資の状況



(計画)

図 2 - 6 経営上の問題点の状況 (1位と1位～3位)

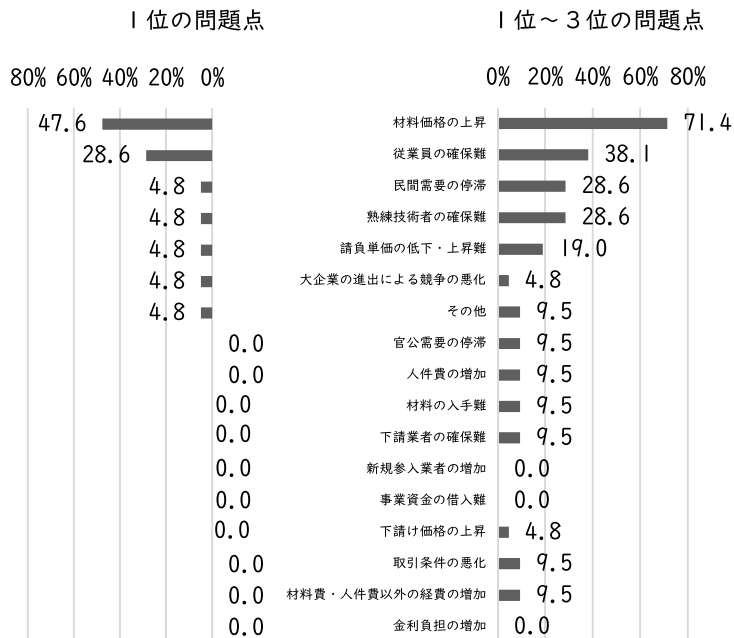


図 2 - 7 経営上の問題点の推移

(1位の問題点・上位5つ)

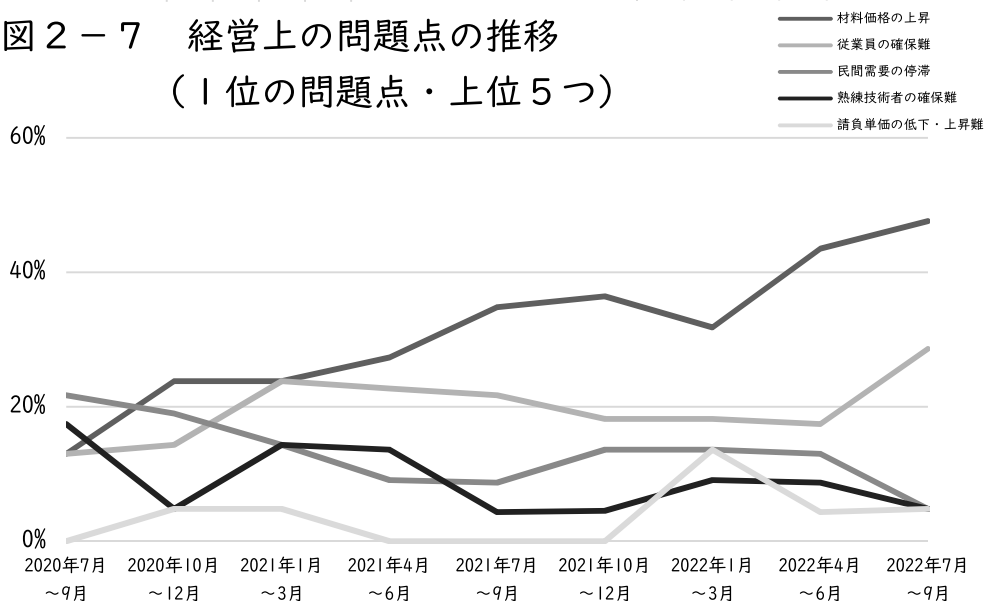


図 2 - 8 完成工事額の状況 - 前年同期比 -

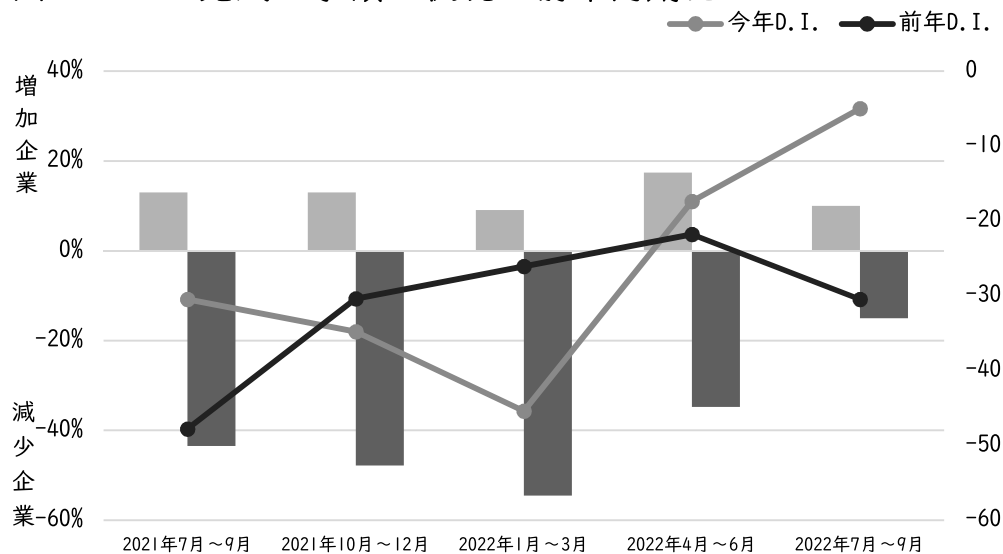
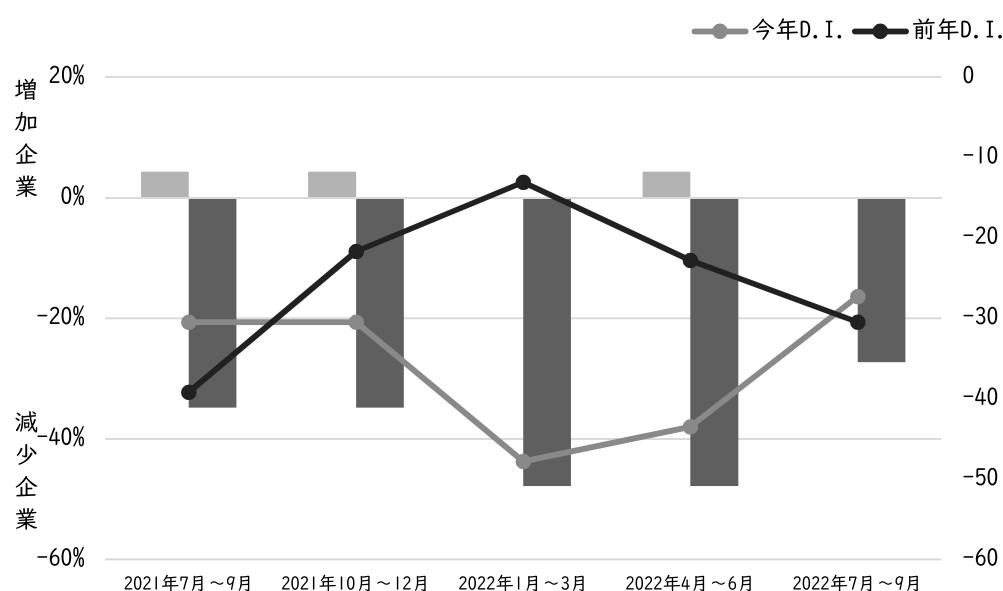


図 2 - 9 採算の状況 - 前年同期比 -



## 小売業の動向

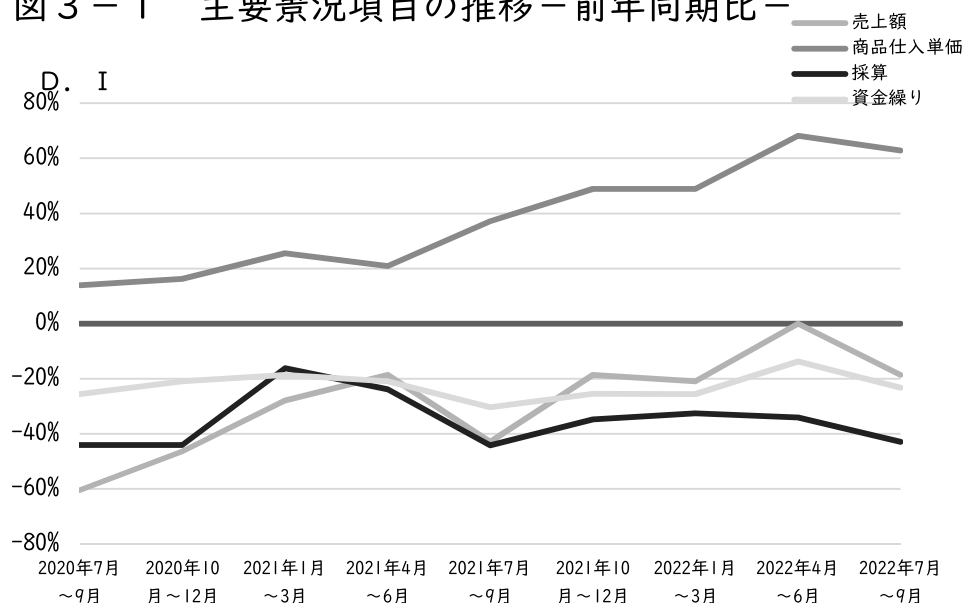
### ○主要景況項目から見た概要

- ・売上額DI値は、0.0→△18.6と18.6ポイント下降  
(同全国値は、△20.2→△20.9と0.7ポイント下降)
- ・採算DI値は、△34.1→△42.9と8.8ポイント下降  
(同全国値は、△40.0→△38.7と1.3ポイント上昇)
- ・資金繰りDI値は、△13.7→△23.3と9.6ポイント下降  
(同全国値は、△24.3→△23.3と1.0ポイント上昇)

今期は、売上額DIがマイナスに悪化し、採算DI・資金繰りDIでマイナス幅が拡大した。

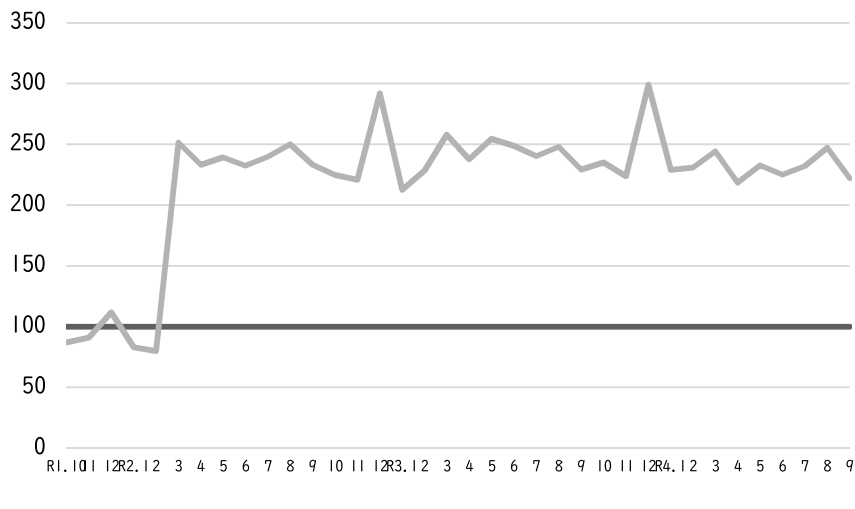
来期は、売上額DI・採算DI・資金繰りDIでマイナス幅の改善が見込まれる。

図3-1 主要景況項目の推移－前年同期比－



項目	期	2021年7月～9月	2021年10月～12月	2022年1月～3月	2022年4月～6月	2022年7月～9月
売上額		△ 42.9	△ 18.6	△ 20.9	0.0	△ 18.6
原材料仕入単価		37.2	48.9	48.9	68.2	62.8
採算		△ 44.2	△ 34.8	△ 32.6	△ 34.1	△ 42.9
資金繰り		△ 30.3	△ 25.5	△ 25.6	△ 13.7	△ 23.3

図3-2 売上額推移（月別指数）



54年 7月～55年 6月 = 100.0 ( 4597.40 千円) 全国売上額月平均

図3-3 売上額の状況－前年同期比－

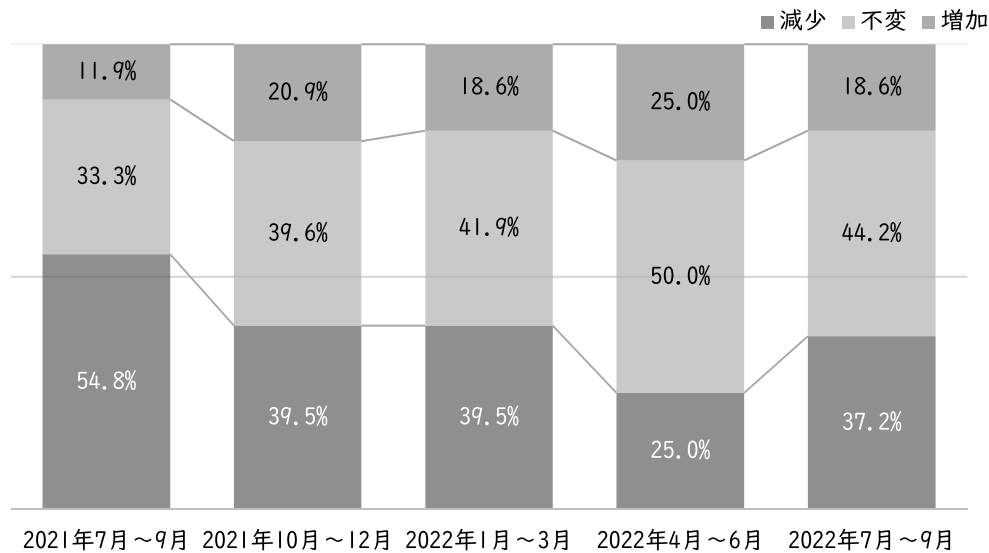


図3-4 採算の状況－前年同期比－

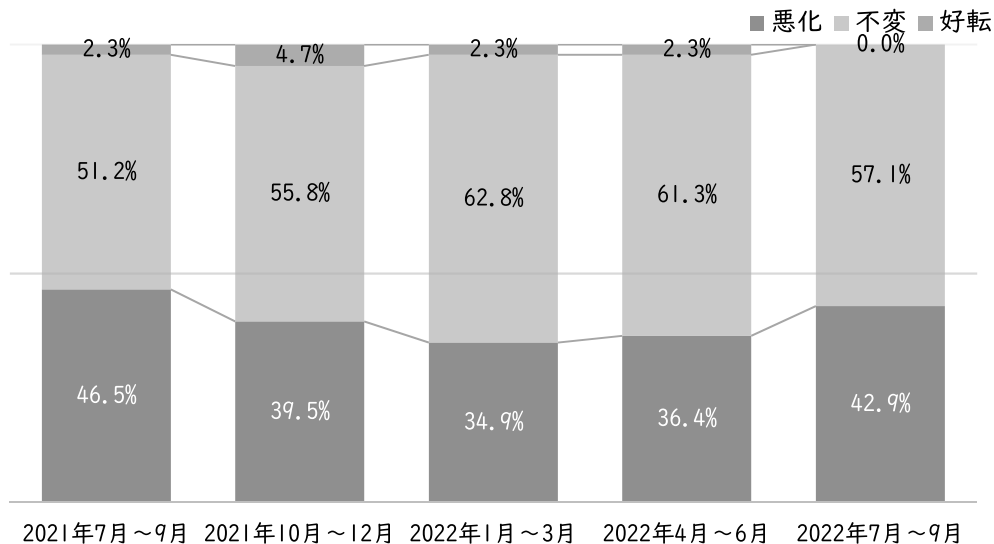


図3-5 設備投資の状況

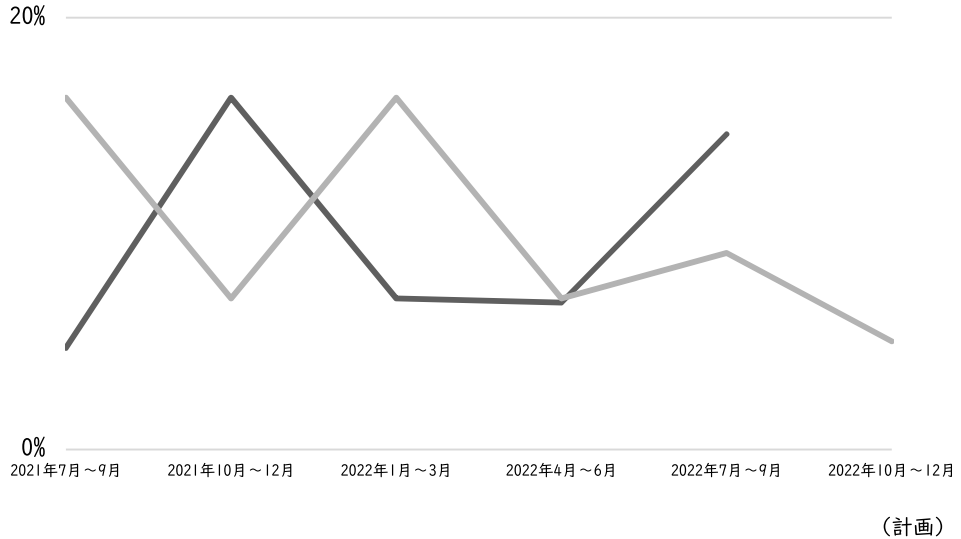


図3-6 経営上の問題点の状況 (1位と1位～3位)

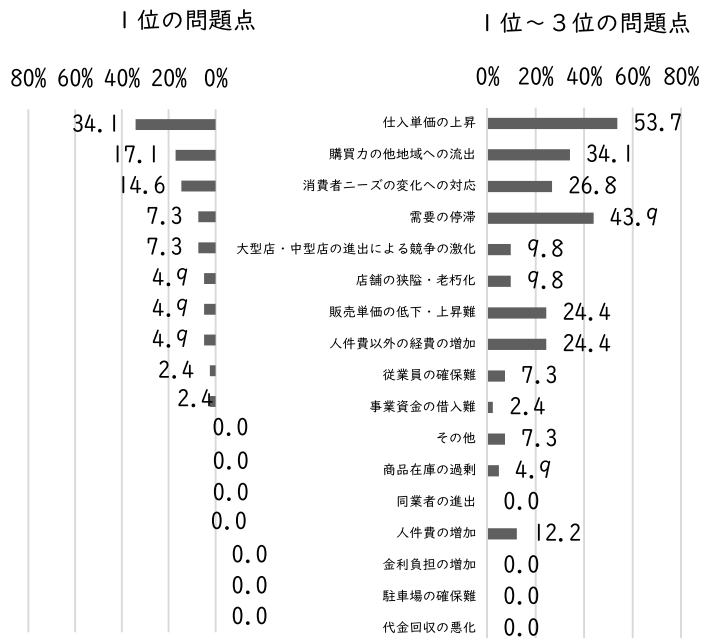


図3-7 経営上の問題点の推移 (1位の問題点・上位5つ)

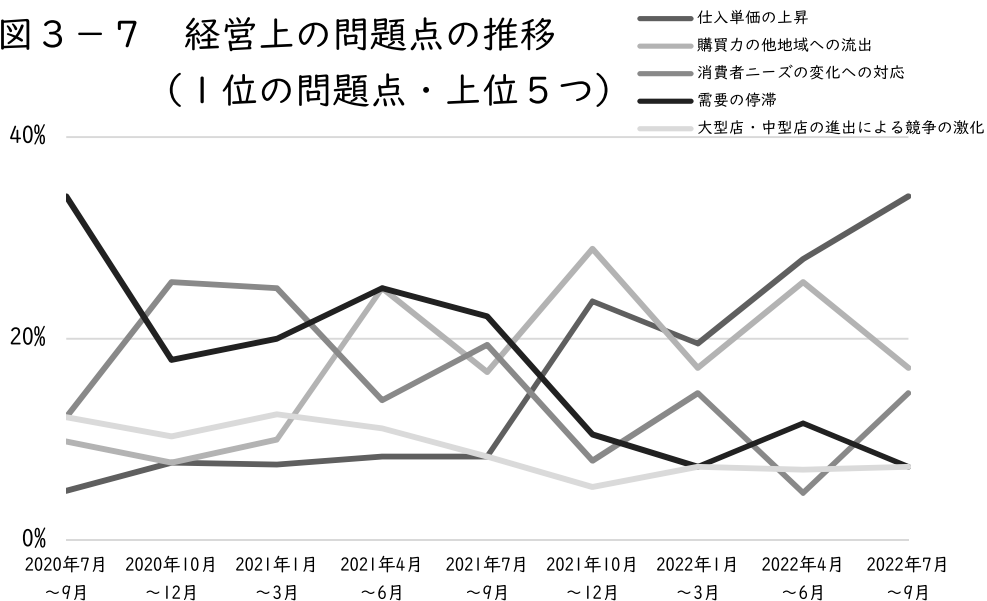


図3-8 売上額の状況－前年同期比－

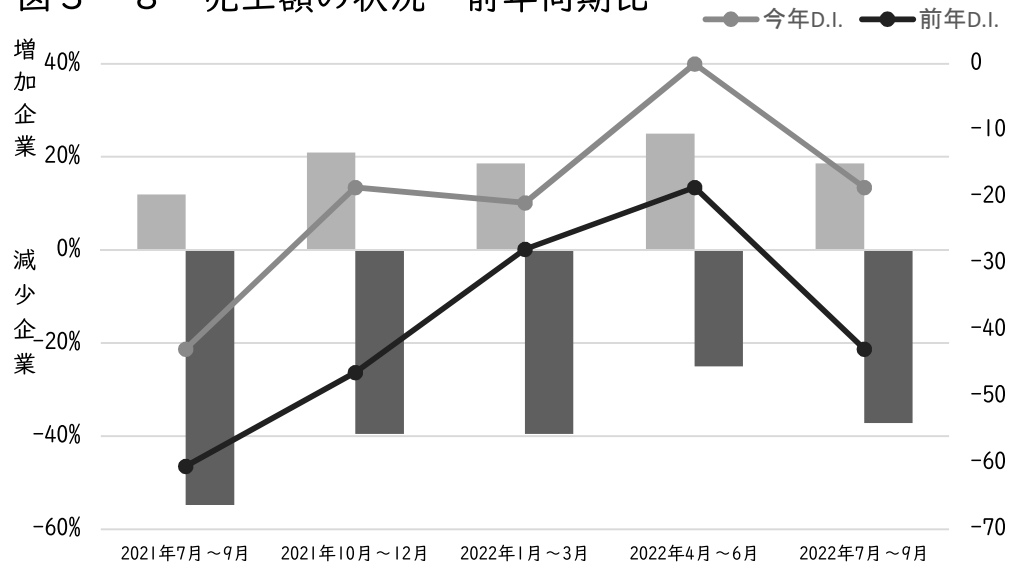
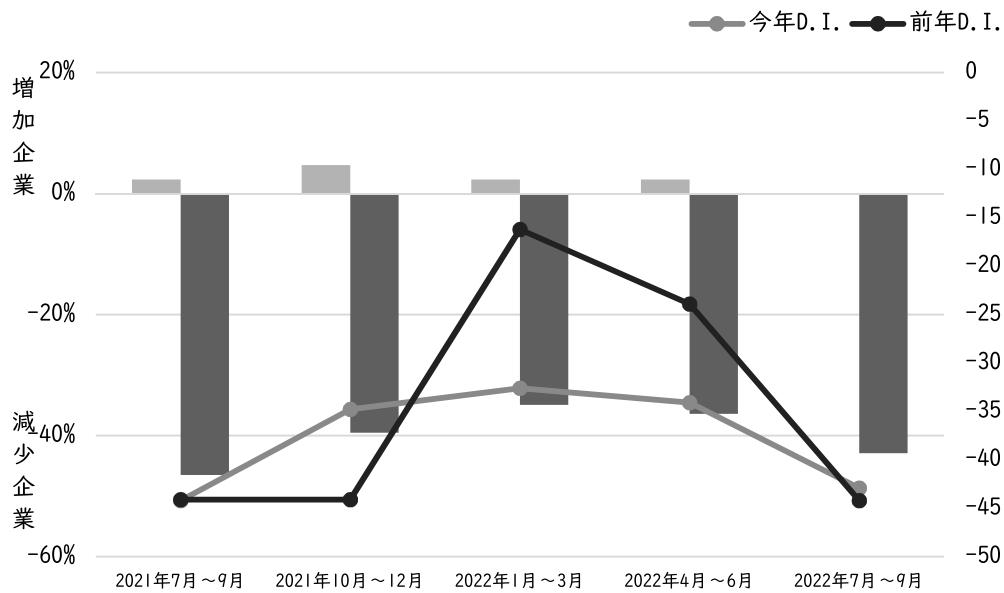


図3-9 採算の状況－前年同期比－



## サービス業の動向

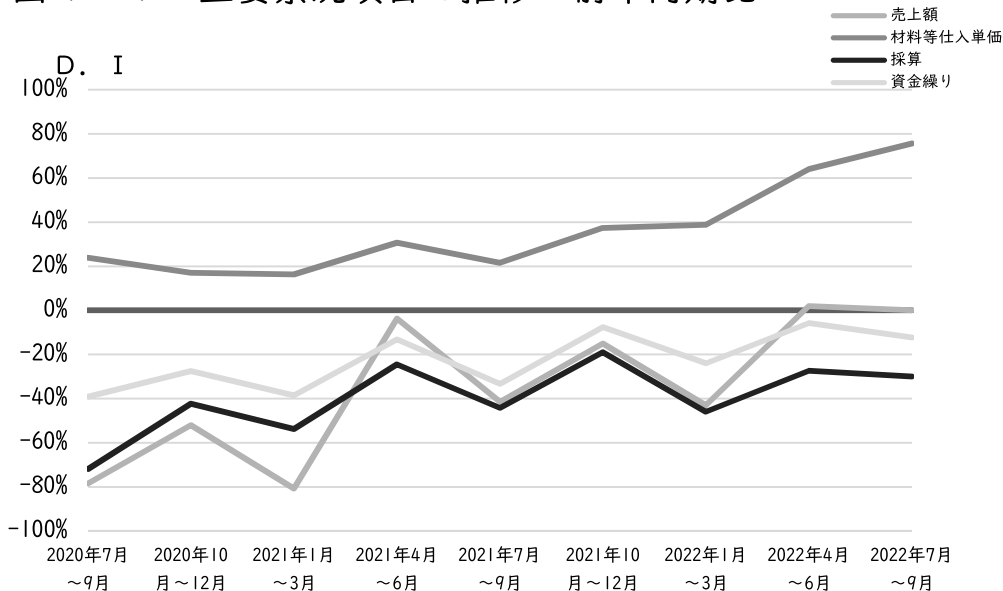
### ○主要景況項目から見た概要

- ・売上額DI値は、1.9→.0と1.9ポイント下降  
(同全国値は、△6.0→△7.9と1.9ポイント下降)
- ・採算DI値は、△27.4→△30.0と2.6ポイント下降  
(同全国値は、△32.2→△35.9と3.7ポイント下降)
- ・資金繰りDI値は、△5.8→△12.3と6.5ポイント下降  
(同全国値は、△15.2→△18.6と3.4ポイント下降)

今期は、売上額DIでプラス幅が減少し、採算DI・資金繰りDIでマイナス幅が拡大した。

来期は、売上額DIは変動せず、採算DIでマイナス幅が改善し、資金繰りDIでマイナス幅の拡大が見込まれる。

図4-1 主要景況項目の推移－前年同期比－



項目	期	2021年7月～9月	2021年10月～12月	2022年1月～3月	2022年4月～6月	2022年7月～9月
売上額		△ 41.5	△ 15.1	△ 43.1	1.9	0.0
原材料仕入単価		21.6	37.3	38.8	64.0	75.6
採算		△ 44.2	△ 18.9	△ 46.0	△ 27.4	△ 30.0
資金繰り		△ 33.3	△ 7.6	△ 24.0	△ 5.8	△ 12.3



図4-2 売上額推移（月別指数）

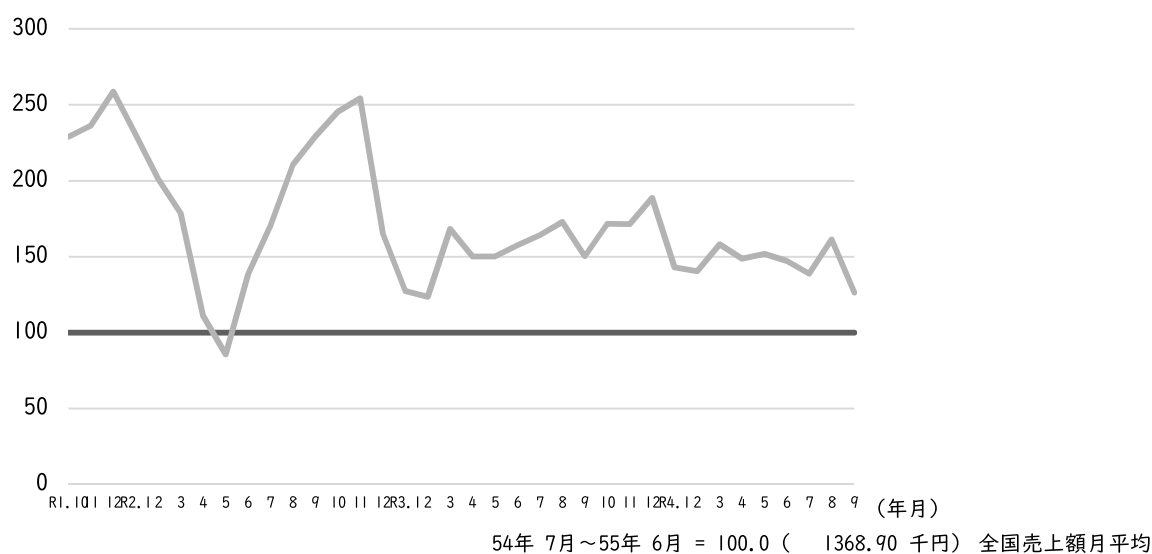


図4-3 売上額の状況－前年同期比－

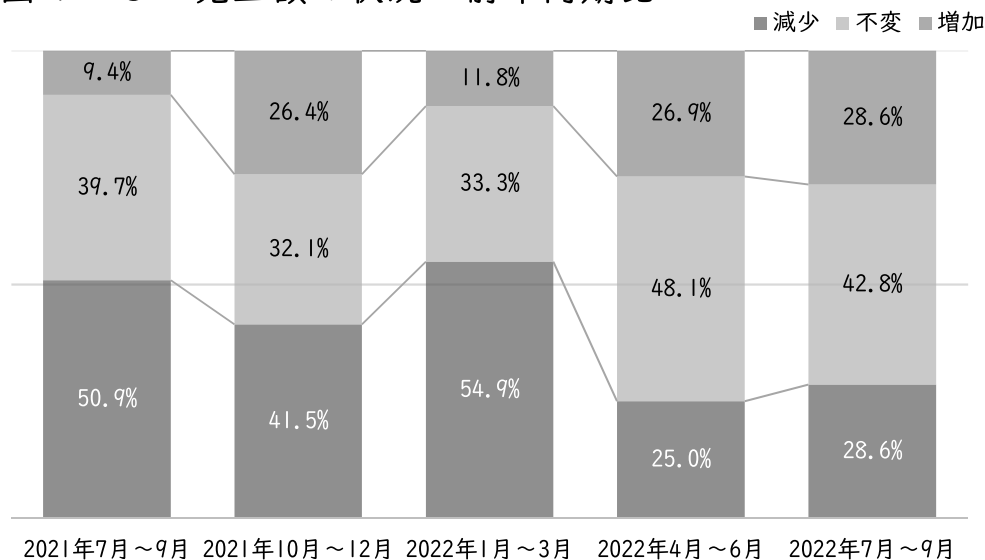


図4-4 採算の状況－前年同期比－

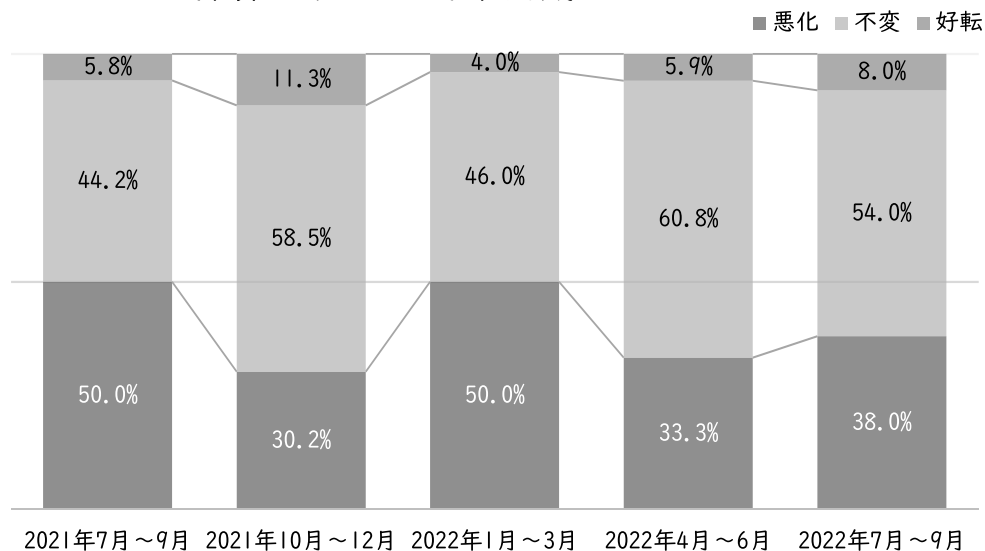


図4-5 設備投資の状況

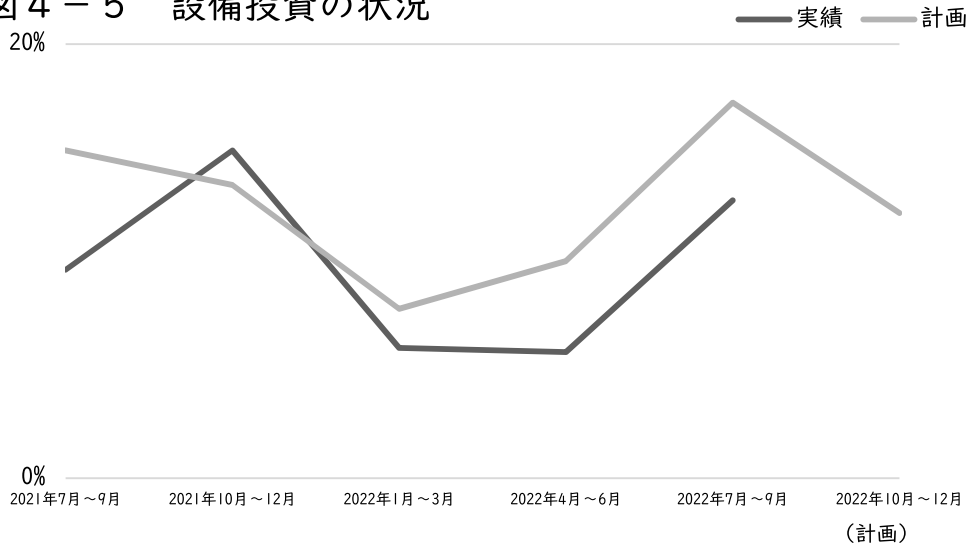


図4-6 経営上の問題点の状況 (1位と1位～3位)

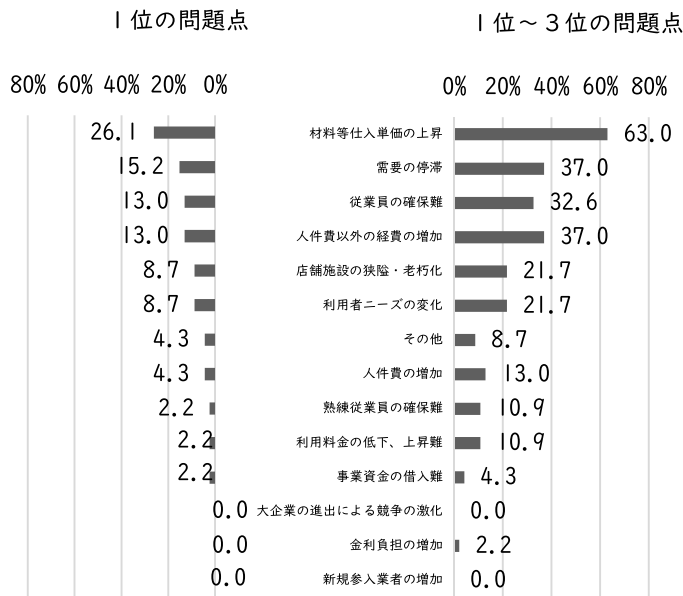


図4-7 経営上の問題点の推移 (1位の問題点・上位5つ)

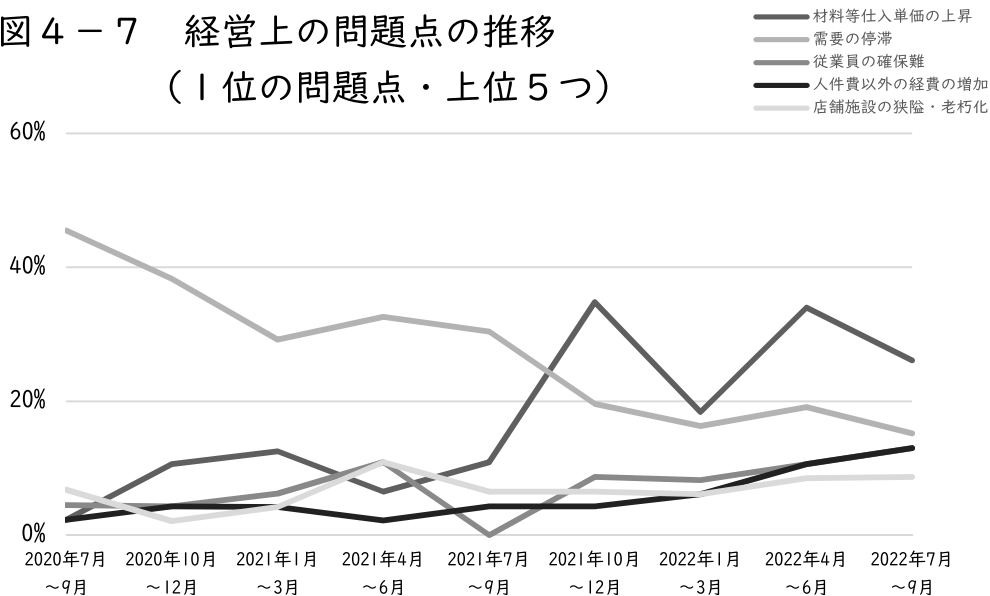


図4-8 売上額の状況－前年同期比－

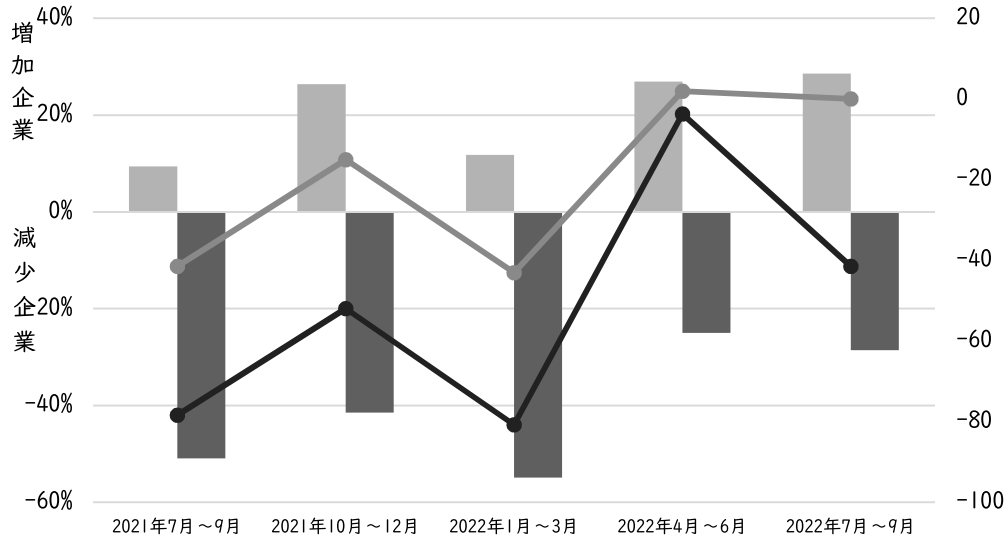
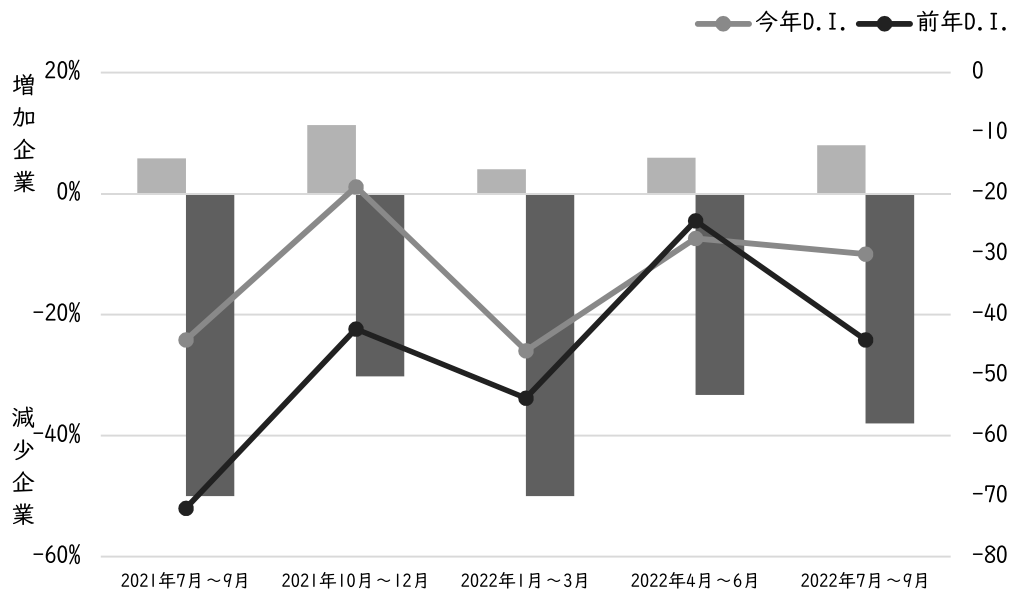
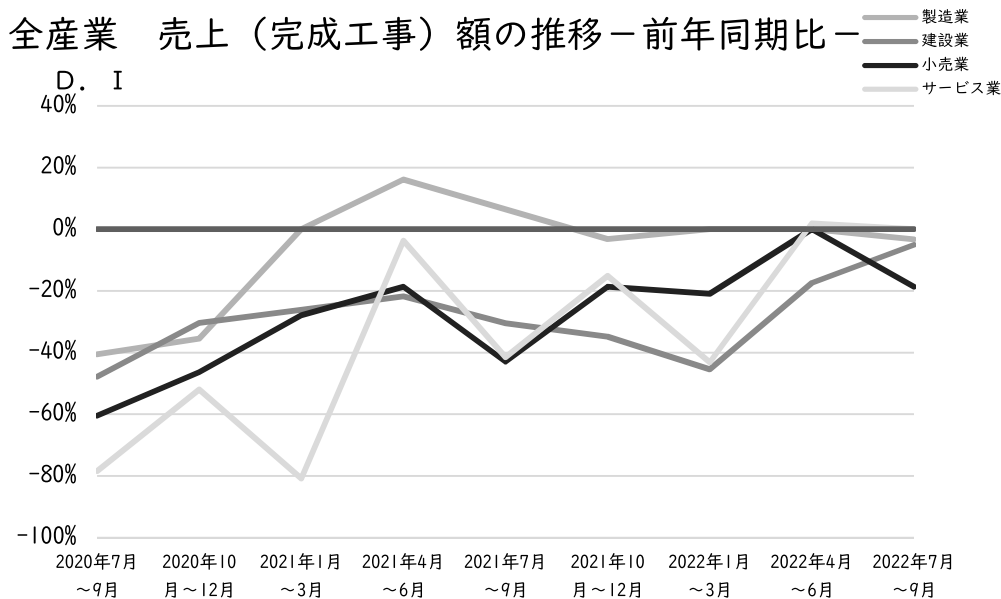


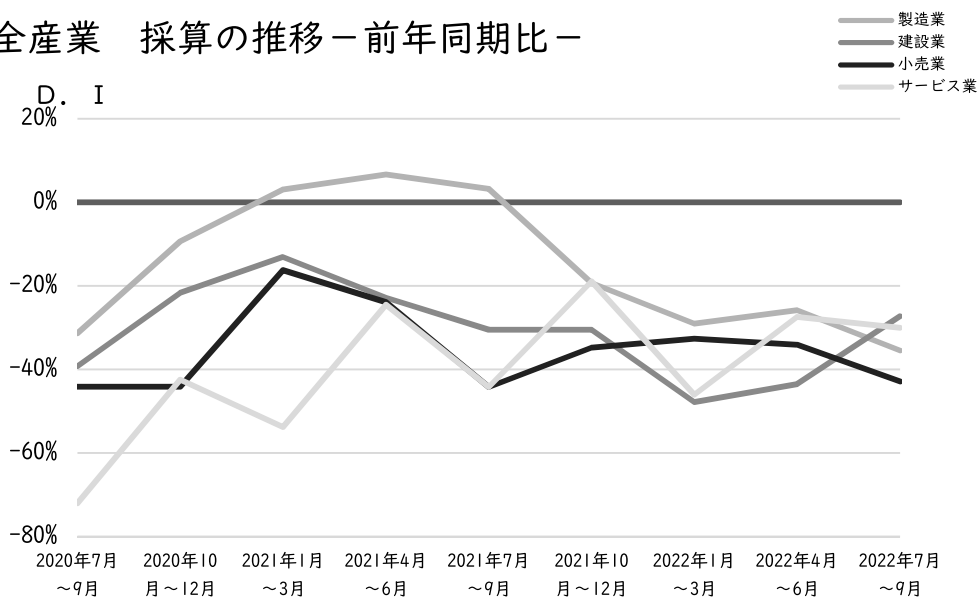
図4-9 採算の状況－前年同期比－



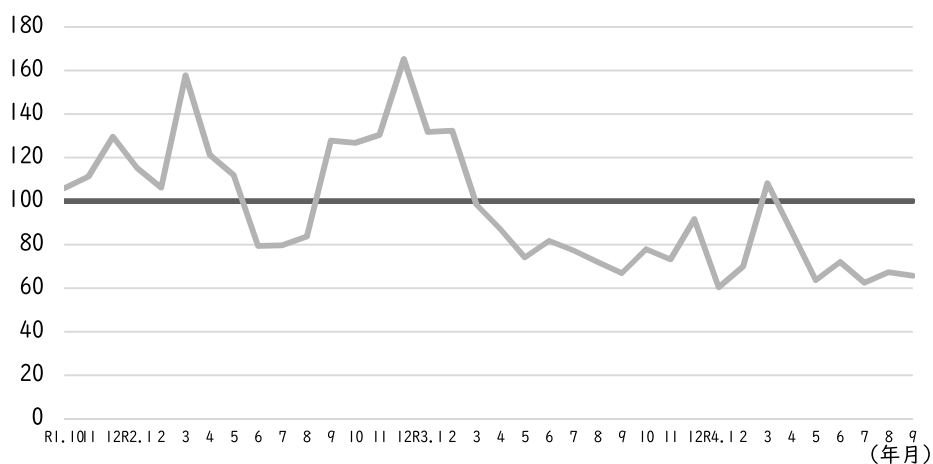
## 全産業の動向



## 全産業 採算の推移－前年同期比－



## 全産業 売上額推移（月別指数）



54年 7月～55年 6月 = 100.0 ( 8213.00 千円) 全国全産業売上額月平均

# 中小企業景況調査報告書

2022年10月～12月期

---

高知県商工会連合会

# 中小企業景況調査

## [調査事項]

### 1. 調査対象

(1)調査対象地区 ( 室戸市 芸西 香南市 香美市 春野  
佐川町 越知町 中土佐町 四万十町 黒潮町 )

(2)調査企業数 150企業

(3)回答企業数 148企業 (回答率：98.7%)

### 2. 調査対象期間

2022年10月～12月期を対象とし、調査時点は2022年11月11日とする。

### 3. 調査方法

(1)商工会の経営指導員による訪問面接調査

(2)調査対象地区は市町村人口規模に勘案して行い、調査対象企業の抽出は業種、規模等有意選出法による。

### 4. 回答企業数の内訳

業 種	回答企業数	構成比 (%)
製 造 業	30	20.3
建 設 業	23	15.5
小 売 業	43	29.1
サービス業	52	35.1
合 計	148	100.0

注記 本報告書のDIとは、ディフュージョン・インデックス（景気動向指数）の略で、各調査事項についての増加（上昇、好転、長期化）の企業割合と減少（低下、悪化、短期化）企業割合の差を示すものである。

# 1. 産業全体の景況概要

○商工会地域における今期（2022年10月～12月期）の状況

## [製造業]

(D I 値)

項目 \ 期	2022年 7月～ 9月	2022年10月～12月	対 前 期 比
売 上 額	△ 3.3	16.6	19.9ポイント上昇
採 算	△ 35.5	△ 26.6	8.9ポイント上昇
資 金 繰 り	△ 16.7	△ 20.7	4.0ポイント下降

## [建設業]

(D I 値)

項目 \ 期	2022年 7月～ 9月	2022年10月～12月	対 前 期 比
完 成 工 事 額	△ 5.0	△ 13.0	8.0ポイント下降
採 算	△ 27.3	△ 34.8	7.5ポイント下降
資 金 繰 り	0.0	△ 8.7	8.7ポイント下降

## [小売業]

(D I 値)

項目 \ 期	2022年 7月～ 9月	2022年10月～12月	対 前 期 比
売 上 額	△ 18.6	△ 18.2	0.4ポイント上昇
採 算	△ 42.9	△ 52.3	9.4ポイント下降
資 金 繰 り	△ 23.3	△ 25.0	1.7ポイント下降

## [サービス業]

(D I 値)

項目 \ 期	2022年 7月～ 9月	2022年10月～12月	対 前 期 比
売 上 額	0.0	5.9	5.9ポイント上昇
採 算	△ 30.0	△ 25.5	4.5ポイント上昇
資 金 繰 り	△ 12.3	△ 15.6	3.3ポイント下降

○来期見通し(2023年 1月～ 3月期)

(D I 値)

業種 \ 区分	売 上 額 完 成 工 事 額	採 算	資 金 繰 り
製 造 業	3.4	△ 23.3	△ 10.4
建 設 業	△ 4.3	△ 39.1	△ 13.0
小 売 業	△ 11.4	△ 31.9	△ 9.1
サ ー ビ ス 業	△ 1.9	△ 25.5	△ 13.7

## 2. 産 業 別 景 況

### 製造業の動向

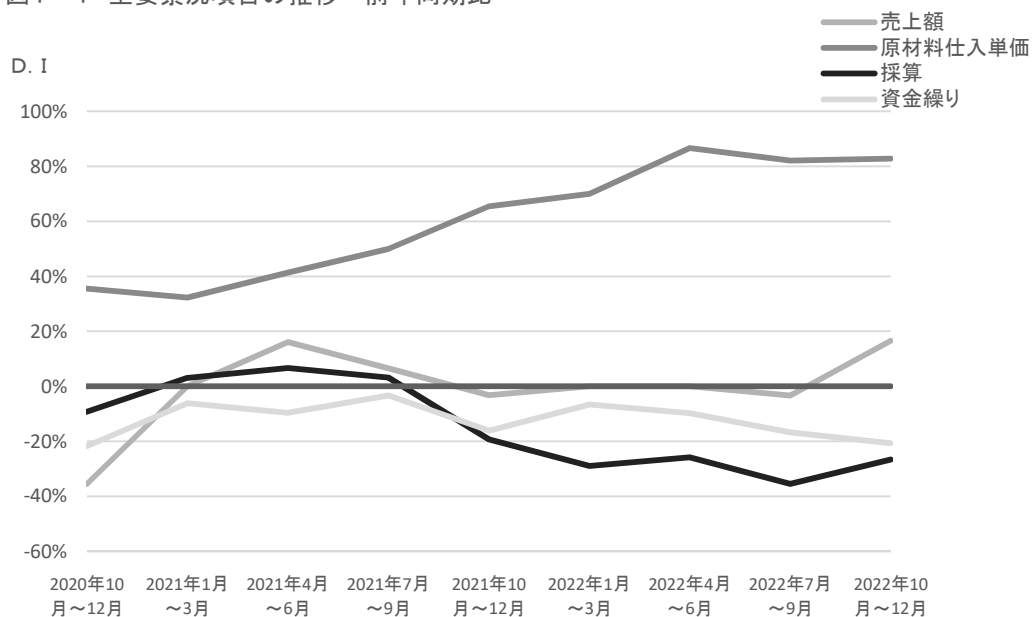
#### ○主要景況項目から見た概要

- ・売上額DI値は、 $\Delta 3.3 \rightarrow 16.6$ と19.9ポイント上昇  
(同全国値は、 $\Delta 4.0 \rightarrow \Delta 3.5$ と0.5ポイント上昇)
- ・採算DI値は、 $\Delta 35.5 \rightarrow \Delta 26.6$ と8.9ポイント上昇  
(同全国値は、 $\Delta 30.4 \rightarrow \Delta 28.2$ と2.2ポイント上昇)
- ・資金繰りDI値は、 $\Delta 16.7 \rightarrow \Delta 20.7$ と4.0ポイント下降  
(同全国値は、 $\Delta 15.6 \rightarrow \Delta 16.2$ と0.6ポイント下降)

今期は、売上額DIがプラスに好転し、採算DIでマイナス幅が改善し、資金繰りDIでマイナス幅が拡大した。

来期は、売上額DIはプラス幅が縮小し、採算DI・資金繰りDIでマイナス幅の改善が見込まれる。

図1-1 主要景況項目の推移—前年同期比—



項目 \ 期	2021年10月~12月	2022年1月~3月	2022年4月~6月	2022年7月~9月	2022年10月~12月
売上額	$\Delta 3.2$	0.0	0.0	$\Delta 3.3$	16.6
原材料仕入単価	65.5	70.0	86.7	82.1	82.8
採算	$\Delta 19.3$	$\Delta 29.0$	$\Delta 25.8$	$\Delta 35.5$	$\Delta 26.6$
資金繰り	$\Delta 16.1$	$\Delta 6.6$	$\Delta 9.7$	$\Delta 16.7$	$\Delta 20.7$



図 1 - 2 売上額推移（月別指数）

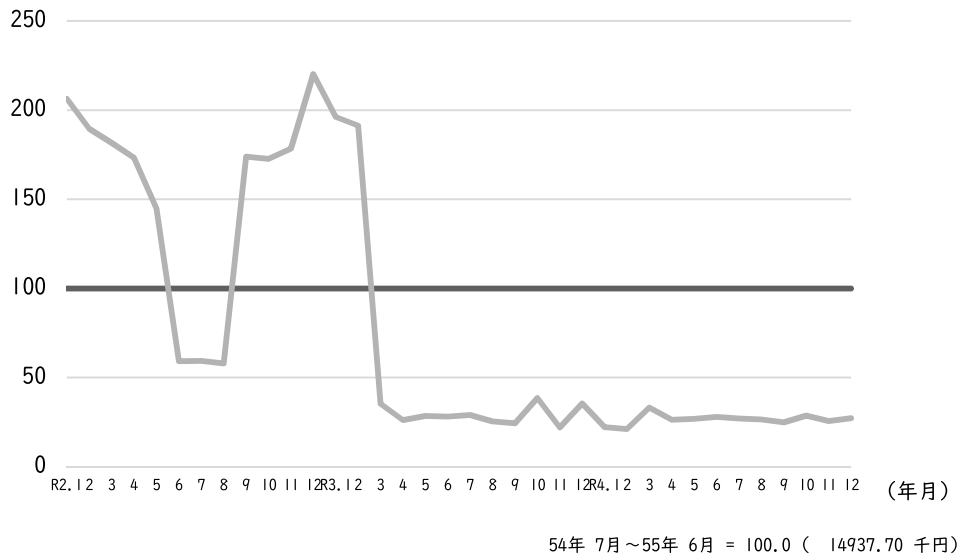


図 1 - 3 売上額の状況－前年同期比－

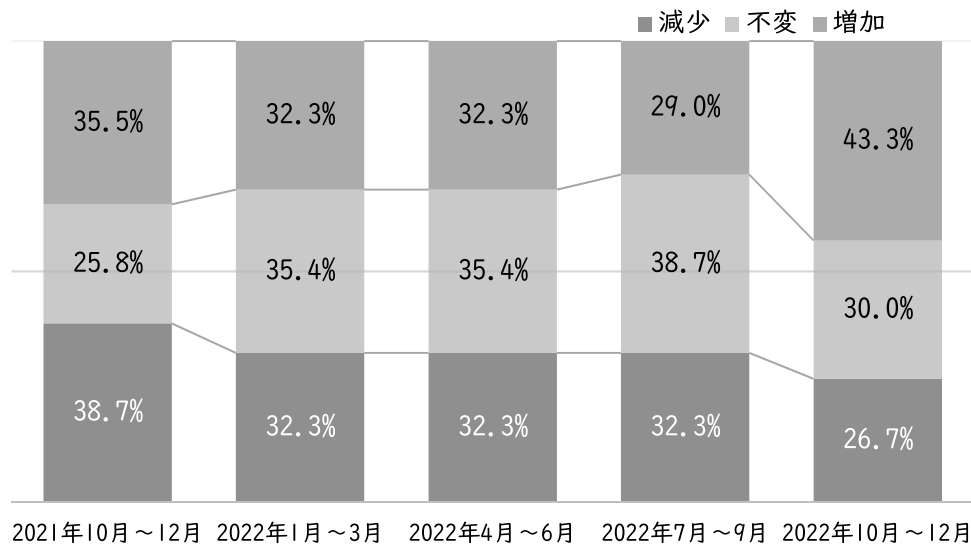


図 1 - 4 採算の状況－前年同期比－

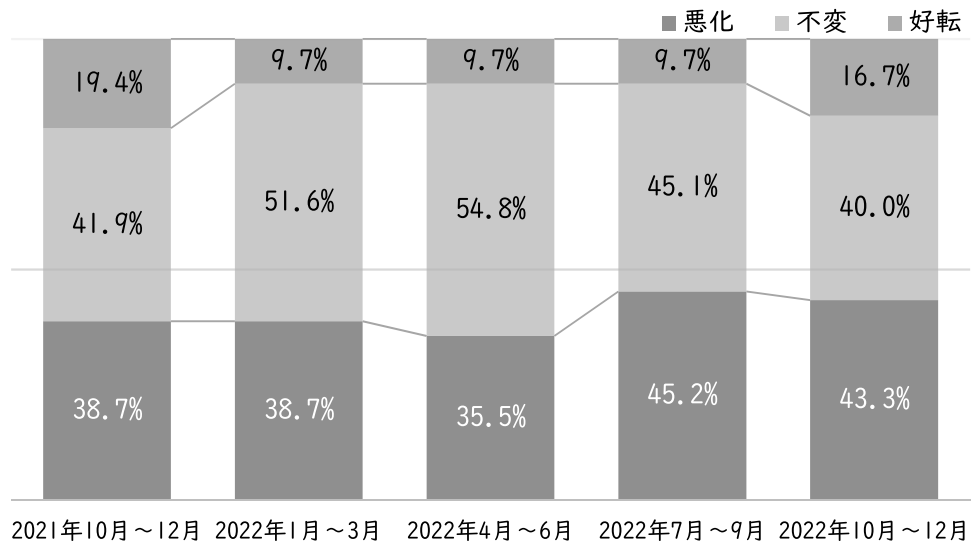
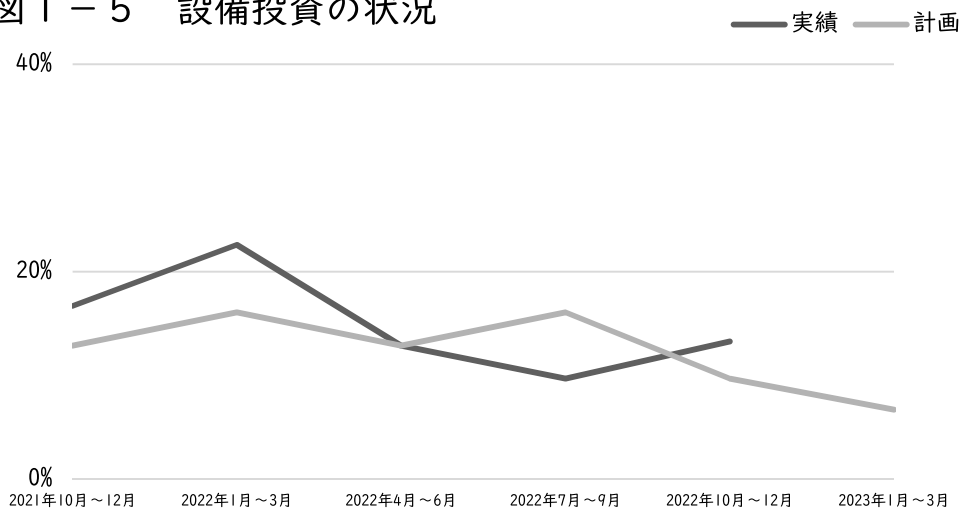


図 1-5 設備投資の状況



(計画)

図 1-6 経営上の問題点の状況 (1位と1位～3位)

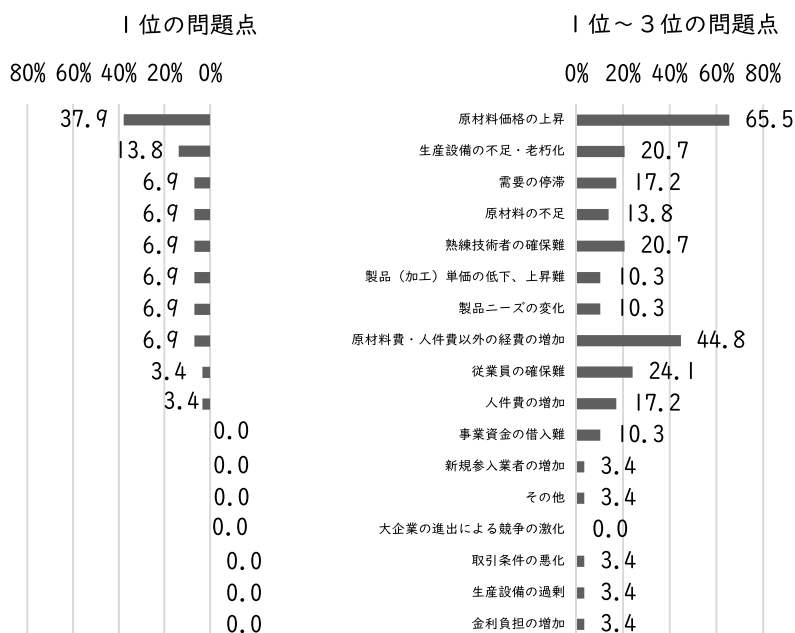


図 1-7 経営上の問題点の推移

(1位の問題点・上位5つ)

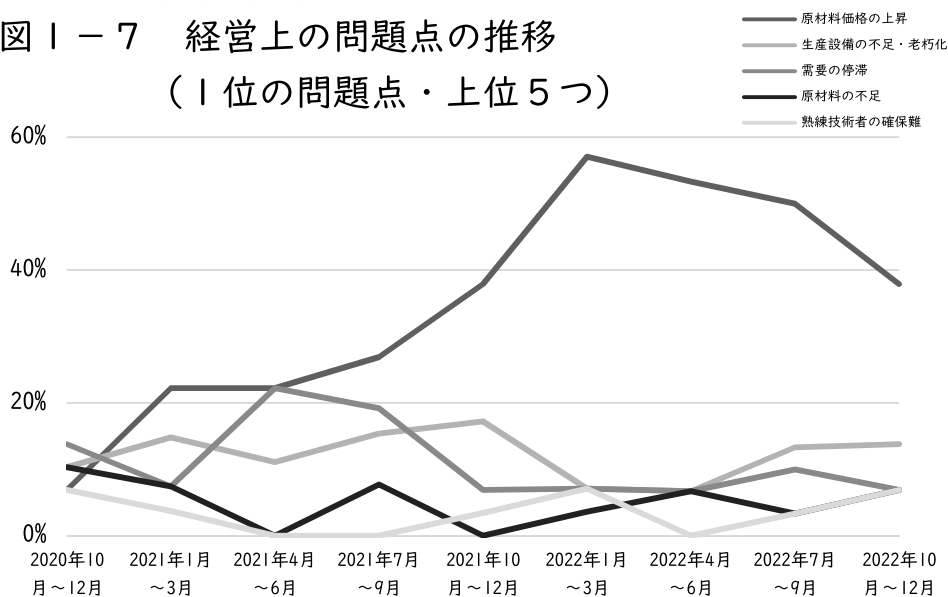


図1-8 売上額の状況－前年同期比－

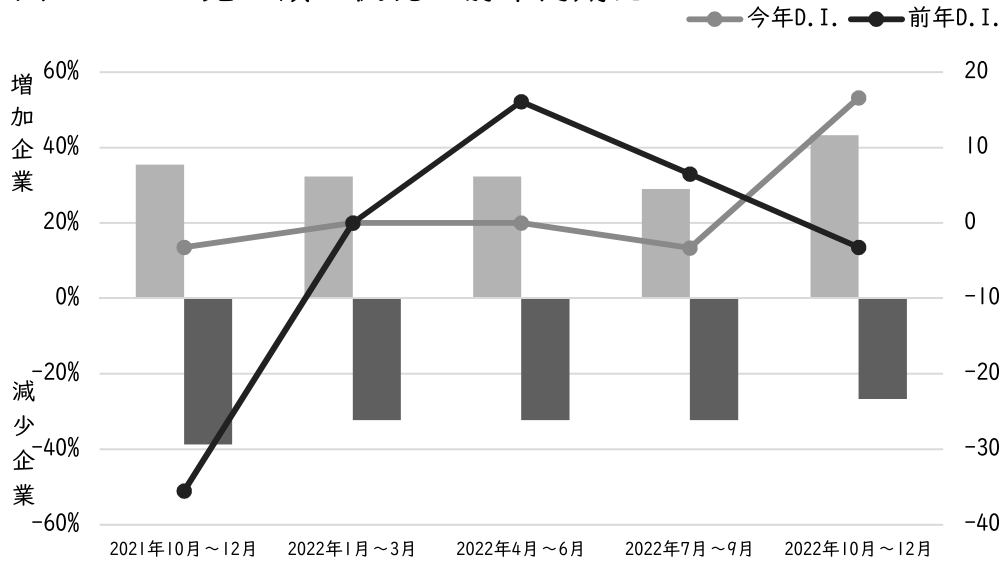
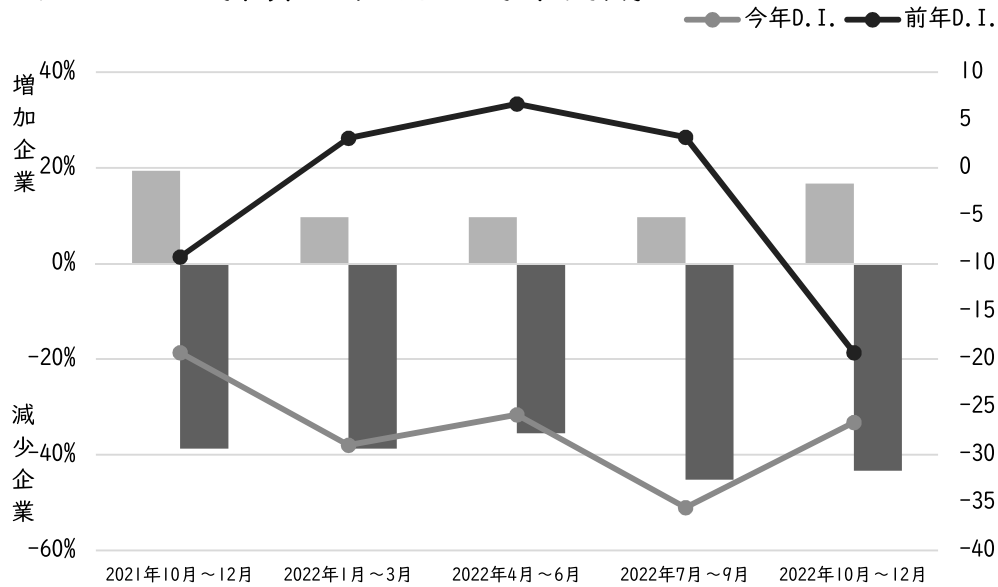


図1-9 採算の状況－前年同期比－



## 建設業の動向

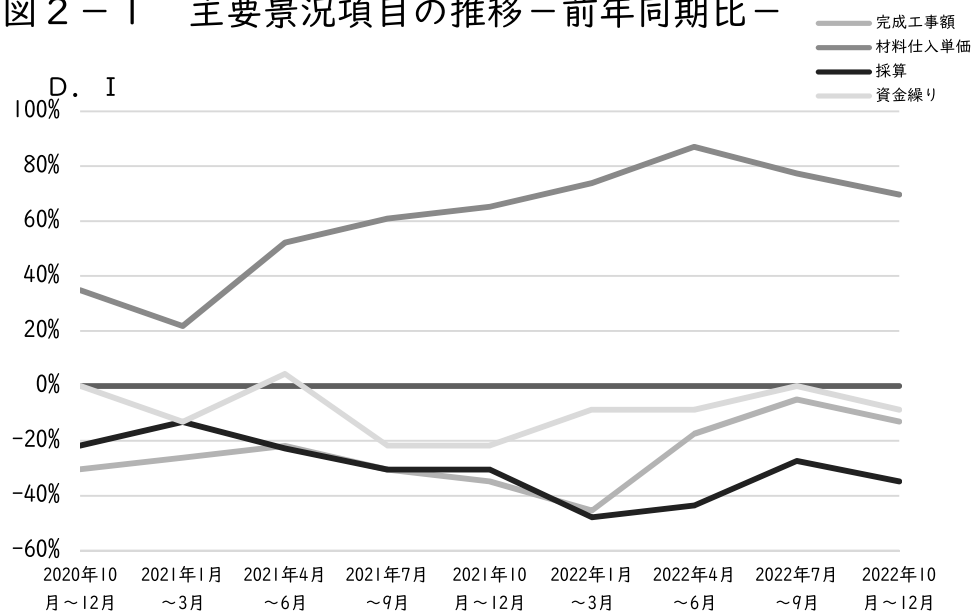
### ○主要景況項目から見た概要

- ・完成工事額DI値は、 $\Delta 5.0 \rightarrow \Delta 13.0$ と8.0ポイント下降  
(同全国値は、 $\Delta 12.7 \rightarrow \Delta 14.0$ と1.3ポイント下降)
- ・採算DI値は、 $\Delta 27.3 \rightarrow \Delta 34.8$ と7.5ポイント下降  
(同全国値は、 $\Delta 31.8 \rightarrow \Delta 32.6$ と0.8ポイント下降)
- ・資金繰りDI値は、 $0.0 \rightarrow \Delta 8.7$ と8.7ポイント下降  
(同全国値は、 $\Delta 7.9 \rightarrow \Delta 10.1$ と2.2ポイント下降)

今期は、完成工事額DI・採算DIでマイナス幅が拡大し、資金繰りDIがマイナスに悪化した。

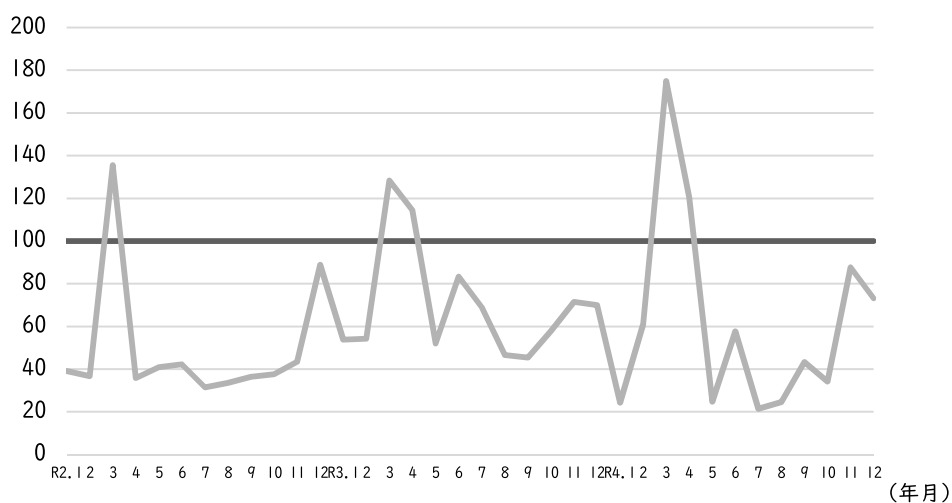
来期は、完成工事高DIがマイナス幅が改善し、採算DI・資金繰りDIでマイナス幅の拡大が見込まれる。

図2-1 主要景況項目の推移－前年同期比－



項目	期				
	2021年10月～12月	2022年1月～3月	2022年4月～6月	2022年7月～9月	2022年10月～12月
売上額	$\Delta 34.8$	$\Delta 45.4$	$\Delta 17.4$	$\Delta 5.0$	$\Delta 13.0$
原材料仕入単価	65.2	73.9	87.0	77.3	69.6
採算	$\Delta 30.5$	$\Delta 47.8$	$\Delta 43.5$	$\Delta 27.3$	$\Delta 34.8$
資金繰り	$\Delta 21.7$	$\Delta 8.7$	$\Delta 8.7$	0.0	$\Delta 8.7$

図 2 - 2 完成工事額推移（月別指数）



54年 7月～55年 6月 = 100.0 ( 14128.40 千円) 全国完成工事額月平均

図 2 - 3 完成工事額の状況－前年同期比－

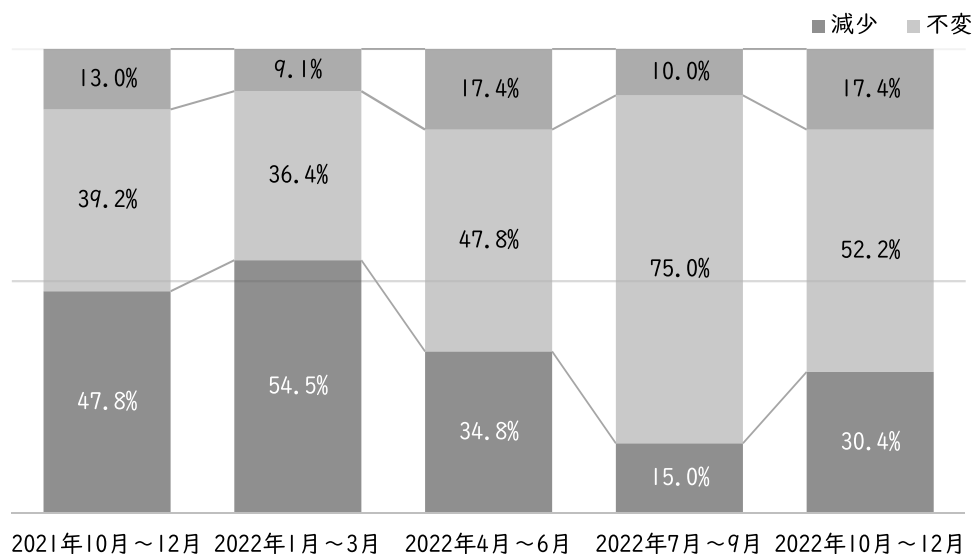


図 2 - 4 採算の状況－前年同期比－

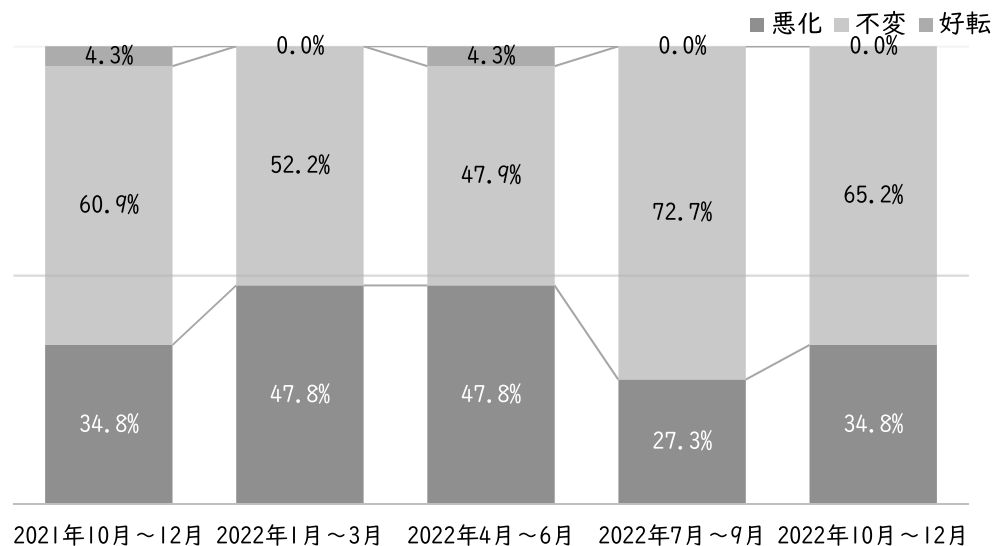


図 2 - 5 設備投資の状況

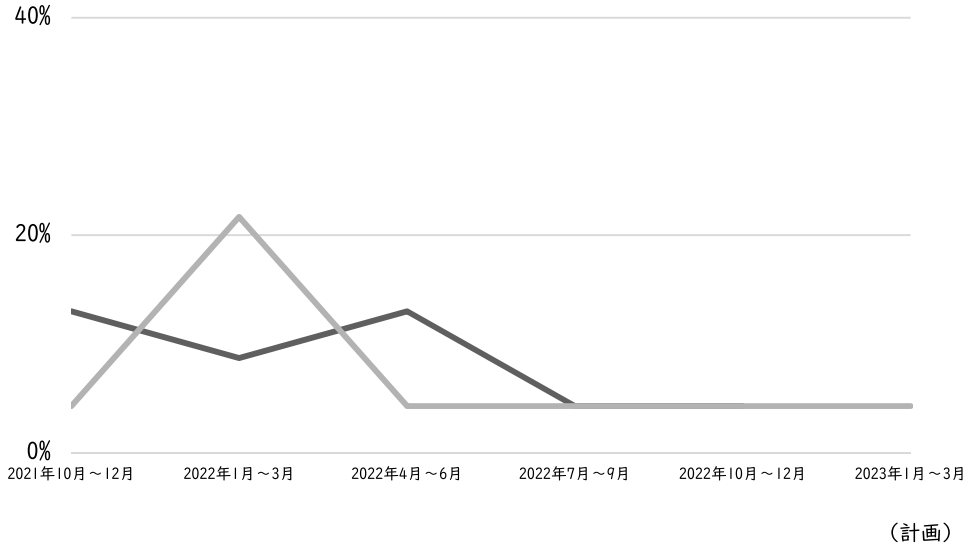


図 2 - 6 経営上の問題点の状況 (1位と1位～3位)

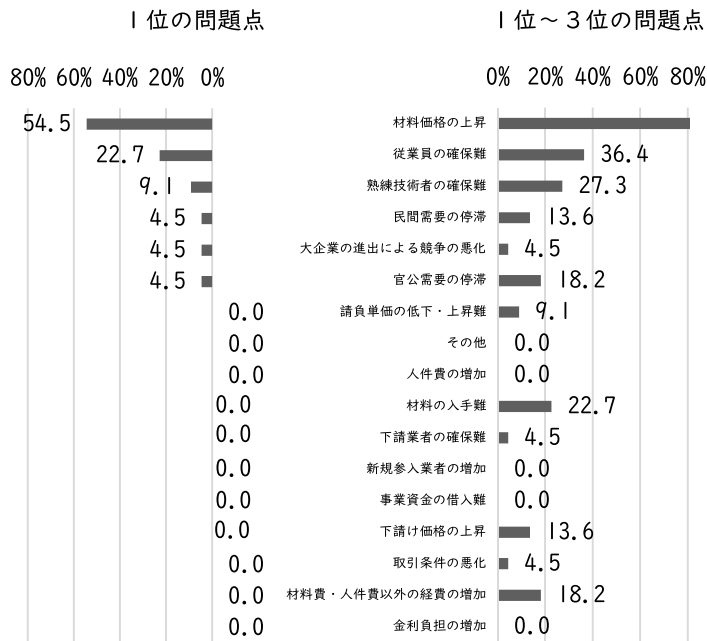


図 2 - 7 経営上の問題点の推移 (1位の問題点・上位5つ)

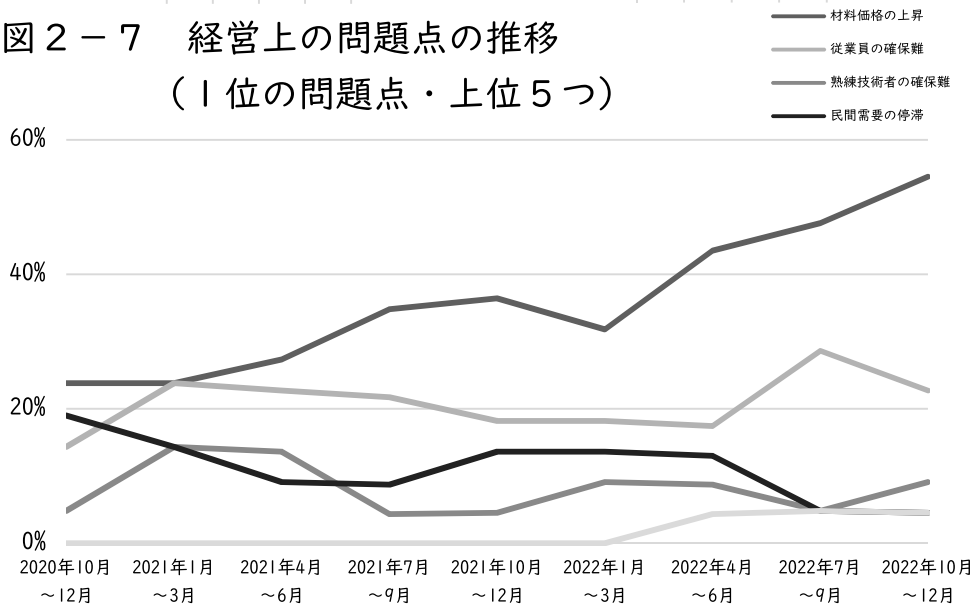


図 2 - 8 完成工事額の状況 - 前年同期比 -

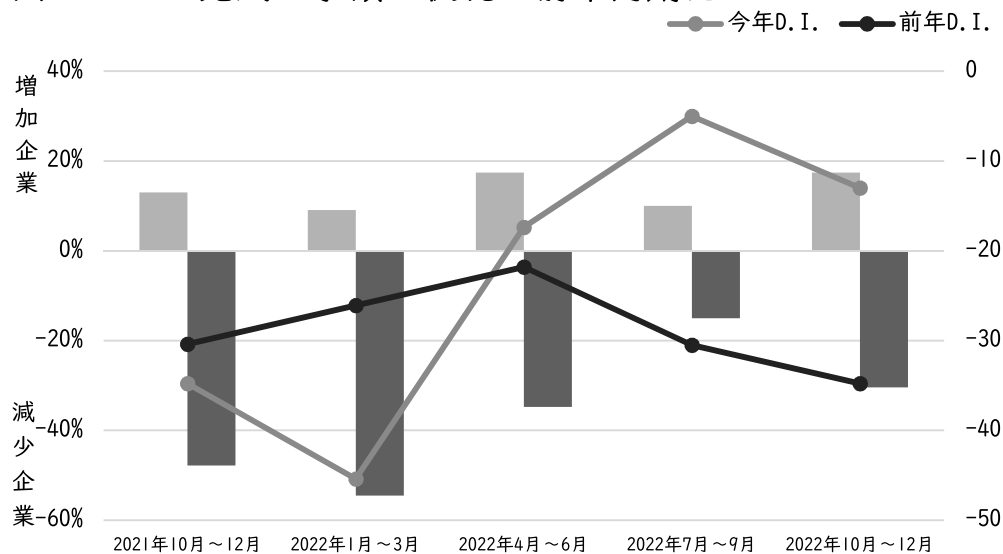
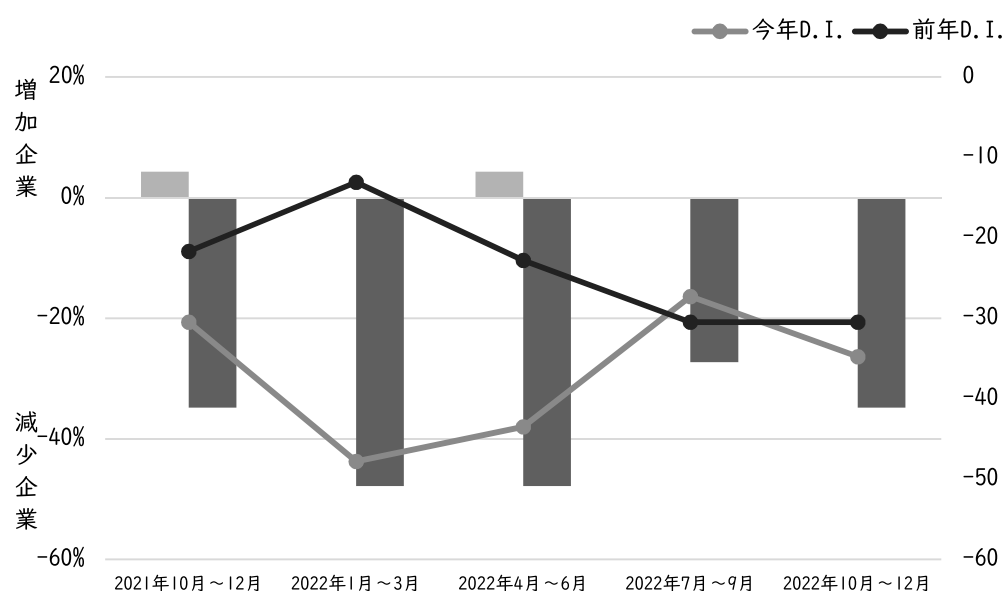


図 2 - 9 採算の状況 - 前年同期比 -



## 小売業の動向

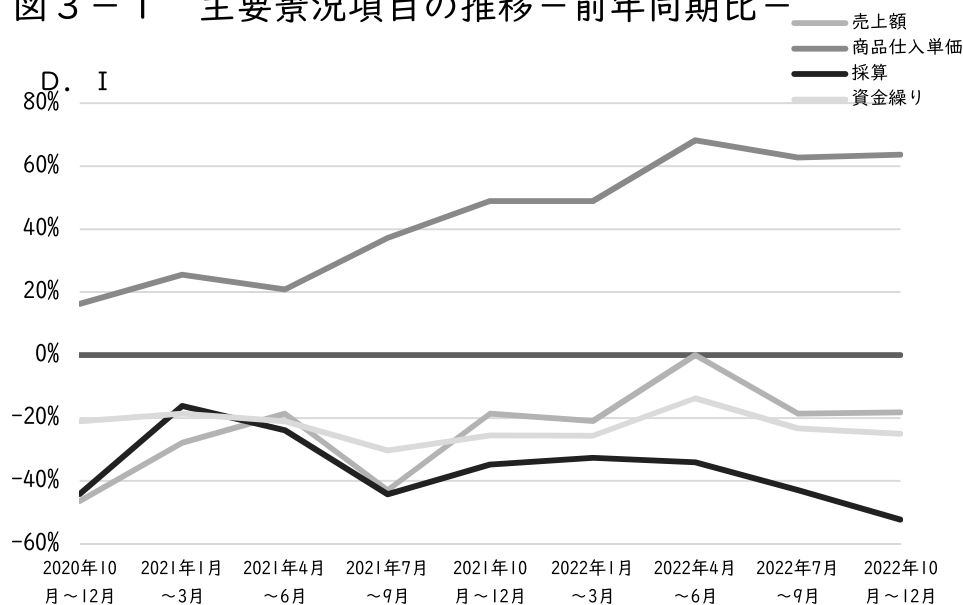
### ○主要景況項目から見た概要

- ・売上額DI値は、 $\Delta 18.6 \rightarrow \Delta 18.2$ と0.4ポイント上昇  
(同全国値は、 $\Delta 20.9 \rightarrow \Delta 18.4$ と2.5ポイント上昇)
- ・採算DI値は、 $\Delta 42.9 \rightarrow \Delta 52.3$ と9.4ポイント下降  
(同全国値は、 $\Delta 38.7 \rightarrow \Delta 39.6$ と0.9ポイント下降)
- ・資金繰りDI値は、 $\Delta 23.3 \rightarrow \Delta 25.0$ と1.7ポイント下降  
(同全国値は、 $\Delta 23.3 \rightarrow \Delta 23.7$ と0.4ポイント下降)

今期は、売上額DIでマイナス幅が改善し、採算DI・資金繰りDIでマイナス幅が拡大した。

来期は、売上額DI・採算DI・資金繰りDIでマイナス幅の改善が見込まれる。

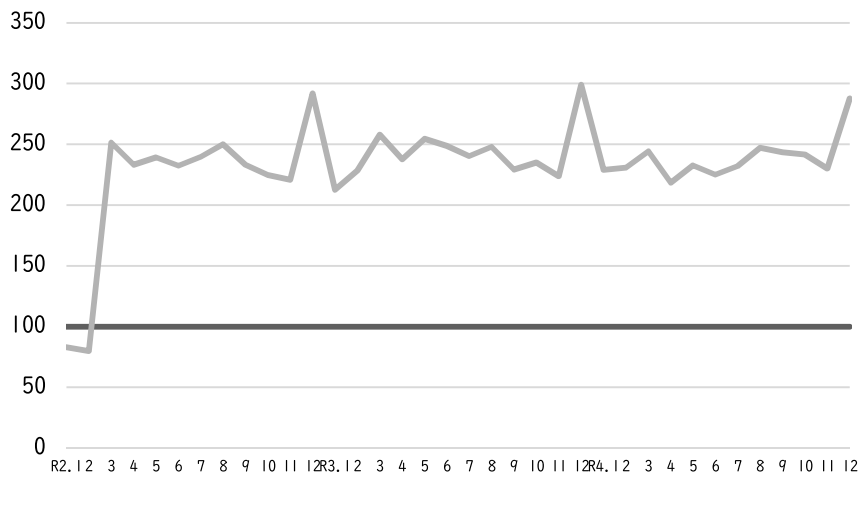
図3-1 主要景況項目の推移－前年同期比－



項目 \ 期	2021年10月～12月	2022年1月～3月	2022年4月～6月	2022年7月～9月	2022年10月～12月
売上額	$\Delta 18.6$	$\Delta 20.9$	0.0	$\Delta 18.6$	$\Delta 18.2$
原材料仕入単価	48.9	48.9	68.2	62.8	63.7
採算	$\Delta 34.8$	$\Delta 32.6$	$\Delta 34.1$	$\Delta 42.9$	$\Delta 52.3$
資金繰り	$\Delta 25.5$	$\Delta 25.6$	$\Delta 13.7$	$\Delta 23.3$	$\Delta 25.0$



図3-2 売上額推移（月別指数）



54年 7月～55年 6月 = 100.0 ( 4597.40 千円) 全国売上額月平均

図3-3 売上額の状況－前年同期比－

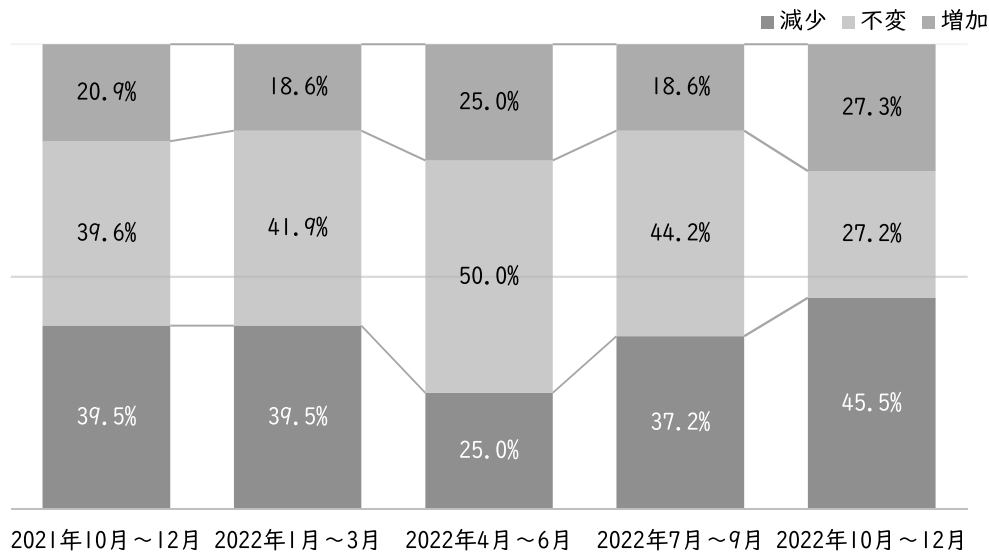


図3-4 採算の状況－前年同期比－

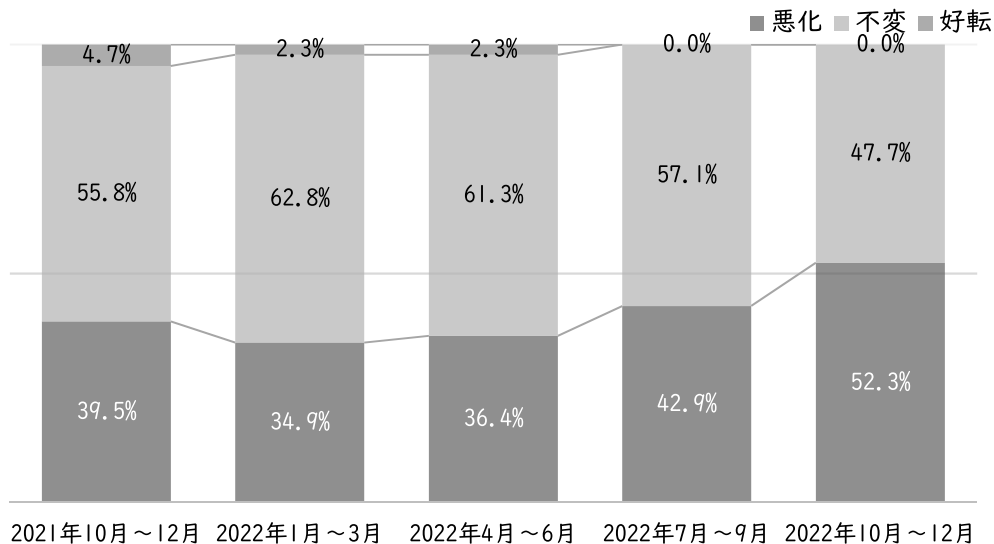


図3-5 設備投資の状況

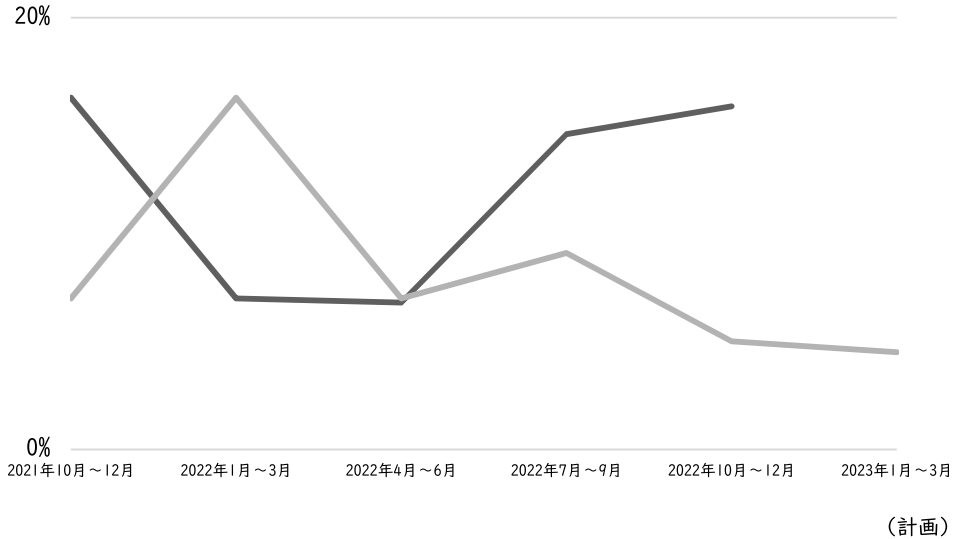


図3-6 経営上の問題点の状況 (1位と1位～3位)

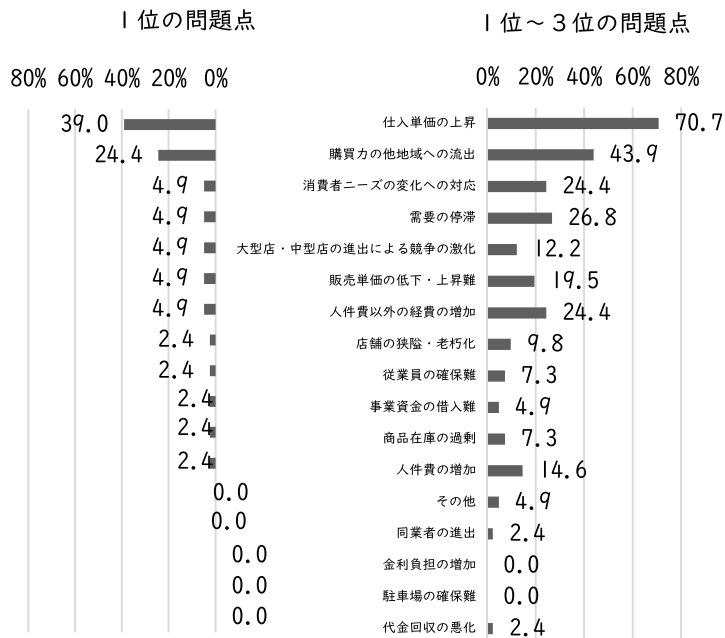


図3-7 経営上の問題点の推移 (1位の問題点・上位5つ)

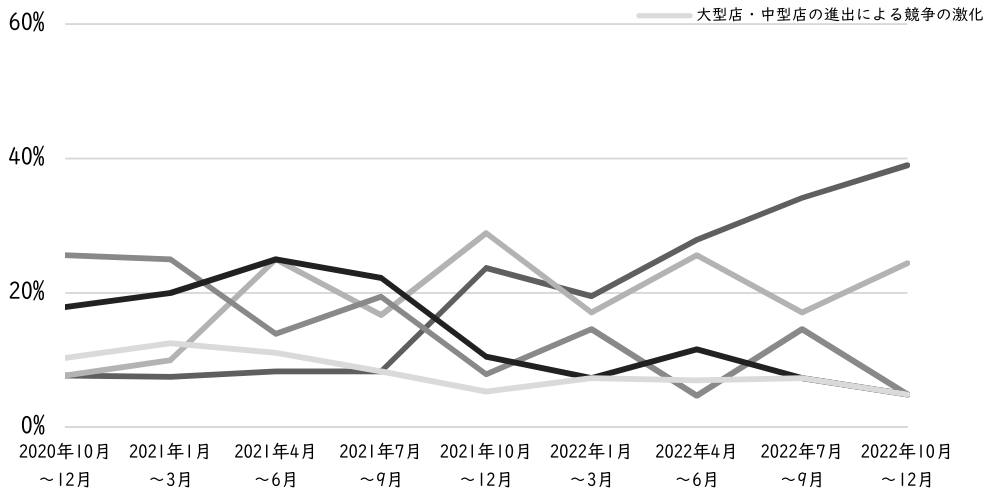


図3-8 売上額の状況－前年同期比－

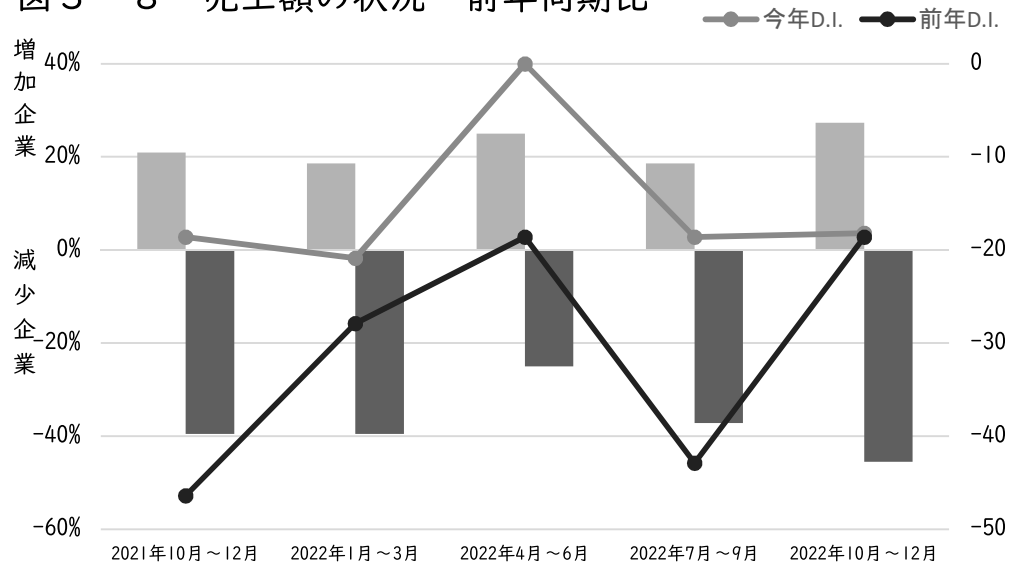
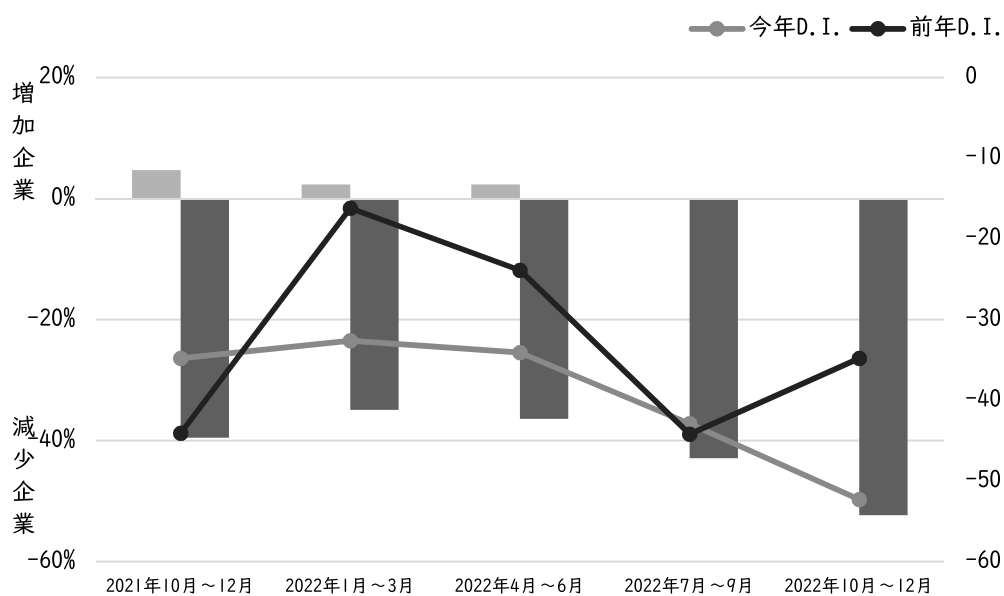


図3-9 採算の状況－前年同期比－



## サービス業の動向

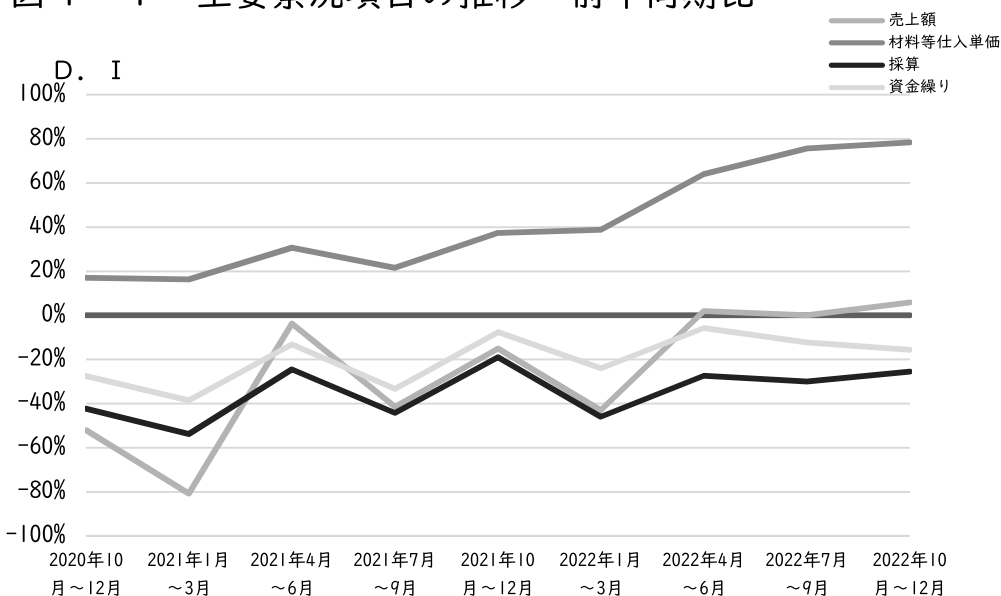
### ○主要景況項目から見た概要

- ・売上額DI値は、.0→5.9と5.9ポイント上昇  
(同全国値は、△7.9→△7.4と0.5ポイント上昇)
- ・採算DI値は、△30.0→△25.5と4.5ポイント上昇  
(同全国値は、△35.9→△36.7と0.8ポイント下降)
- ・資金繰りDI値は、△12.3→△15.6と3.3ポイント下降  
(同全国値は、△18.6→△17.6と1.0ポイント上昇)

今期は、売上額DIがプラスに好転し、採算DIでマイナス幅が改善し、資金繰りDIでマイナス幅が拡大した。

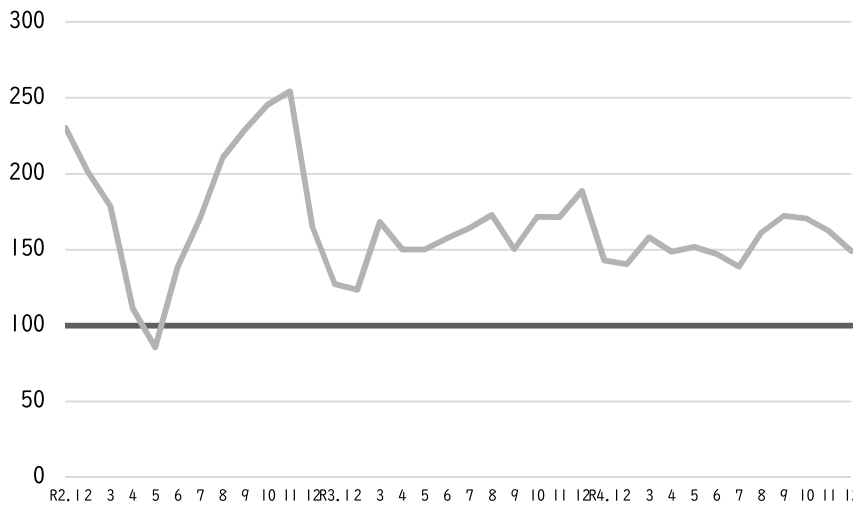
来期は、売上額DIがマイナスに悪化し、採算DIは変動がなく、資金繰りDIでマイナス幅の改善が見込まれる。

図4-1 主要景況項目の推移－前年同期比－



項目	期				
	2021年10月～12月	2022年1月～3月	2022年4月～6月	2022年7月～9月	2022年10月～12月
売上額	△ 15.1	△ 43.1	1.9	0.0	5.9
原材料仕入単価	37.3	38.8	64.0	75.6	78.4
採算	△ 18.9	△ 46.0	△ 27.4	△ 30.0	△ 25.5
資金繰り	△ 7.6	△ 24.0	△ 5.8	△ 12.3	△ 15.6

図4-2 売上額推移（月別指数）



54年 7月～55年 6月 = 100.0 ( 1368.90 千円) 全国売上額月平均

図4-3 売上額の状況－前年同期比－

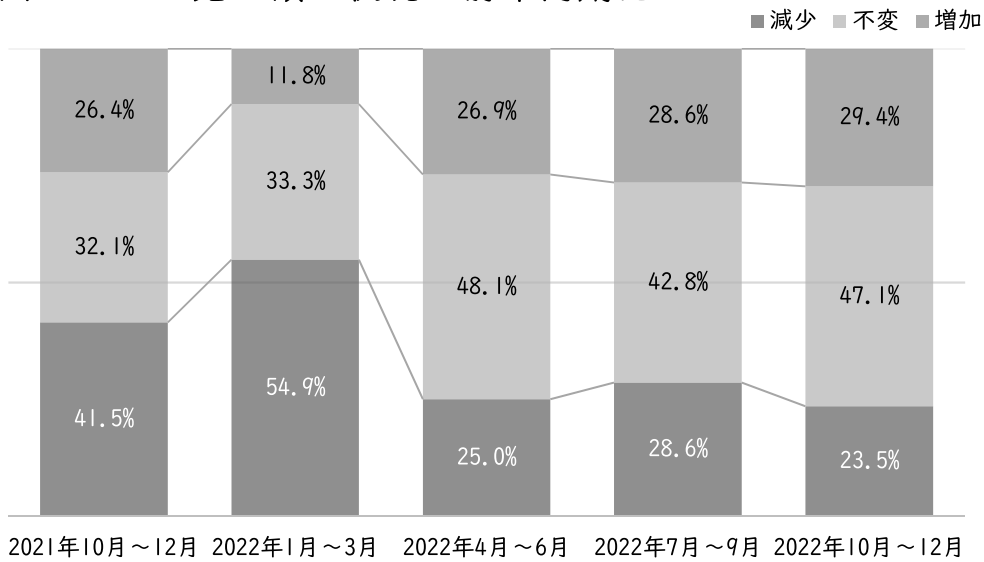


図4-4 採算の状況－前年同期比－

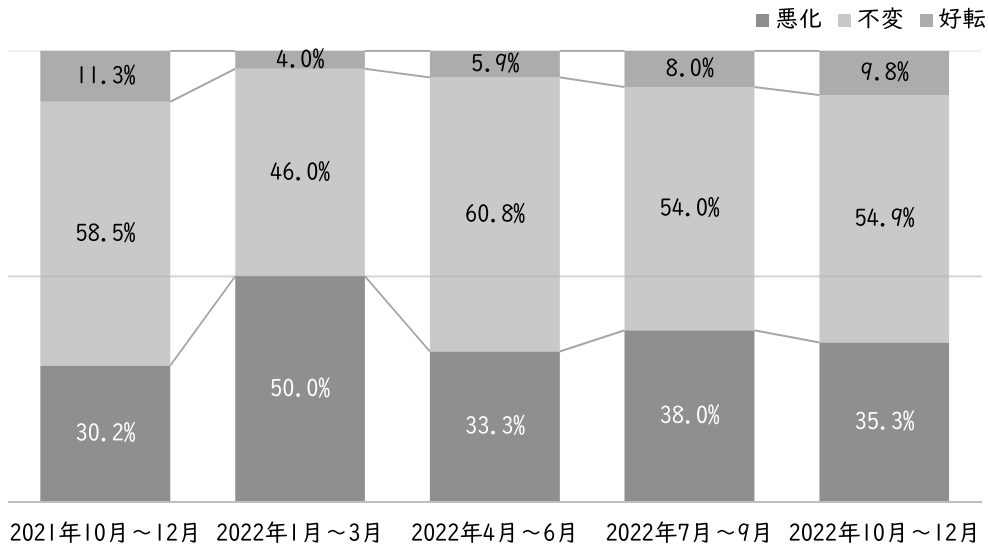


図4-5 設備投資の状況

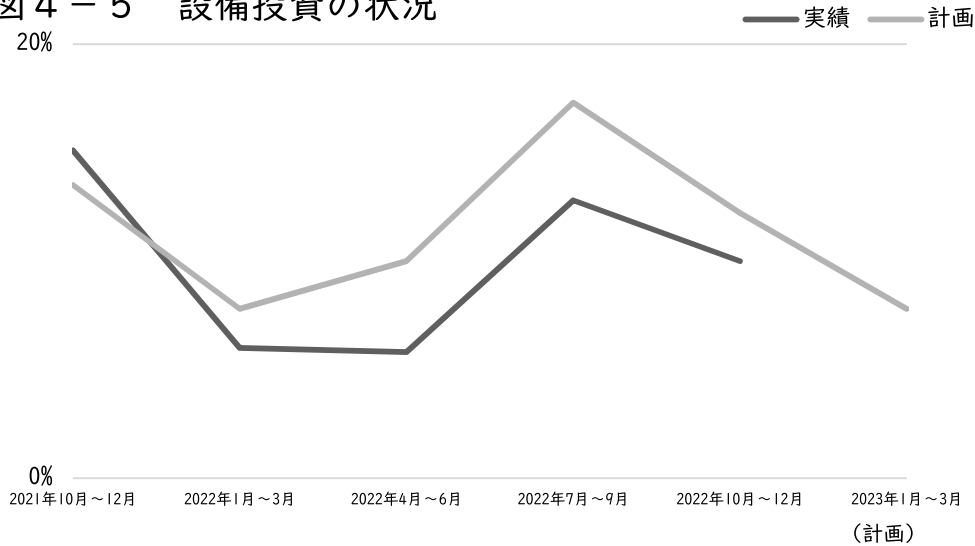


図4-6 経営上の問題点の状況 (1位と1位～3位)

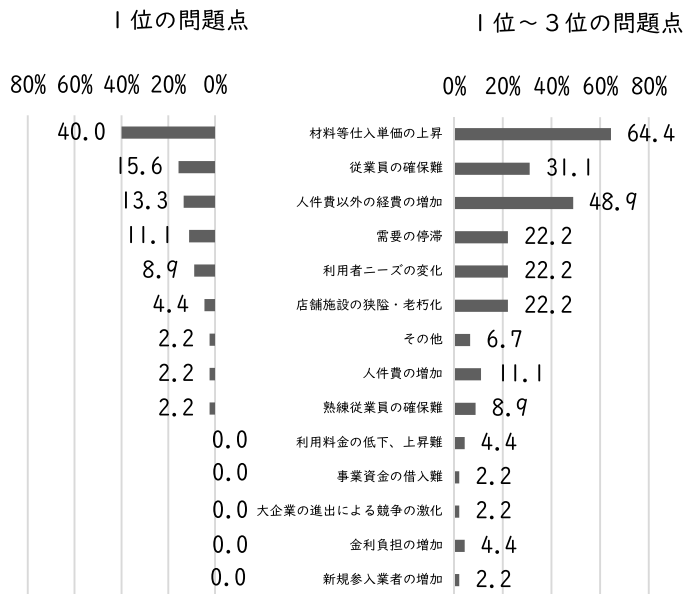


図4-7 経営上の問題点の推移 (1位の問題点・上位5つ)

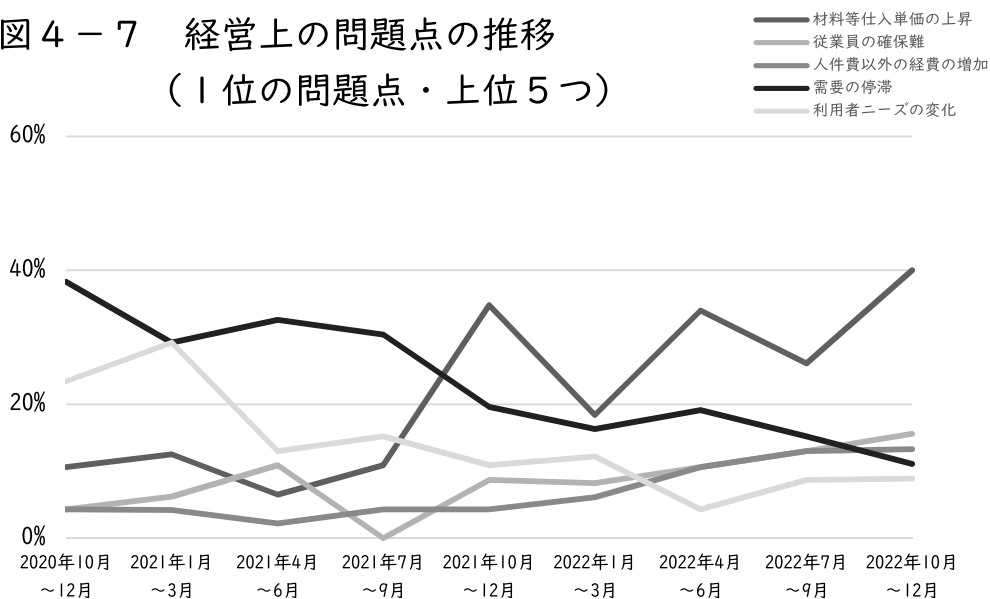


図4-8 売上額の状況－前年同期比－

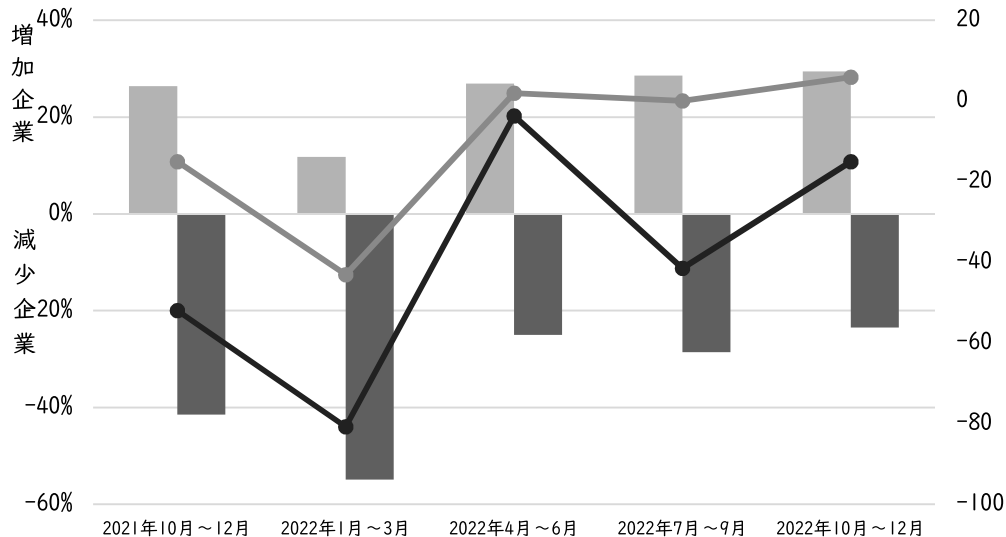
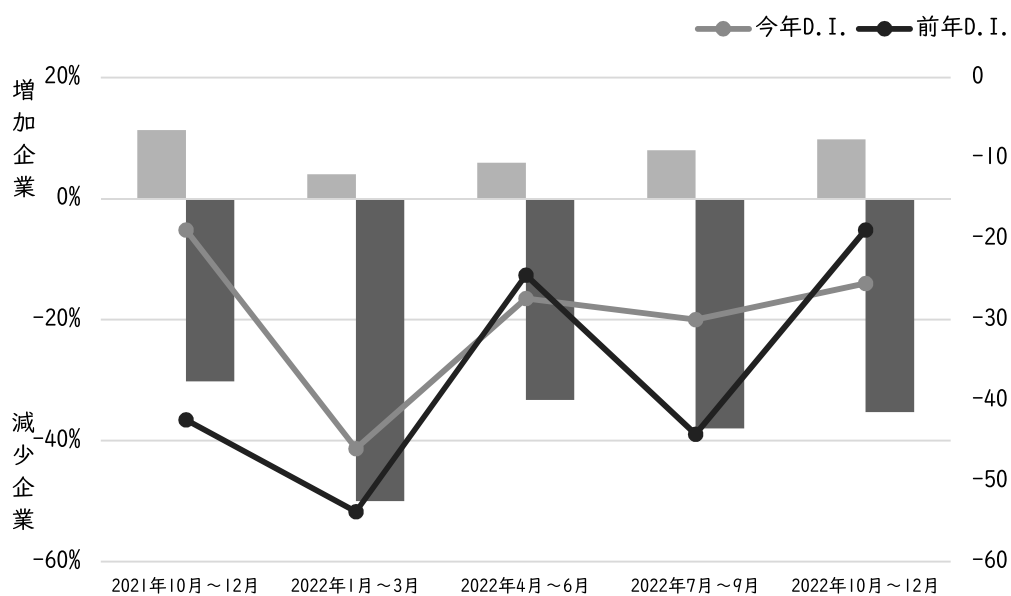
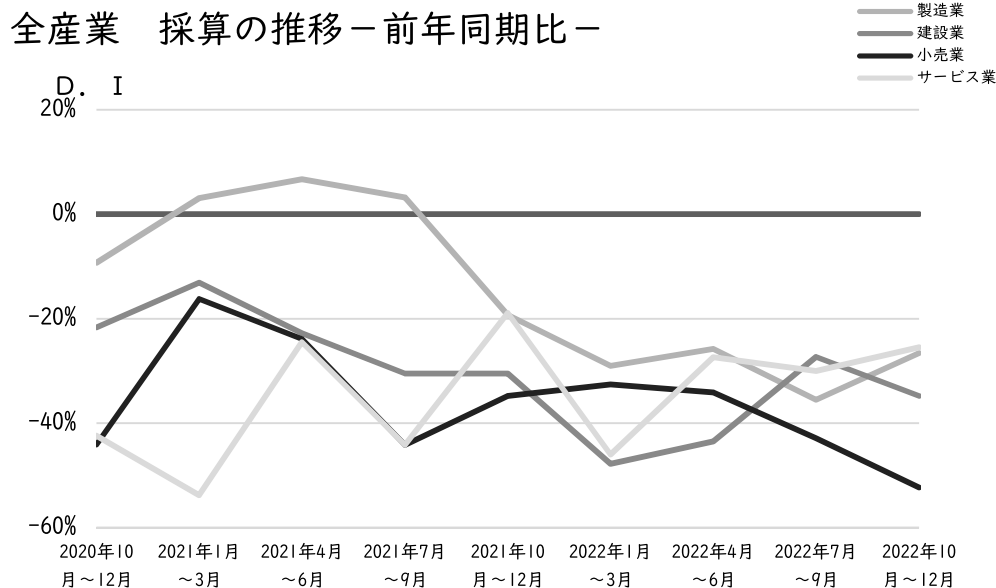
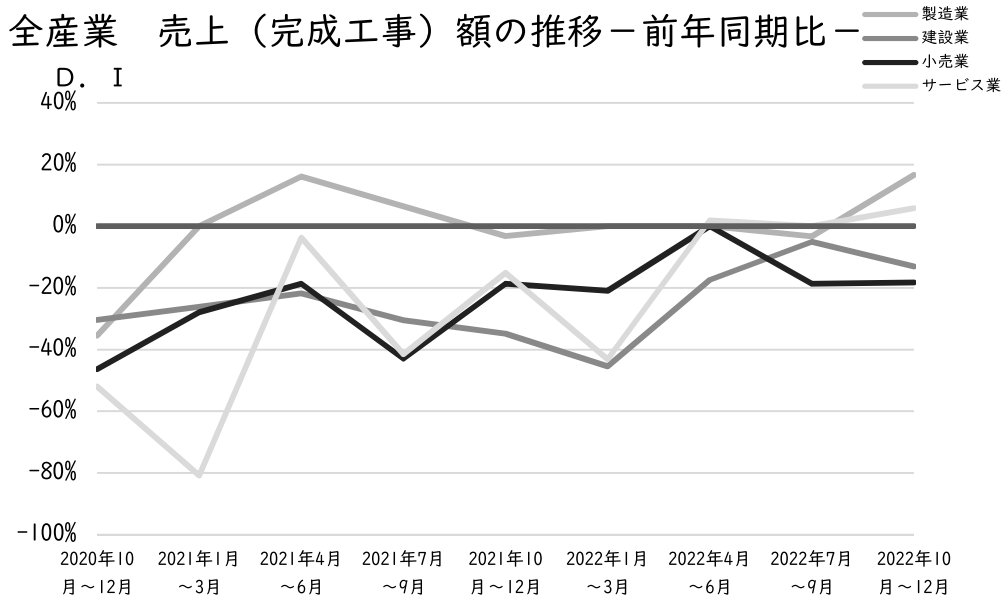


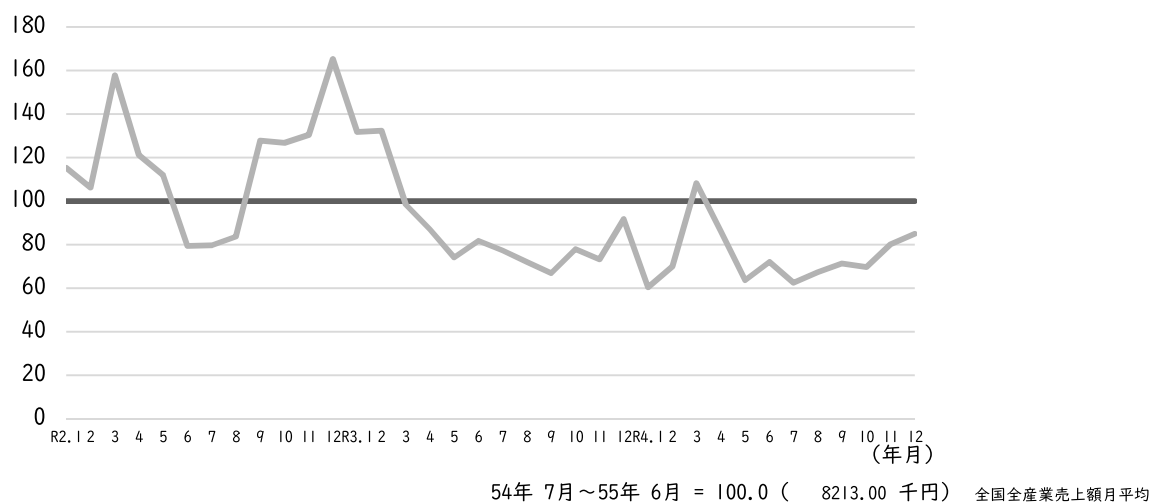
図4-9 採算の状況－前年同期比－



## 全産業の動向



## 全産業 売上額推移（月別指数）





# 中小企業景況調査報告書

2023年1月～3月期

---

高知県商工会連合会

# 中小企業景況調査

## [調査事項]

### 1. 調査対象

(1)調査対象地区

室戸市	芸西	香南市	香美市	春野
佐川町	越知町	中土佐町	四万十町	黒潮町

(2)調査企業数 150企業

(3)回答企業数 146企業 (回答率：97.3%)

### 2. 調査対象期間

2023年1月～3月期を対象とし、調査時点は2023年3月1日とする。

### 3. 調査方法

(1)商工会の経営指導員による訪問面接調査

(2)調査対象地区は市町村人口規模に勘案して行い、調査対象企業の抽出は業種、規模等有意選出法による。

### 4. 回答企業数の内訳

業 種	回答企業数	構成比 (%)
製 造 業	31	21.2
建 設 業	22	15.1
小 売 業	43	29.5
サービス業	50	34.2
合 計	146	100.0

注記 本報告書のDIとは、ディフュージョン・インデックス（景気動向指数）の略で、各調査事項についての増加（上昇、好転、長期化）の企業割合と減少（低下、悪化、短期化）企業割合の差を示すものである。

# 1. 産業全体の景況概要

○商工会地域における今期（2023年 1月～ 3月期）の状況

## [製造業]

(D I 値)

期 項目	2022年10月～12月	2023年 1月～ 3月	対前期比
売上額	16.6	△ 20.0	36.6ポイント下降
採算	△ 26.6	△ 16.6	10.0ポイント上昇
資金繰り	△ 20.7	△ 10.4	10.3ポイント上昇

## [建設業]

(D I 値)

期 項目	2022年10月～12月	2023年 1月～ 3月	対前期比
完成工事額	△ 13.0	△ 9.6	3.4ポイント上昇
採算	△ 34.8	△ 36.4	1.6ポイント下降
資金繰り	△ 8.7	△ 9.1	0.4ポイント下降

## [小売業]

(D I 値)

期 項目	2022年10月～12月	2023年 1月～ 3月	対前期比
売上額	△ 18.2	△ 2.3	15.9ポイント上昇
採算	△ 52.3	△ 43.2	9.1ポイント上昇
資金繰り	△ 25.0	△ 27.3	2.3ポイント下降

## [サービス業]

(D I 値)

期 項目	2022年10月～12月	2023年 1月～ 3月	対前期比
売上額	5.9	14.0	8.1ポイント上昇
採算	△ 25.5	△ 28.0	2.5ポイント下降
資金繰り	△ 15.6	△ 10.0	5.6ポイント上昇

○来期見通し(2023年 4月～ 6月期)

(D I 値)

区分 業種	売上額 完成工事額	採算	資金繰り
製造業	△ 43.4	△ 26.6	△ 24.1
建設業	0.0	△ 18.2	0.0
小売業	△ 20.5	△ 38.6	△ 20.4
サービス業	4.0	△ 26.0	△ 20.0

## 2. 産 業 別 景 況

### 製造業の動向

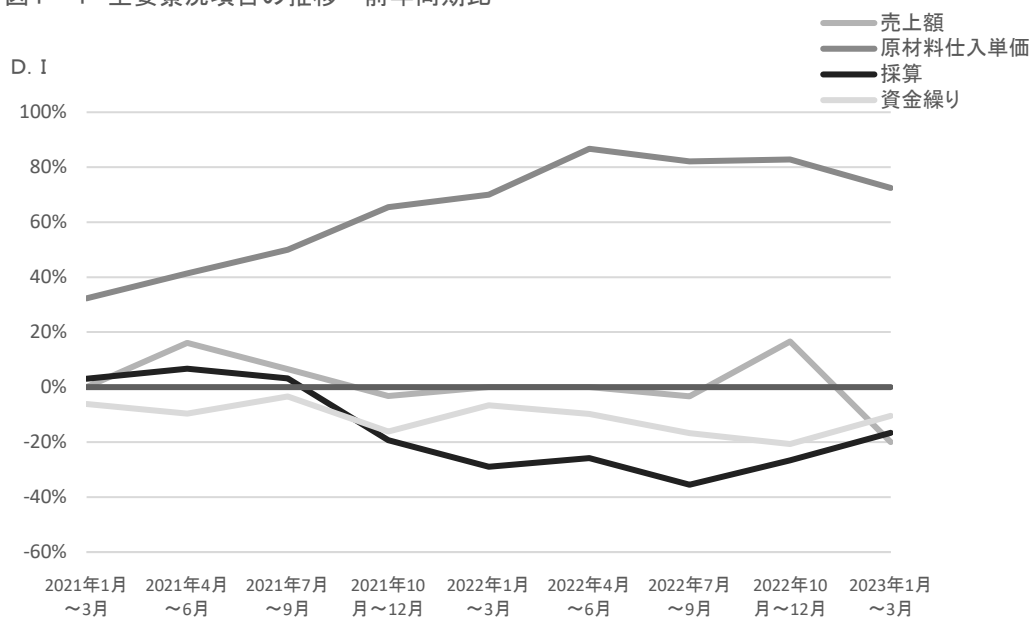
#### ○主要景況項目から見た概要

- ・売上額DI値は、16.6→△20.0と36.6ポイント下降  
(同全国値は、△3.5→△8.7と5.2ポイント下降)
- ・採算DI値は、△26.6→△16.6と10.0ポイント上昇  
(同全国値は、△28.2→△29.5と1.3ポイント下降)
- ・資金繰りDI値は、△20.7→△10.4と10.3ポイント上昇  
(同全国値は、△16.2→△17.1と0.9ポイント下降)

今期は、売上額DIがマイナスに悪化し、採算DI・資金繰りDIでマイナス幅が改善した。

来期は、売上額DI・採算DI・資金繰りDIでマイナス幅の拡大が見込まれる。

図1-1 主要景況項目の推移—前年同期比—



項目	期				
	2021年1月～3月	2021年4月～6月	2021年7月～9月	2021年10月～12月	2022年1月～3月
売上額	0.0	16.1	6.5	△ 3.2	0.0
原材料仕入単価	32.3	41.4	50.0	65.5	70.0
採算	3.1	6.7	3.2	△ 19.3	△ 29.0
資金繰り	△ 6.2	△ 9.6	△ 3.4	△ 16.1	△ 6.6

図 1 - 2 売上額推移（月別指数）

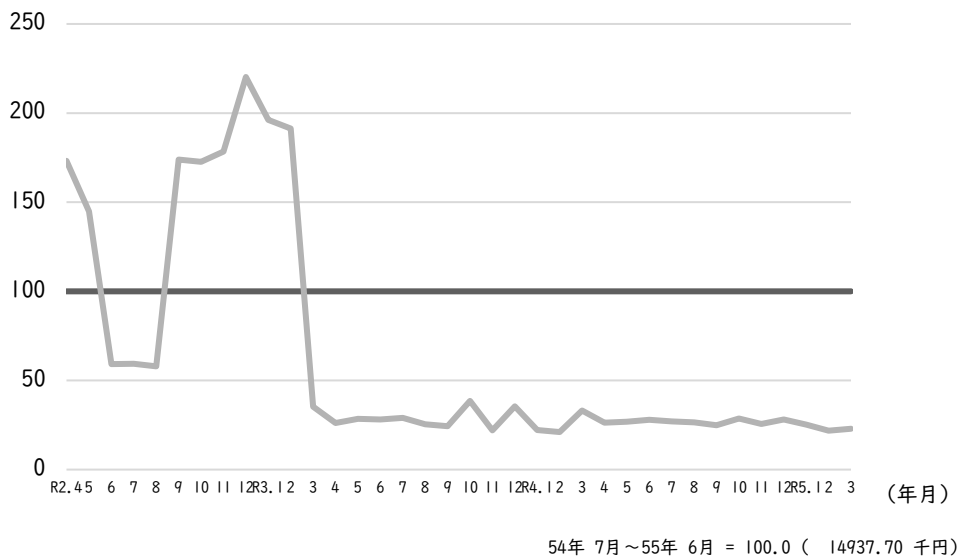


図 1 - 3 売上額の状況 - 前年同期比 -

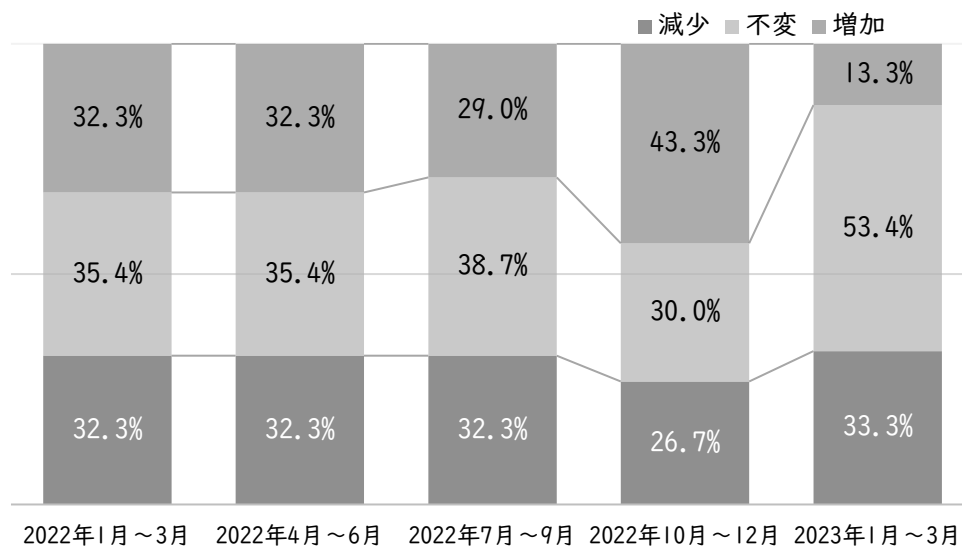


図 1 - 4 採算の状況 - 前年同期比 -

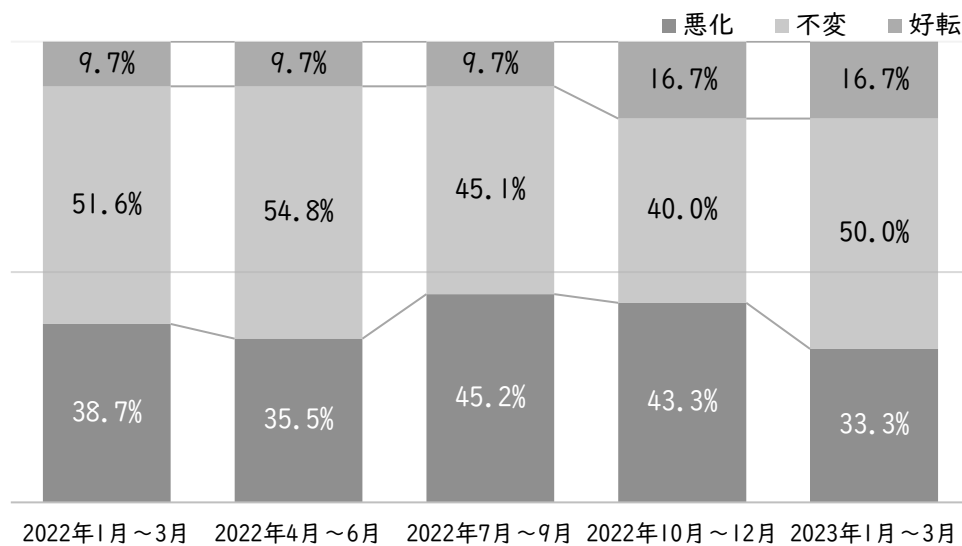


図 1-5 設備投資の状況

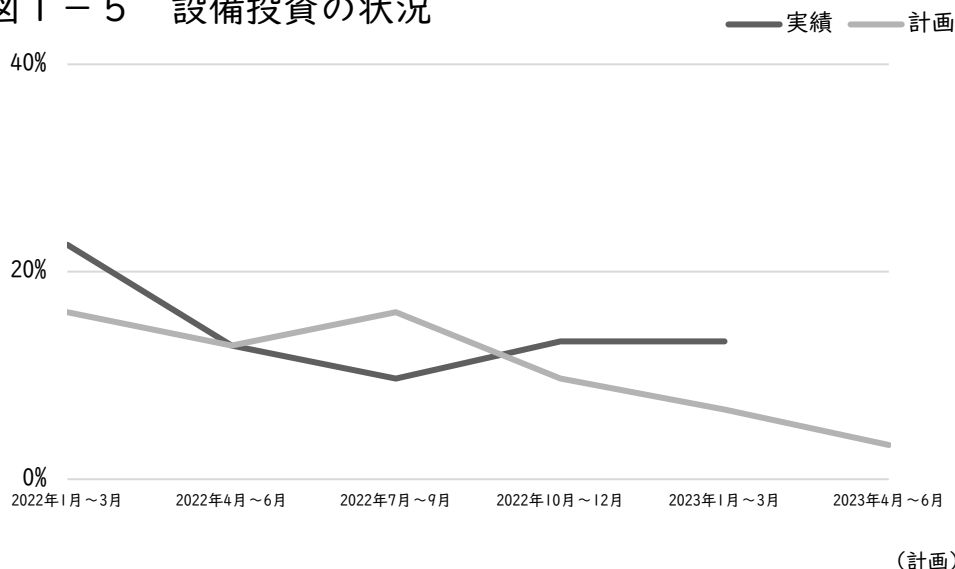


図 1-6 経営上の問題点の状況 (1位と1位～3位)

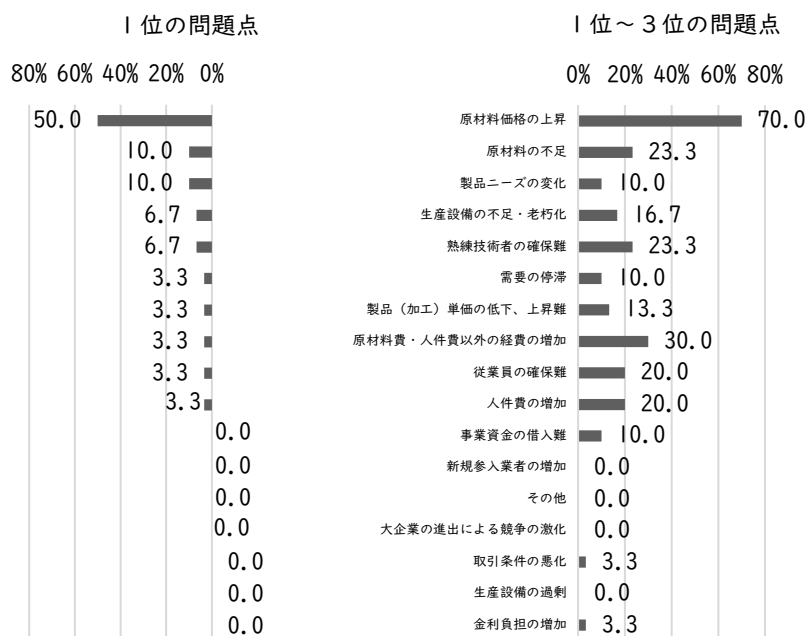


図 1-7 経営上の問題点の推移

(1位の問題点・上位5つ)

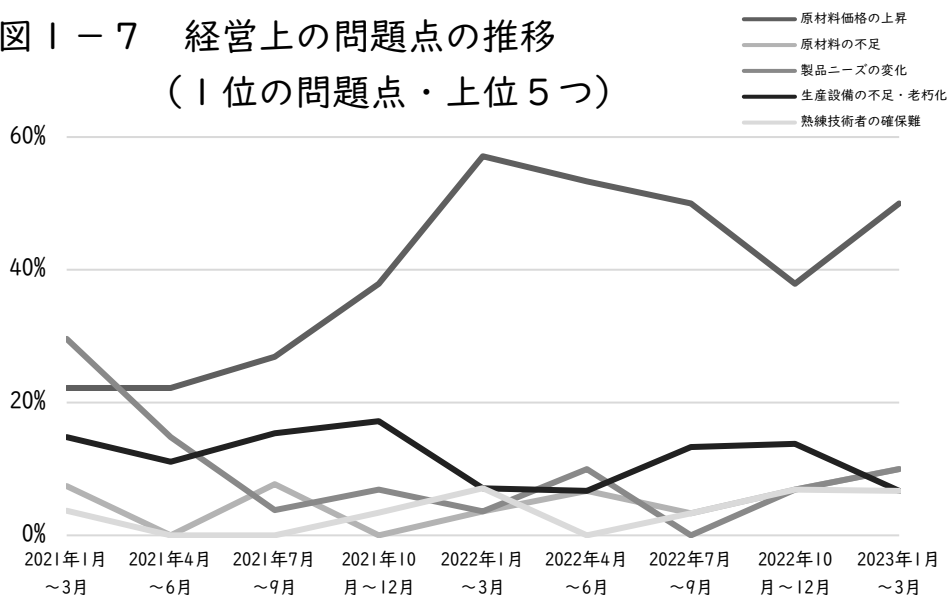


図 1 - 8 売上額の状況 - 前年同期比 -

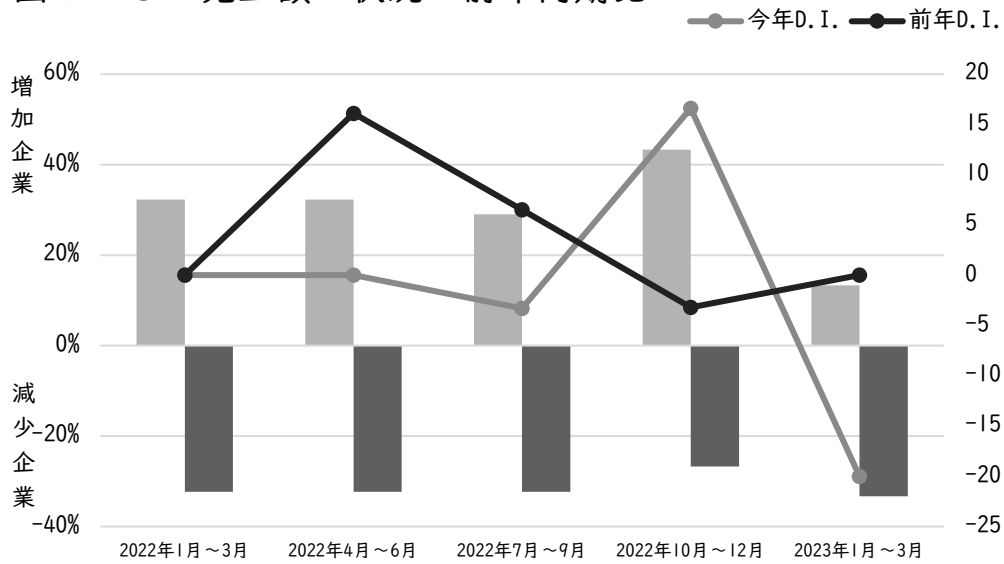
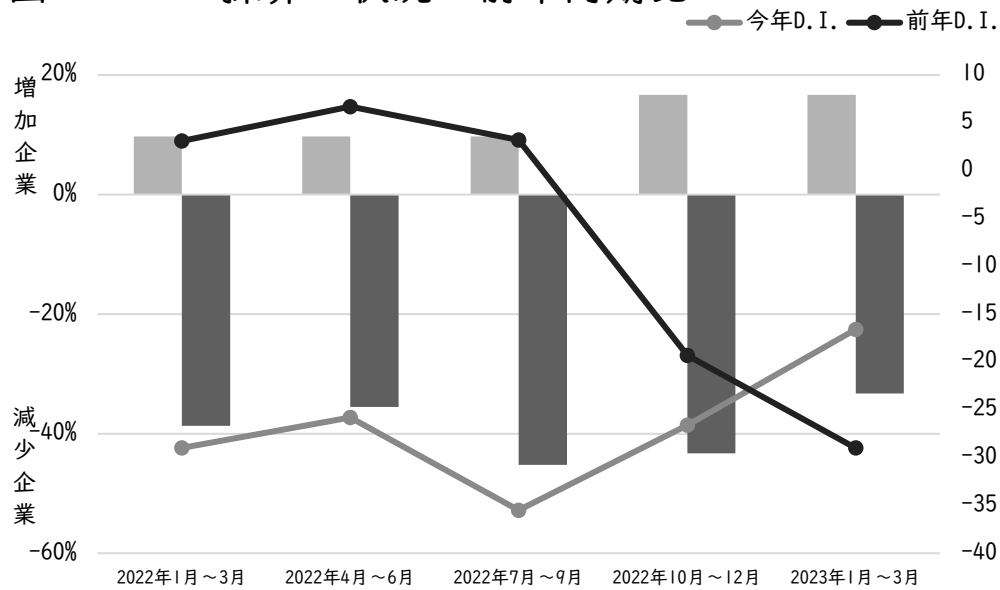


図 1 - 9 採算の状況 - 前年同期比 -



## 建設業の動向

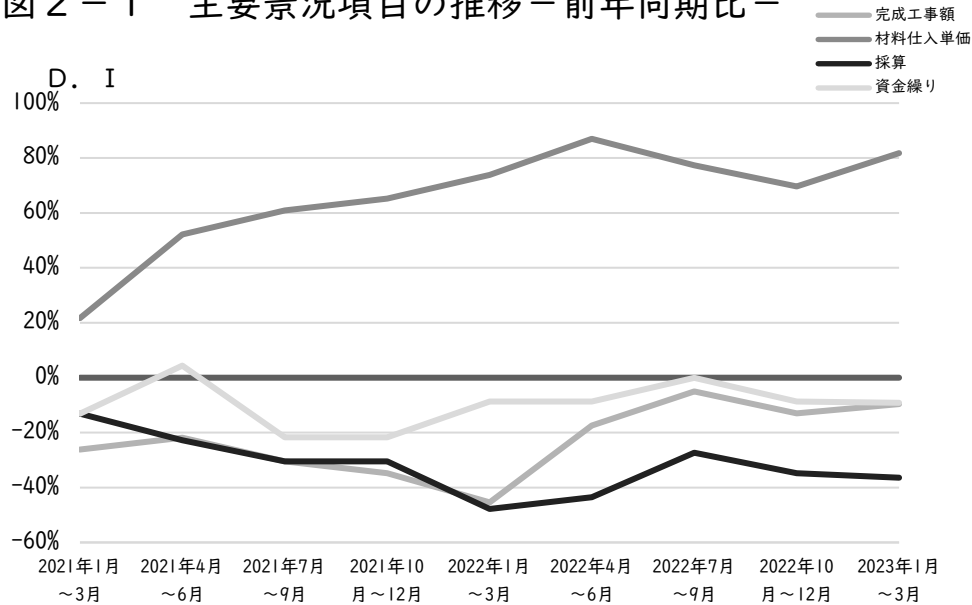
### ○主要景況項目から見た概要

- ・完成工事額DI値は、 $\Delta 13.0 \rightarrow \Delta 9.6$ と3.4ポイント上昇  
(同全国値は、 $\Delta 14.0 \rightarrow \Delta 15.5$ と1.5ポイント下降)
- ・採算DI値は、 $\Delta 34.8 \rightarrow \Delta 36.4$ と1.6ポイント下降  
(同全国値は、 $\Delta 32.6 \rightarrow \Delta 36.1$ と3.5ポイント下降)
- ・資金繰りDI値は、 $\Delta 8.7 \rightarrow \Delta 9.1$ と0.4ポイント下降  
(同全国値は、 $\Delta 10.1 \rightarrow \Delta 12.8$ と2.7ポイント下降)

今期は、完成工事額DIでマイナス幅が改善し、採算DI・資金繰りDIでマイナス幅が拡大した。

来期は、完成工事額DI・採算DI・資金繰りDIでマイナス幅の改善が見込まれる。

図2-1 主要景況項目の推移－前年同期比－



項目 \ 期	2021年1月～3月	2021年4月～6月	2021年7月～9月	2021年10月～12月	2022年1月～3月
売上額	$\Delta 26.1$	$\Delta 21.8$	$\Delta 30.5$	$\Delta 34.8$	$\Delta 45.4$
原材料仕入単価	21.7	52.2	60.9	65.2	73.9
採算	$\Delta 13.1$	$\Delta 22.8$	$\Delta 30.5$	$\Delta 30.5$	$\Delta 47.8$
資金繰り	$\Delta 13.1$	4.4	$\Delta 21.7$	$\Delta 21.7$	$\Delta 8.7$



図 2 - 2 完成工事額推移（月別指数）

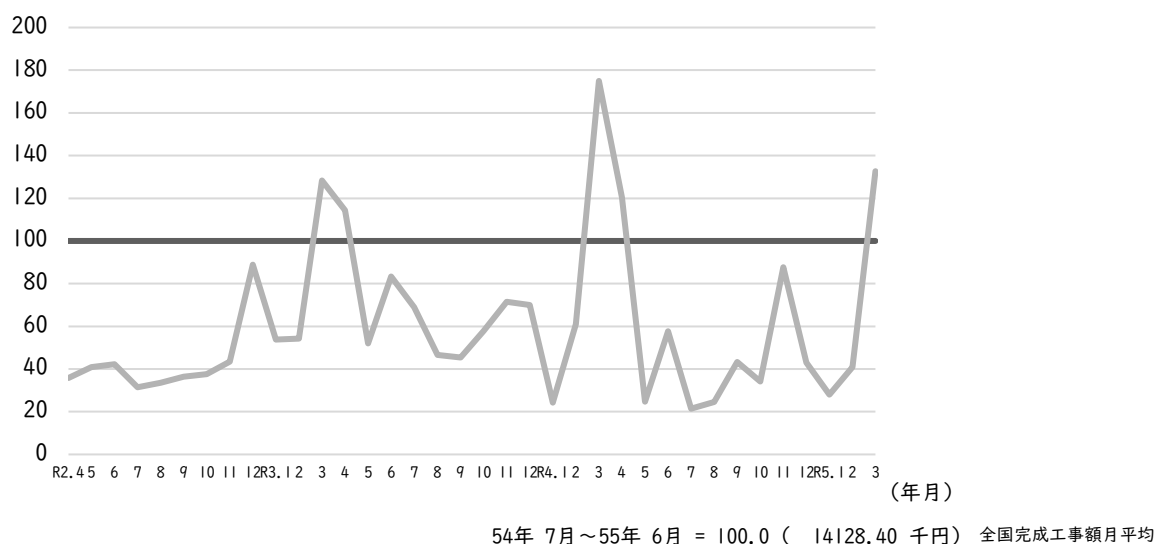


図 2 - 3 完成工事額の状況－前年同期比－

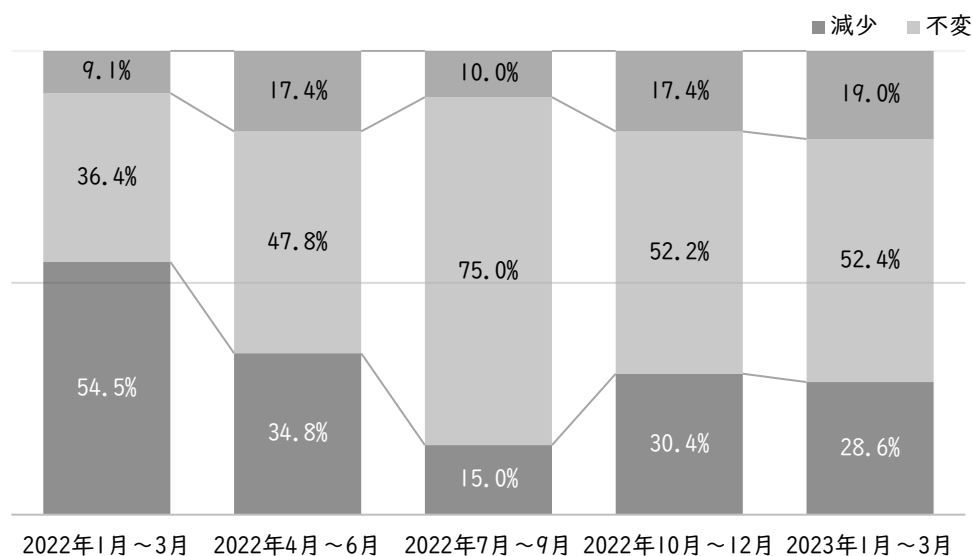


図 2 - 4 採算の状況－前年同期比－

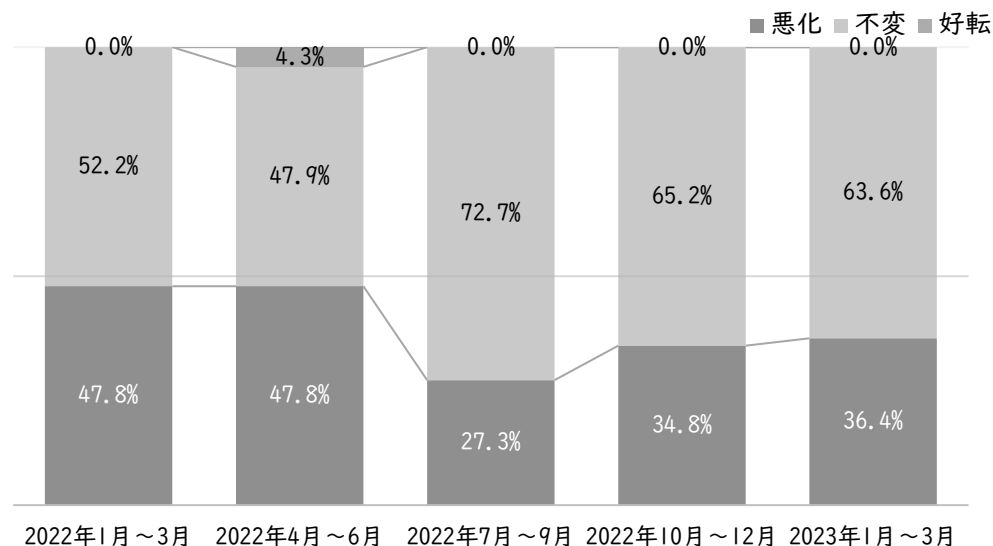


図 2 - 5 設備投資の状況

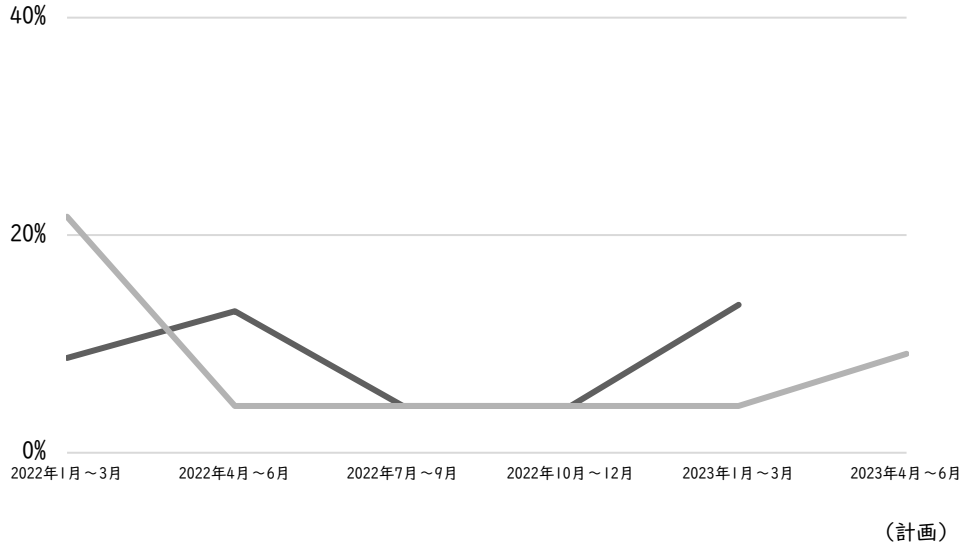


図 2 - 6 経営上の問題点の状況 (1位と1位～3位)

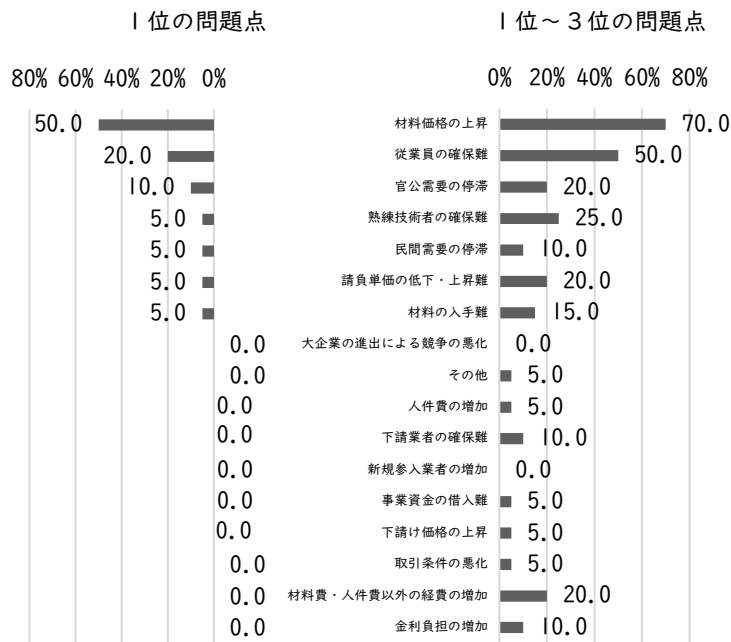


図 2 - 7 経営上の問題点の推移 (1位の問題点・上位5つ)

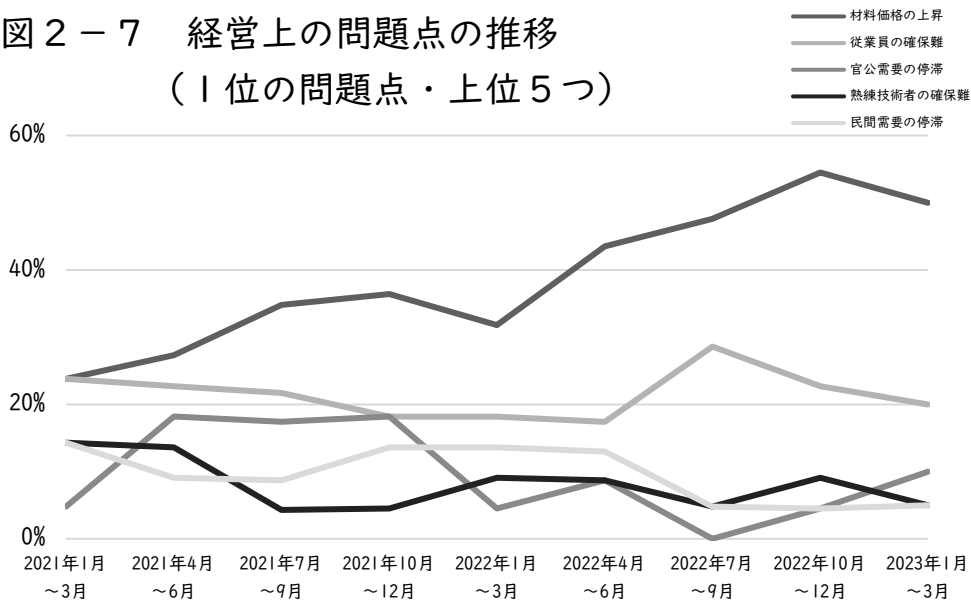


図 2 - 8 完成工事額の状況－前年同期比－

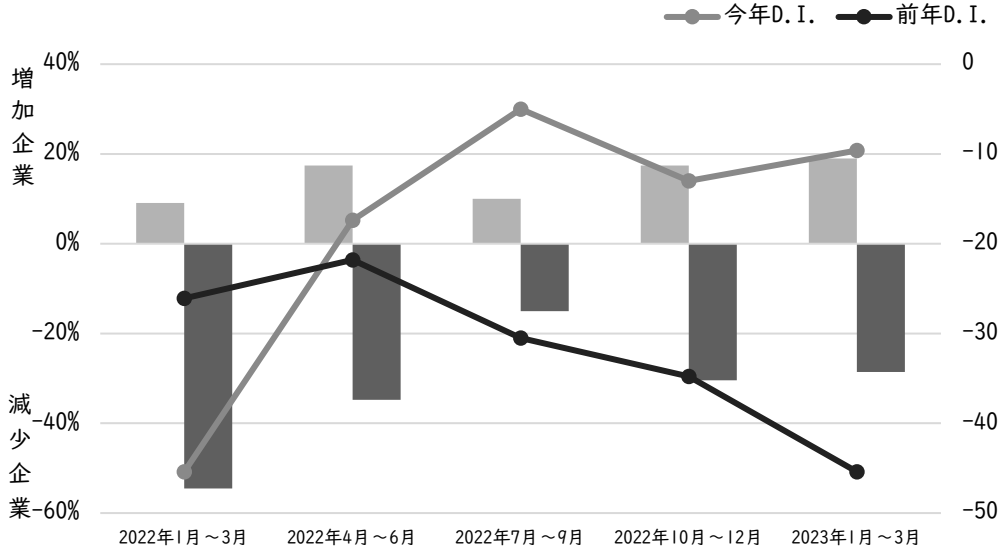
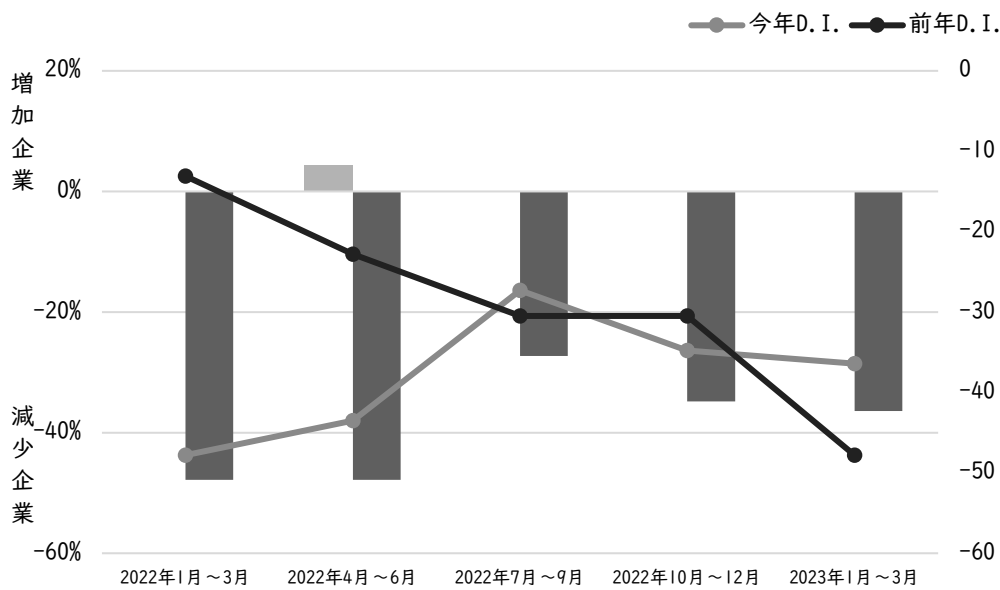


図 2 - 9 採算の状況－前年同期比－



## 小売業の動向

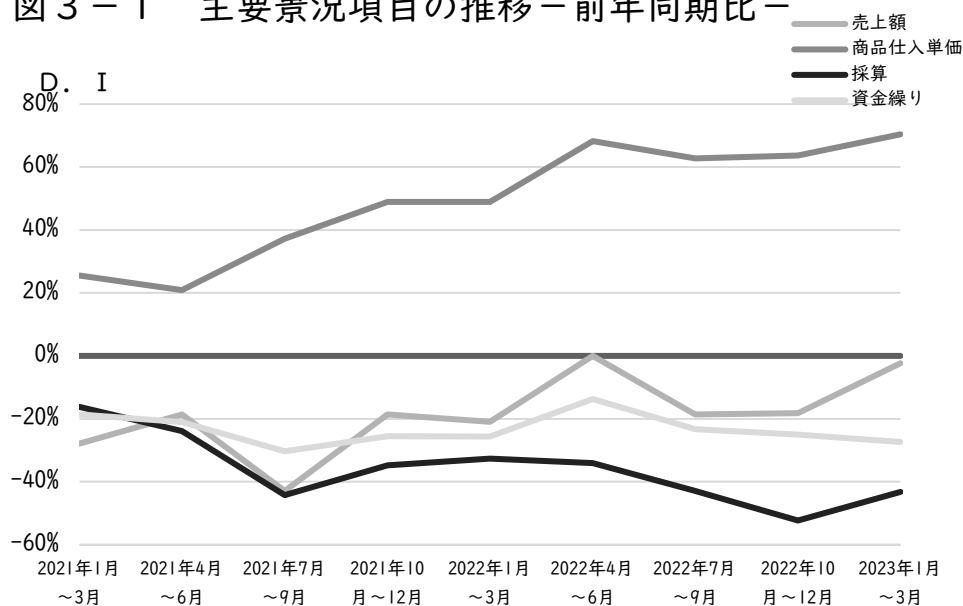
### ○主要景況項目から見た概要

- ・売上額DI値は、 $\Delta 18.2 \rightarrow \Delta 2.3$ と15.9ポイント上昇  
(同全国値は、 $\Delta 18.4 \rightarrow \Delta 22.8$ と4.4ポイント下降)
- ・採算DI値は、 $\Delta 52.3 \rightarrow \Delta 43.2$ と9.1ポイント上昇  
(同全国値は、 $\Delta 39.6 \rightarrow \Delta 43.7$ と4.1ポイント下降)
- ・資金繰りDI値は、 $\Delta 25.0 \rightarrow \Delta 27.3$ と2.3ポイント下降  
(同全国値は、 $\Delta 23.7 \rightarrow \Delta 27.3$ と3.6ポイント下降)

今期は、売上額DI・採算DIでマイナス幅が改善し、資金繰りDIでマイナス幅が拡大した。

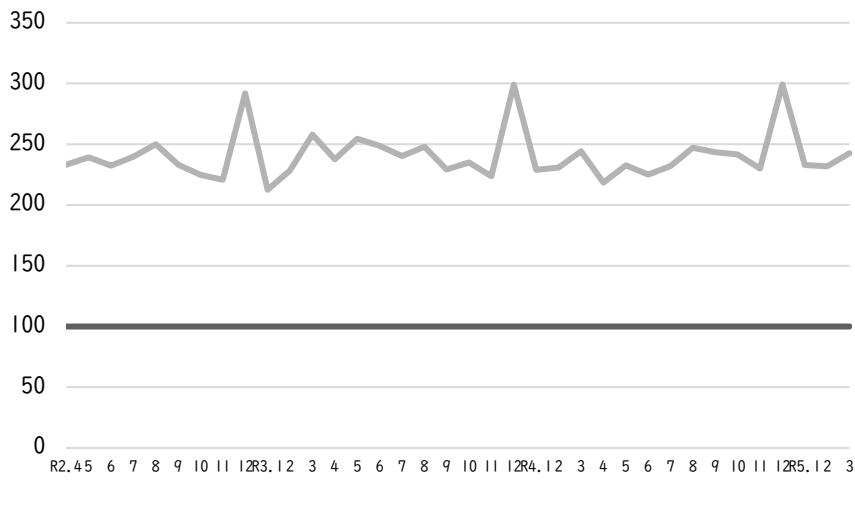
来期は、売上額DIでマイナス幅が拡大し、採算DI・資金繰りDIでマイナス幅の改善が見込まれる。

図3-1 主要景況項目の推移－前年同期比－



項目 \ 期	2021年1月～3月	2021年4月～6月	2021年7月～9月	2021年10月～12月	2022年1月～3月
売上額	$\Delta 27.9$	$\Delta 18.6$	$\Delta 42.9$	$\Delta 18.6$	$\Delta 20.9$
原材料仕入単価	25.5	20.9	37.2	48.9	48.9
採算	$\Delta 16.2$	$\Delta 23.9$	$\Delta 44.2$	$\Delta 34.8$	$\Delta 32.6$
資金繰り	$\Delta 18.6$	$\Delta 21.0$	$\Delta 30.3$	$\Delta 25.5$	$\Delta 25.6$

図3-2 売上額推移（月別指数）



54年 7月～55年 6月 = 100.0 ( 4597.40 千円) 全国売上額月平均

図3-3 売上額の状況－前年同期比－

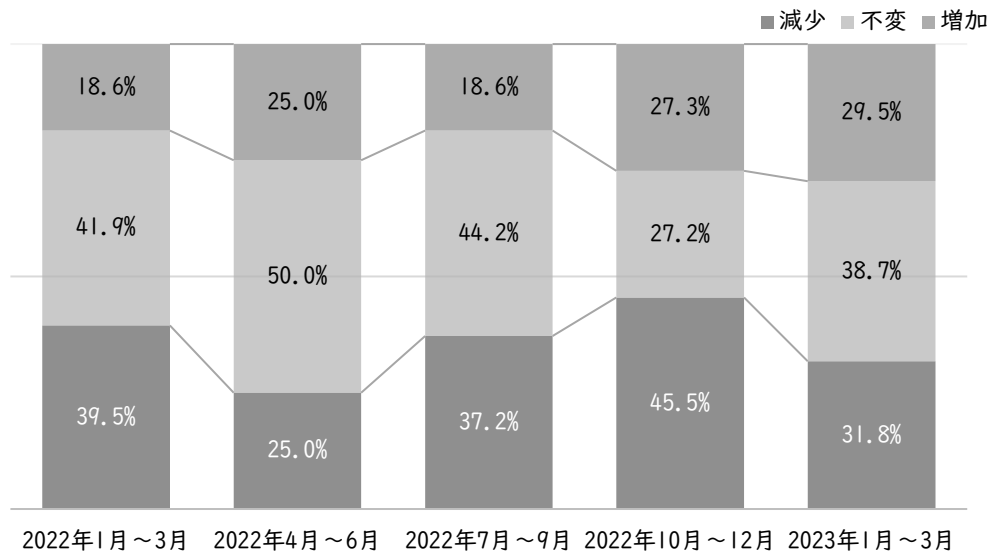


図3-4 採算の状況－前年同期比－

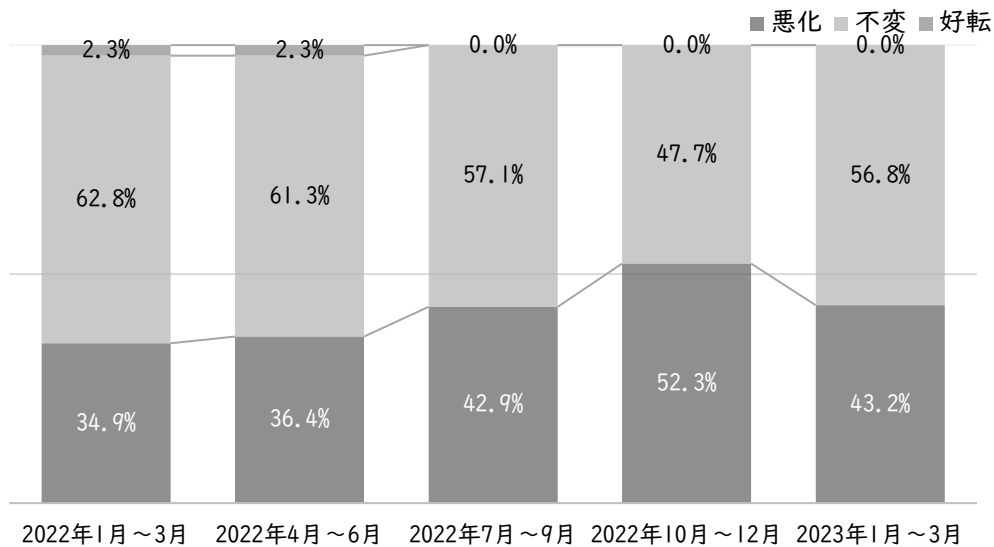


図3-5 設備投資の状況

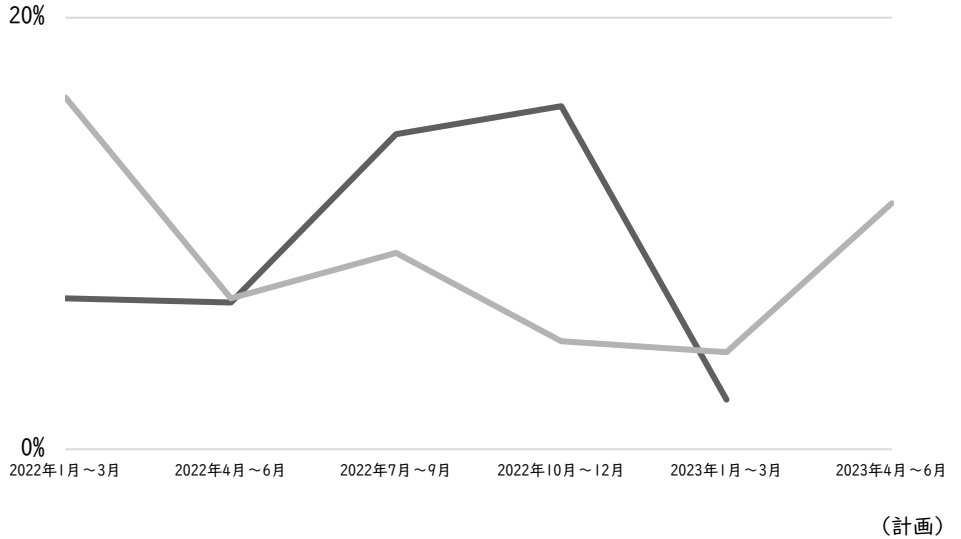


図3-6 経営上の問題点の状況 (1位と1位~3位)

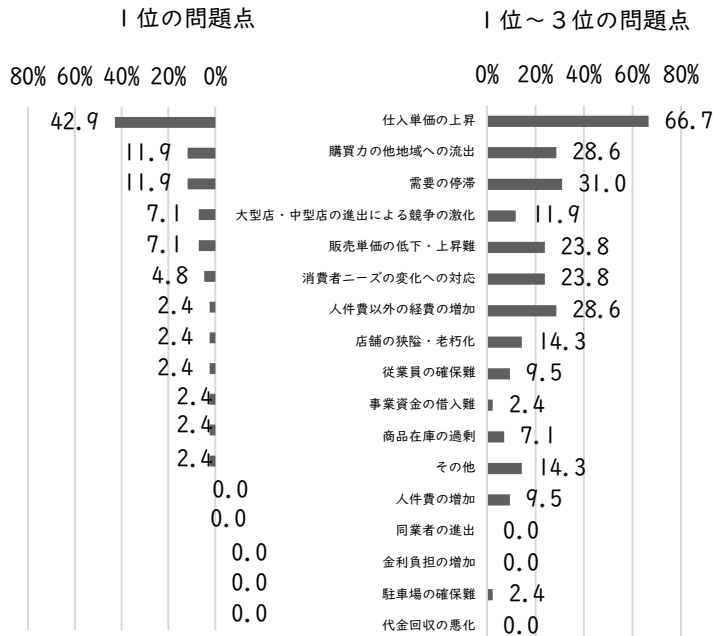


図3-7 経営上の問題点の推移 (1位の課題点・上位5つ)

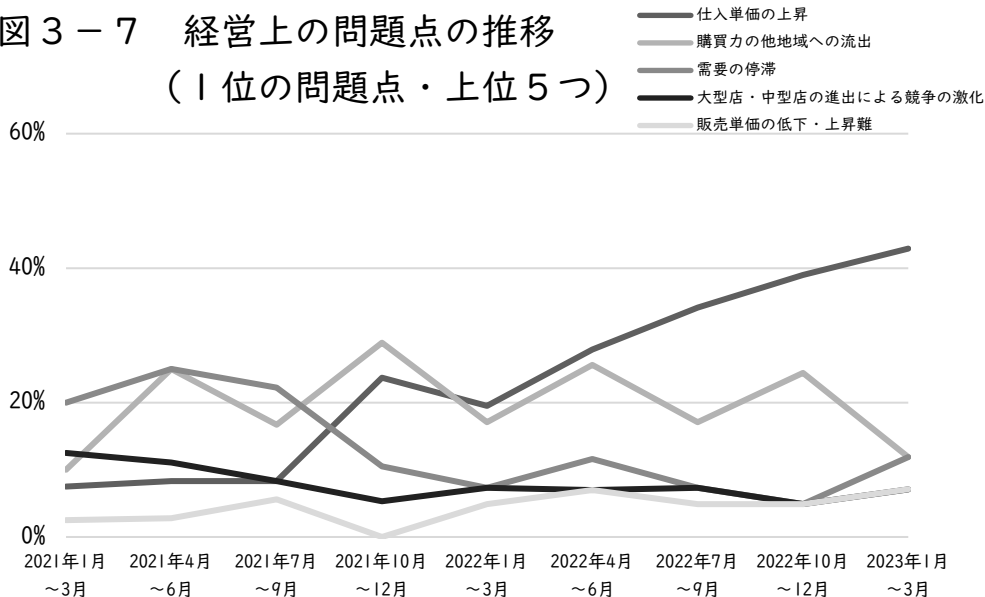


図3-8 売上額の状況－前年同期比－

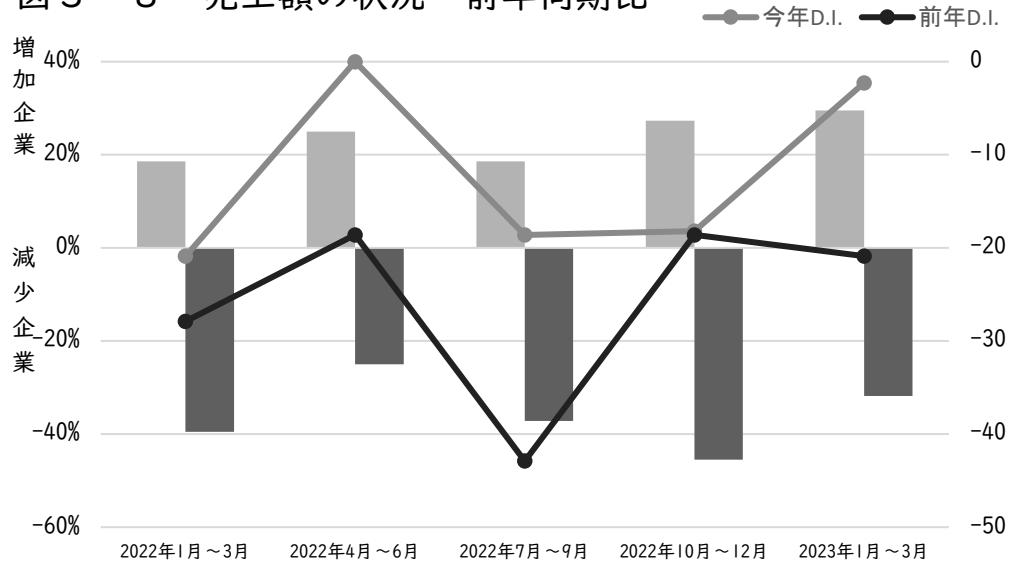
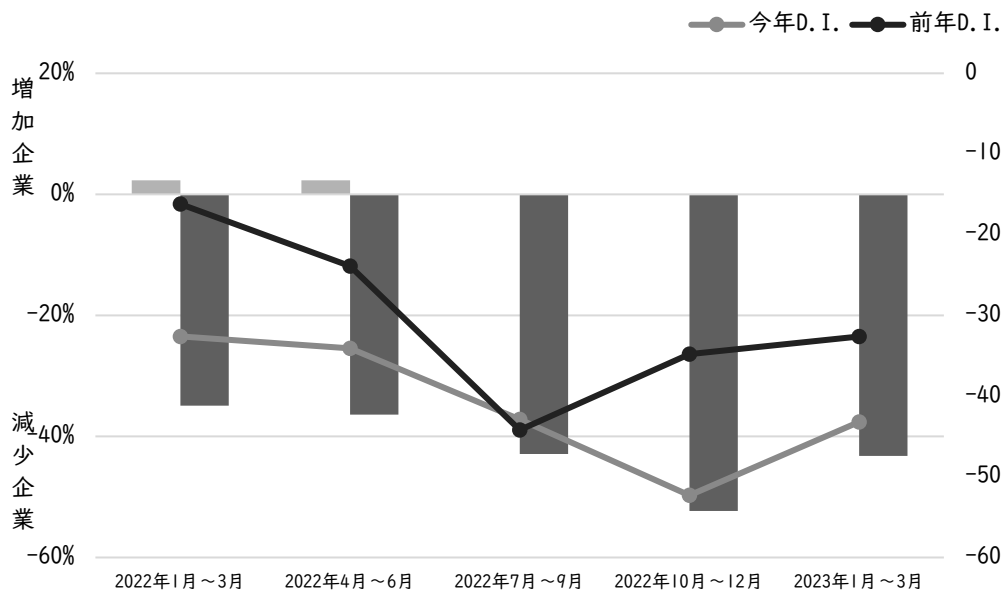


図3-9 採算の状況－前年同期比－



## サービス業の動向

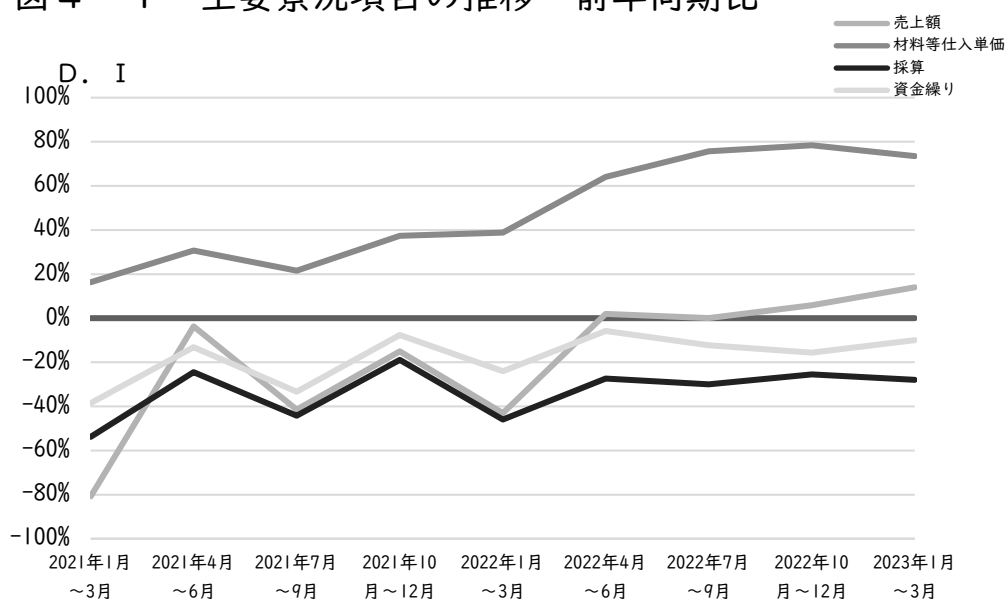
### ○主要景況項目から見た概要

- ・売上額DI値は、5.9→14.0と8.1ポイント上昇  
(同全国値は、 $\Delta 7.4 \rightarrow \Delta 2.6$ と4.8ポイント上昇)
- ・採算DI値は、 $\Delta 25.5 \rightarrow \Delta 28.0$ と2.5ポイント下降  
(同全国値は、 $\Delta 36.7 \rightarrow \Delta 38.2$ と1.5ポイント下降)
- ・資金繰りDI値は、 $\Delta 15.6 \rightarrow \Delta 10.0$ と5.6ポイント上昇  
(同全国値は、 $\Delta 17.6 \rightarrow \Delta 18.4$ と0.8ポイント下降)

今期は、売上額DIのプラス幅が拡大し、採算DIでマイナス幅が拡大し、資金繰りDIでマイナス幅が改善した。

来期は、売上額DIのプラス幅が減少し、採算DIでマイナス幅が改善し、資金繰りDIでマイナス幅の拡大が見込まれる。

図4-1 主要景況項目の推移－前年同期比－



項目 \ 期	2021年1月～3月	2021年4月～6月	2021年7月～9月	2021年10月～12月	2022年1月～3月
売上額	$\Delta 80.8$	$\Delta 3.7$	$\Delta 41.5$	$\Delta 15.1$	$\Delta 43.1$
原材料仕入単価	16.3	30.7	21.6	37.3	38.8
採算	$\Delta 53.8$	$\Delta 24.5$	$\Delta 44.2$	$\Delta 18.9$	$\Delta 46.0$
資金繰り	$\Delta 38.5$	$\Delta 13.2$	$\Delta 33.3$	$\Delta 7.6$	$\Delta 24.0$



図 4 - 2 売上額推移（月別指数）

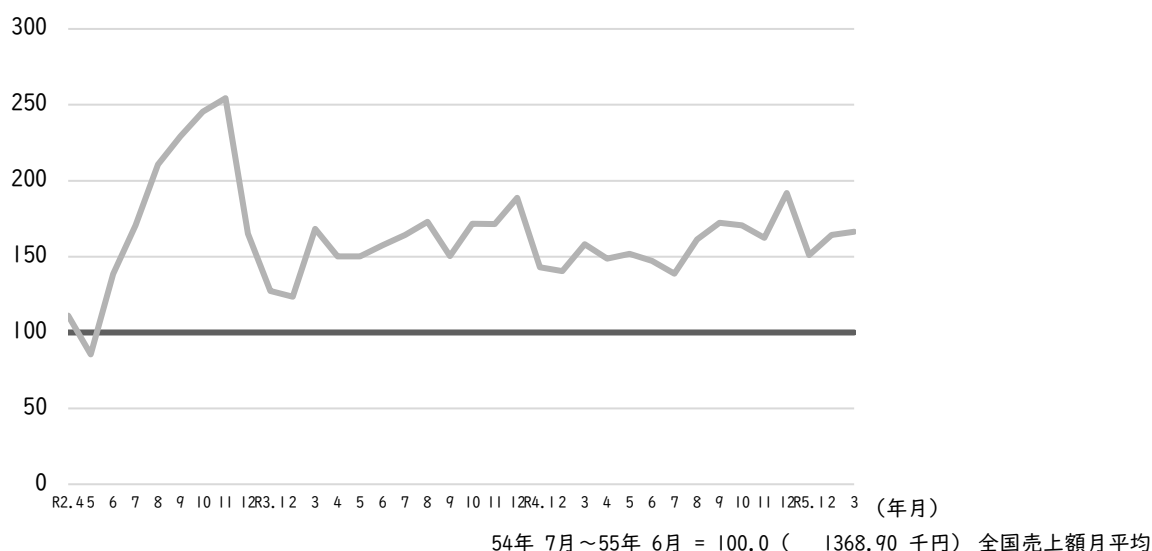


図 4 - 3 売上額の状況 - 前年同期比 -

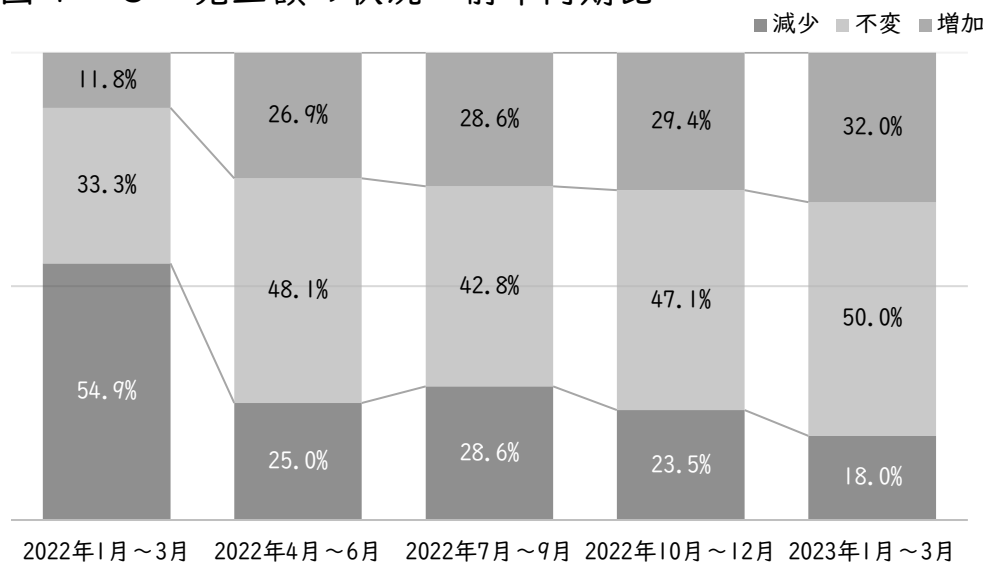


図 4 - 4 採算の状況 - 前年同期比 -

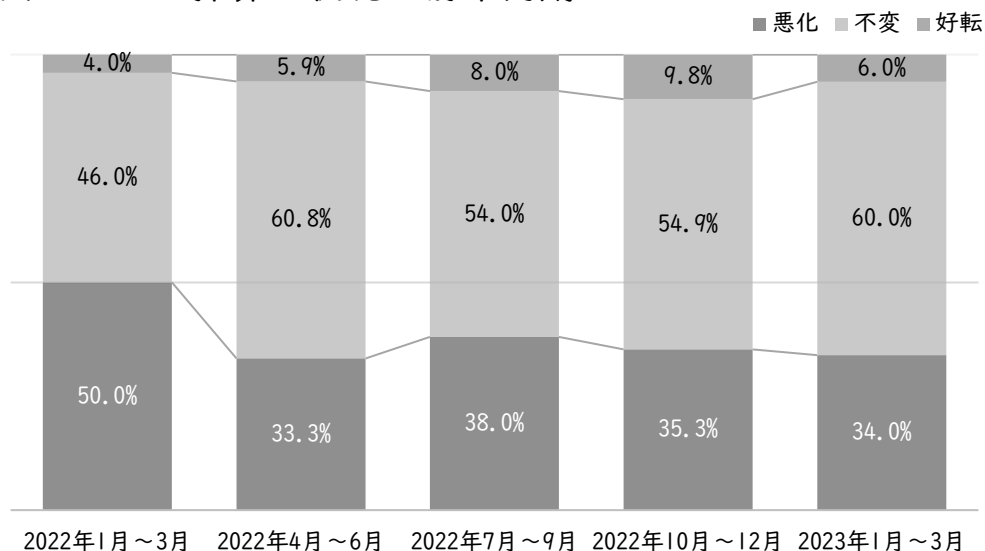


図4-5 設備投資の状況

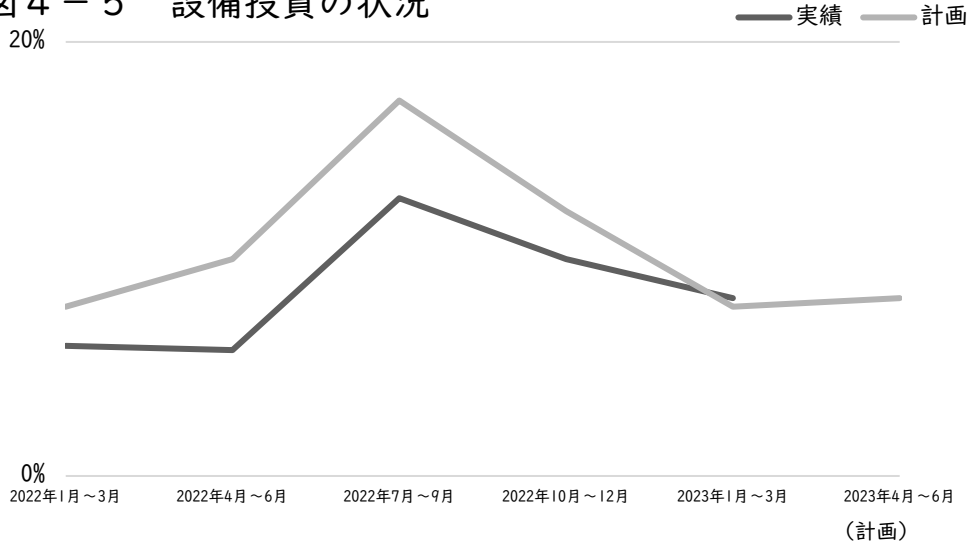


図4-6 経営上の問題点の状況（1位と1位～3位）



図4-7 経営上の問題点の推移  
（1位の問題点・上位5つ）

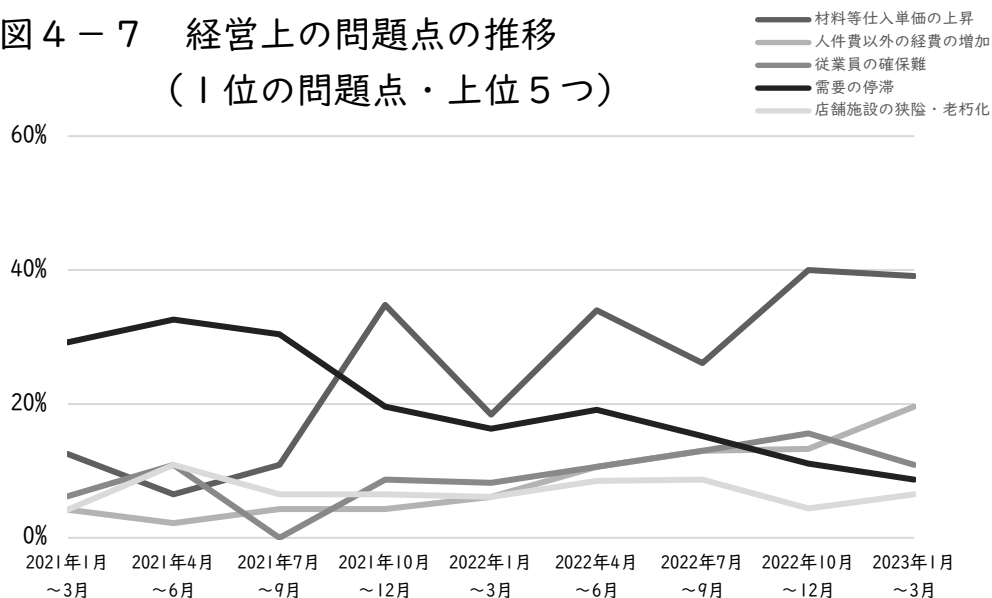


図4-8 売上額の状況－前年同期比－

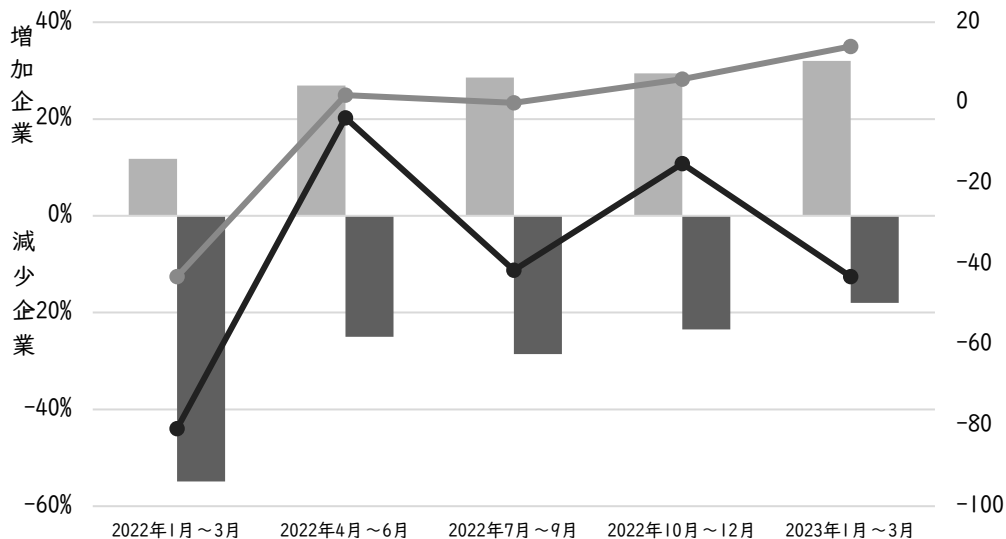
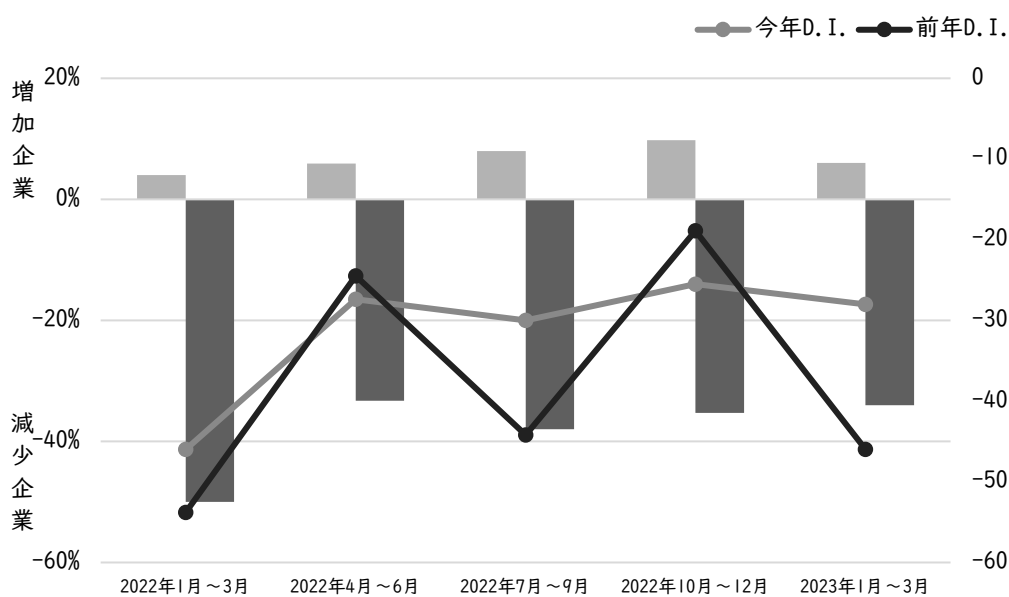
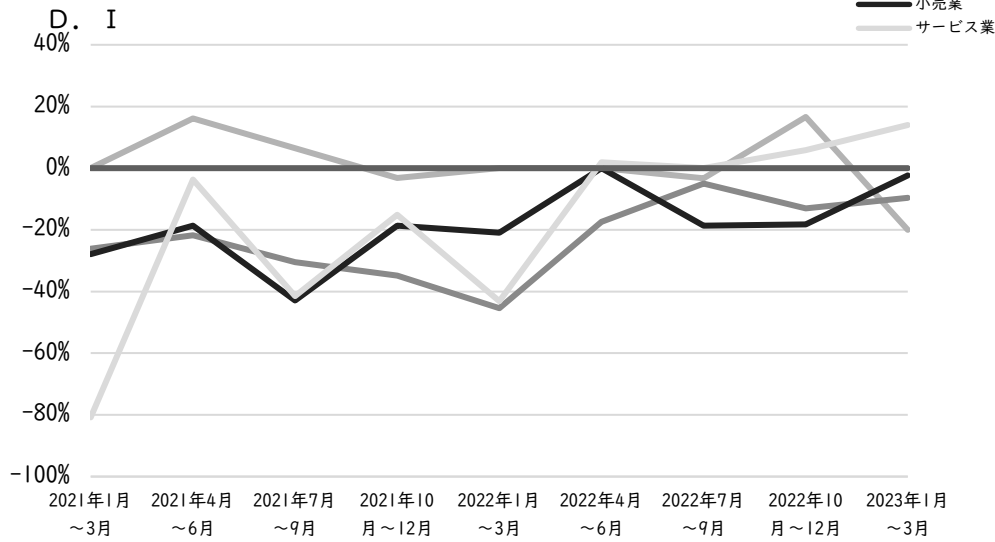


図4-9 採算の状況－前年同期比－

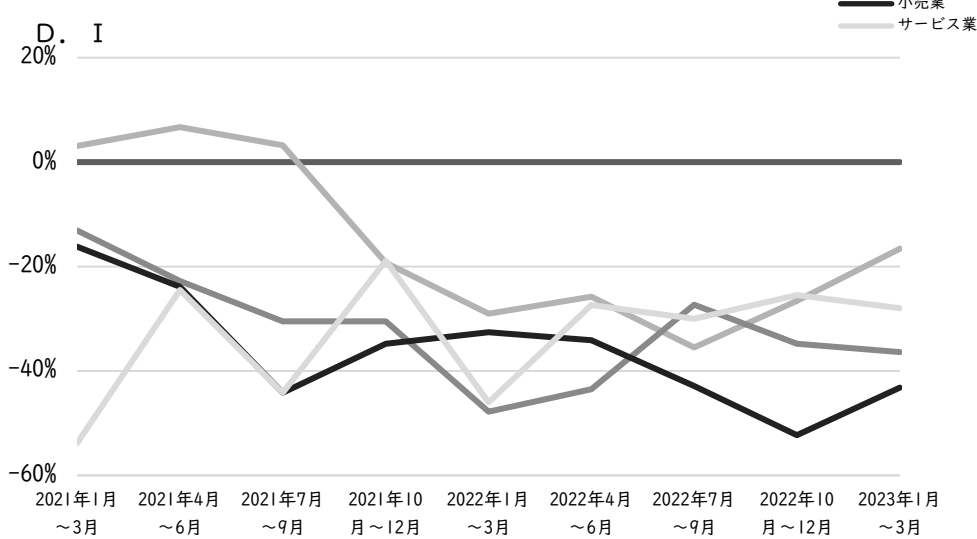


## 全産業の動向

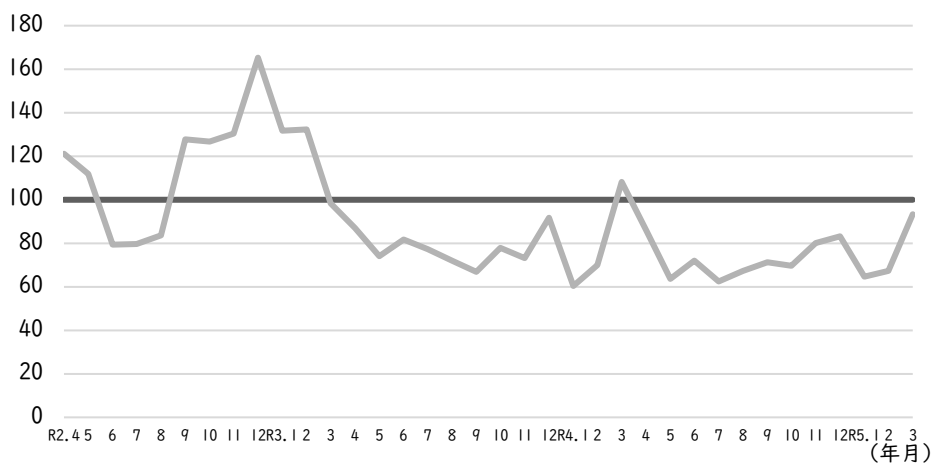
全産業 売上（完成工事）額の推移－前年同期比－



全産業 採算の推移－前年同期比－



全産業 売上額推移（月別指数）



54年 7月～55年 6月 = 100.0 ( 8213.00 千円) 全国全産業売上額月平均